知多の自然観察

2022(令4)年 1月～12月

年　報



コイと〝ふれあう〟神戸川(半田市)

知多自然観察会

－愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部－

目　　次

頁

はじめに

1 目　　次 ---------- 1

2 編集について　2

3 知多自然観察会について

・概　　要　3

・会　　則　4

4 2022年の事業計画（会員用） ---------- 6

5 支部担当の事業

・令和４年度知多地域みどりの少年団交歓会 ---------- 13

・知多自然観察会発足40周年行事　15

6 ブロック担当の観察会

(1) 阿久比ブロック ---------- 18

(2) 大　府　〃　25

(3) 武　豊　〃　31

(4) 知　多　〃 ---------- 40

(5) 東　海　〃　50

(6) 常　滑　〃　56

(7) 半　田　〃 ---------- 63

(8) 東　浦　〃　71

(9) 美浜・南知多　〃　82

7 臨時の観察会

・横須賀新川で生き物を調べよう ---------- 90

・ふるさとの自然に親しもう　91

・上野新川で生き物を調べよう ---------- 92

8 会員の研修

・真冬の川の生きもの観察 ---------- 93

・一泊研修　94

9 発表の場（会員の投稿記事） ---------- 95

（各テーマの掲載ページは P.95 に記載）

10 役員一覧表 ---------- 113

11 会員専用（ホームページの項目内容） ---------- 114

12 持ち寄りギャラリー ---------- 115

13 編集後記 ---------- 118

【編集について】

知多自然観察会ＨＰのURL
http://chitakan.com/　　または
http://prosv7.tok2.com/~chitakan/

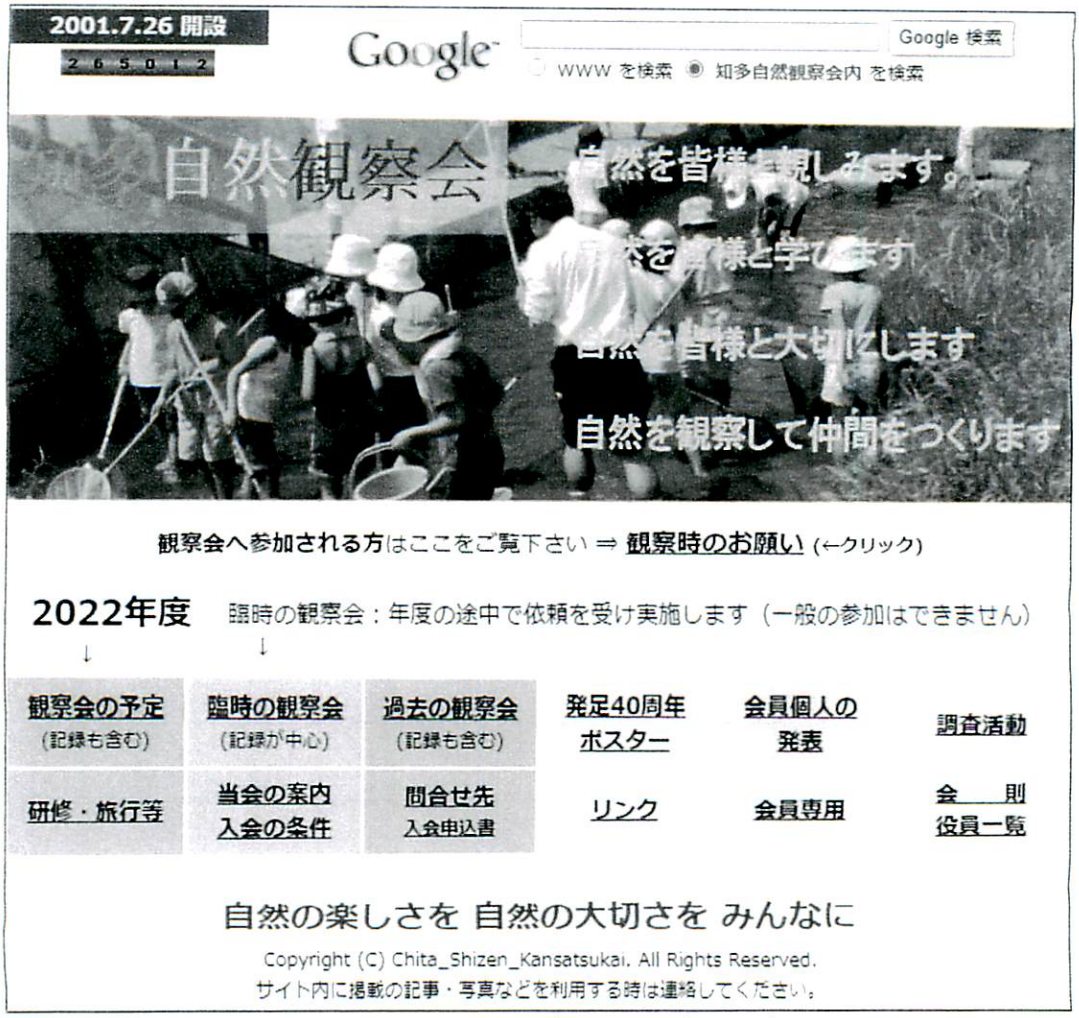
この「2022年 年報」は2022年1月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

即ち、掲載の活動例などは、ホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、自然観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと文字や掲載写真の多いページは２，３ページになるものもあります。そのような場合は、ここでは、すべて、縮小印刷するなどして最初の１ページを程よく収まる分だけを印刷し掲載しています。

そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

下記画面は知多自然観察会ホームページのトップページです。



※2023.1.7 現在のトップページ

本 会 の 概 要

1．名 称 等

・会の名称　知多自然観察会　（愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部）
・設立年月　１９８２年５月
　知多地方自然観察研究会の名称で発足（会員８名で発足）
・周年記念　1992.6　発足 10 周年記念大会開催（半田市勤労会館）
　2002.5　20 周年　（知多市地域文化センター）
　2012.11　30 周年　（　〃　）
　2022.11.19　40 周年　（東海市立文化センター）
・会則制定　2006.2.19 総会で承認
・総　　会　毎年２月に開催
・事業年度　４月から翌年３月。ただし、会計年度は１月から１２月
・会　　員　７４名（2022 年 12 月末 現在）
・役　　員　１５名（顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役）
・ブロック　９ブロック
　（阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜南知多）
・年 会 費　１，０００円

2．自然観察会の実施状況（2022 年１月～１２月）

・支部担当事業　役員会、会員研修、県委託事業、総会等で……２３回
　（予備日設定１回及びコロナ禍で中止３回を含む）
・自 然 観 察 会　本会主催観察会（ブロック主催の観察会）……２５回
　（増水、気象条件で中止２回を含む）
　市町等主催観察会（前年度に予約済）……６３回
　（コロナ禍、気象条件で中止１０回を含む）
・観察会の場所　公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
・一般参加者数　少ないとき…０～１家族（２，３名）　多いとき…数十名
　当日指導員…２～10 数名（特別な場合は 20 数名）
・雨 天 の 場 合　雨天は原則中止。ただし、ブロック主催の観察会は担当指導員及び他の指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3．観察会の日時等

・原則、土曜または日曜　９：３０～１１：３０
・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝（小川）があればタモを入れたりする
・海岸…　〃　から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
・ 川 …　〃　から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏期はテントも必要
・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
・ 夜 …日没前に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

知多自然観察会　会則

（名　称）　第１条　本会は知多自然観察会と称する。
（目　的）　第２条　自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
（事　業）　第３条　前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
（会　員）　第４条　自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
（会　費）　第５条　会員は毎年５月末日までに会費を納入しなければならない。
（退　会）　第６条　退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
２．会費未納の者は会員の資格を失う。
（役　員）　第７条　本会には次の役員をおく。

顧　　問	若干名
代　　表	１名
副 代 表	若干名
世 話 役	市、町からの代表
庶　　務	１名
会　　計	１名
会計監査	２名

（役員の任期）　第８条　任期は一年とするが再任を妨げない。
（役員の選出）　第９条　代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
（役員の補充）　第 10 条　役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
（総　　会）　第 11 条　本会は毎年１回、原則２月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。
（役　員　会）　第 12 条　総会に代わる決議機関とする
（会計年度）　第 13 条　会計年度は毎年１月１日に始まり 12 月 31 日に終わる。
（会則の変更）　第 14 条　会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
（内　　規）　第 15 条　本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
（附　　則）　１　この会則は平成 26 年２月９日より実施する。
２　本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。
＊ 附則の１の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。

（覚え）１　この会則の最初の制定日は平成 18 年２月 19 日である
（当日の総会で承認された）
なお、知多自然観察会は昭和 57 年（1982 年）５月 16 日に「知多地方自然観察研究会」として発足し、愛知県自然観察指導員連絡協議会の支部としてスタートした。

2　平成19年2月19日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
・会計監査「1名」を上記条文の2名に変更

3　平成23年2月13日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更

4　令和2年（2020年）2月16日の総会で（覚え）1の「なお、」以下を追記した。

5　令和2年(2020年)9月12日の役員会で「年会費規定 内規」が承認された。
「年会費規定の内規」→ ここ

※ 下記の内規は、
令和2年9月12日（土）　於、阿久比町勤労福祉センター会議室
で開催された役員会で承認された。

----------記----------

年会費規定 内規

第1条　目的
この規定は、会則第15条に基づき年会費とその有効期間を定めるものである。

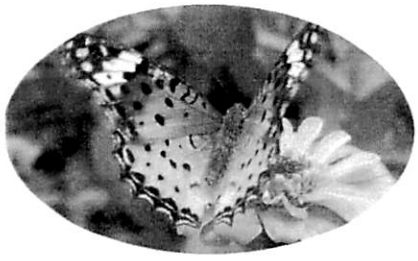
第2条　年会費
年会費は一人年額1,000円とする。複数年に亘る年会費は受理しない。

第3条　会員資格有効期間
会員資格は会計年度(1月1日～12月31日)毎に更新し、年会費入金を以って取得または継続する。翌会計年度においては5月末日までを入金猶予期間とし、前年度からの会員資格を継続保持する。

第4条　途中入会
途中入会の入会者についてもこの内規を適用する。

第5条　途中退会
退会申し出を受理した日または逝去した日に会員資格は失効する。
途中退会の場合年会費を返却しない。なお、会員資格失効後においても、在籍期間中に生じた債権、債務が残っている場合は速やかに精算されるものとする。

第6条　内規の変更
本則に準じ、内規の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。



2022(令和4)年 (1月～12月) 事業計画

◎備 考

・種らん… 募 ＝知多自然観察会主催
　　受募＝市町等が主催、当日受付でも参加可
　　受託＝市町等が主催、当日受付での参加は不可(事前申し込みが必要)
・保険らん… 協 ＝県協議会へ保険金を納入
・担当らん…阿久＝阿久比 美南＝美浜・南知多
・テーマらんの主催者……セレトナ＝二ツ池セレトナ
　　東海-施管協＝東海市施設管理協会
・集合場所らん……健康の森事務所＝あいち健康の森公園管理事務所
　　みどり公園事務所＝大府みどり公園管理事務所
　　東浦学習の森＝東浦自然環境学習の森
※テーマらんの「中止」…主催者が中止を決定した観察会 (中止理由:コロナ禍 or 気象条件

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者 ☆…参加費100円	集合場所と時刻 P:駐車場	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	9	土			支部	真冬の川の生きもの	於大公園南P 10:00	田中央(0562-34-6040)
2	22	1	15	土	募	協	常滑	「冬の鳥ウォッチング」	前山ダム公園P(北:交流広場) 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
3	22	1	15	土	受託		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多みさき支店P 9:30	中村(0569-62-2586)田中達
4	22	1	16	日	受託		大府	「⑨冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
5	22	1	22	土	受募		知多	「朽木の中で生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
6	22	1	22	土	受託		東海	「公園の野鳥を観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
7	22	1	22	土			支部	1月役員会※年間予定完成、総会役割分担、総会資料	未定 13:30	庶務
8	22	1	23	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)清水
9	22	2	5	土	受託		知多	中止「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)古川
10	22	2	5	土	受託		半田	中止「冬越しをする虫たちの生活」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)牧野
11	22	2	6	日	受託		大府	「⑩朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井

12	22	2	12	土	受託		東海	中止「朽ち木の虫観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
13	22	2	12	土			支部	総会資料の印刷	未定 13:30	庶務
14	22	2	19	土	募	協	東浦	中止「冬の生き物に会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
15	22	2	20	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
16	22	2	26	土	受託		知多	中止「旭東公園の自然を観察しよう」●知多市環境政策課	旭東公園(知多墓園)P 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
17	22	2	27	日	受募		常滑	「朽木の生きもの」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井
18	22	2	27	日	受募	協	美南	中止「冬鳥とカワウの子育て」●美浜町環境課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	神野(080-5169-3964)榊原靖
19	22	3	5	土			支部	総会議事録等の印刷	未定 13:30	庶務
20	22	3	6	日	受託		大府	「⑪春に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
21	22	3	12	土			支部	持ち寄り会	未定 9:30～15:30	(榊原正)
22	22	3	21	祝			支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
23	22	4	2	土	募	協	東浦	「春の里山で生きものをさがそう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)小田
24	22	4	3	日	募	協	武豊	「里山の春を見つけよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
25	22	4	10	日	受託		大府	「セレトナ森研①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
26	22	4	10	日	受託		東浦	「春の里山の恵みを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
27	22	4	15	金	募	協	阿久	「シュレーゲルアオガエルの観察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
28	22	4	17	日	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)安達
29	22	4	23	土	受託		知多	「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
30	22	4	23	土	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正

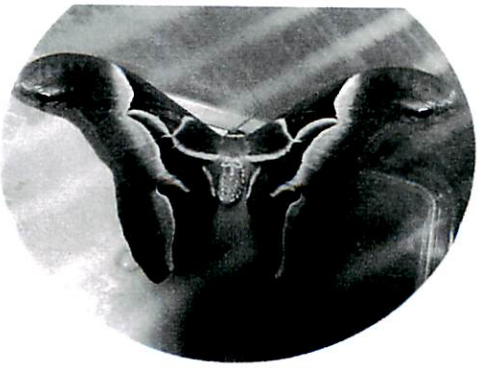
31	22	5	8	日	受託		大府	「春の生きものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所正面玄関 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
32	22	5	8	日	募	協	常滑	「砂浜の花と虫」	蒲池漁港P 9:30	森田(0569-42-1708)中井
33	22	5	14	土	受募		知多	中止「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122)浅井一
34	22	5	14	土	受託		東海	「ヒメボタルに会おう」参加費100円 ●東海市施管協	上野台公園 21:30	吉川洋(052-381-4426)浅井一
35	22	5	14	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
36	22	5	14	土	受託		東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
37	22	5	15	日	受託		大府	「セレトナ森研②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
38	22	5	15	日	受募		美南	「山海川の生きもの観察」●南知多町環境課 干潮11:19	山海ふれあい会館(旧山海小)P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
39	22	5	21	土	受募	協	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P 21:30	永田寛(0569-82-3151)岩橋
40	22	5	22	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・春」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
41	22	5	22	日	募	協	武豊	「初夏の野の花や虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
42	22	5	28	土	受託		知多	「海辺の生きもの観察」●こども未来館 干潮10:52 中潮	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
43	22	5	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	村瀬(0562-46-1974)
44	22	6	11	土	受託		知多	「信濃川の新阿原橋付近の生きもの観察」●知多市環境政策課	信濃川パークロードP 9:30	野村(0562-55-4122)田中央
45	22	6	12	日	受募		美南	「ウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
46	22	6	12	日	募	協	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:00	大矢晃(052-841-6048)大矢美
47	22	6	12	日	受託		半田	「亀崎海岸の生きもの」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
48	22	6	18	土	募	協	武豊	「天然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中

49	22	6	18	土	受託		東浦	「明徳寺川の生きものに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
50	22	6	19	日	受託		大府	「セレトナ森研③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
51	22	6	19	日	募	協	阿久	「ビオトープをつくろう」	グループホーム阿久比P 9:30	平松裕(090-8071-3954)山田和
52	22	6	25	土			支部	春の宿泊研修 1日目	未定	牧野(090-9222-0109)
53	22	6	26	日			支部	春の宿泊研修 2日目	未定	牧野(090-9222-0109)
54	22	7	2	土	受託		東海	「昆虫とオオケマイマイ」参加費100円 ●東海市施管協	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)浅井一
55	22	7	3	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
56	22	7	3	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	市原農村広場の東P 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
57	22	7	9	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
58	22	7	10	日	募	協	阿久	中止「阿久比川の生きもの観察」	アピタ東 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
59	22	7	15	金	募	協	東浦	「森の中で虫探し＆燈火に集まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(090-3648-4467)水野利
60	22	7	16	土	受託		東浦	中止「初夏の里山で生きものを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
61	22	7	16	土	受募	協	美南	「干潟の生きものと漂着物」●美浜町環境課	JA美浜西支店P 13:00	永田孝(0569-82-3151)中村
62	22	7	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	大府市内 13:30	村瀬(0562-46-1974)
63	22	7	22	金	受託		大府	「セレトナ森研④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 19:30	村瀬(0562-46-1974)水野利
64	22	7	23	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
65	22	7	30	土	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第4P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
66	22	7	30	土	募	協	常滑	「海辺のカニ、ヤドカリ」(大潮 干潮13:05)	蒲池漁港P 10:00	森田(0569-42-1708)中井

67	22	7	30	土	募	協	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048) 大矢美
68	22	7	31	日	受託		東海	「夏の生き物をみつけよう」参加費100円 ●東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	浅井一(080-6960-6053)森田
69	22	8	6	土	受託		東浦	「須賀川の生きものに会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040) 水野恭
70	22	8	11	木	受募	協	美南	「海辺の生きもの」●美浜町環境課	美浜町冨具崎港P 9:30	永田孝(0569-82-3151) 永田寛
71	22	8	13	土	受託		知多	中止「海辺の生きもの観察」●知多市環境政策課 干潮0:40 大潮	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501) 榊原正
72	22	8	14	日	募	協	常滑	「市最高峰86.95mの自然を楽しむ」	高砂山公園P 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
73	22	8	20	土	募	協	阿久	「灯火採集＆クロマドホタルはまだいるのかな？」	「ふれあいの森」正面から東へ約450mの農道 19:00	平松裕(090-8071-3954)榊原正
74	22	9	3	土	受託		大府	「セレトナ森研⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
75	22	9	3	土	受募	協	美南	中止「布土川の生きもの観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898) 田中達
76	22	9	4	日	受託		大府	「クリーンアップ延命寺川」●大府コミュニティ	大東小学校正門前 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
77	22	9	10	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
78	22	9	11	日	受託		大府	「川の生きものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川大府駅西飛び石付近 9:30	村瀬(0562-46-1974)浅井一
79	22	9	11	日	募	協	武豊	「里山の秋を見つけよう」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059) 畑中
80	22	9	17	土	受託		半田	「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497) 森下保
81	22	9	17	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501) 浅井一
82	22	9	18	日	受託		東海	中止「秋の虫を探そう」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	浅井一(080-6960-6053)水野利
83	22	10	1	土	受託		知多	「身近にあるキノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	吉房(0562-55-9025)降幡
84	22	10	1	土	受託		半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101) 牧野

85	22	10	1	土			支部	みどり…交歓会-下見	大府市内　14:00	村瀬(0562-46-1974)
86	22	10	2	日	受募		常滑	「雑木林のキノコ」●大曾公園	大曾公園P　9:30	降幡(0569-43-8060)中井
87	22	10	2	日	受託		大府	「セレトナ森研⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
88	22	10	8	土	受募		知多	「キノコに会いに行こう」●梅の館	知多市梅の館　9:30	南川(0569-42-5382)降幡
89	22	10	9	日	募	協	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P　9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
90	22	10	15	土			支部	みどり…交歓会-本番	大府市内	村瀬(0562-46-1974)
91	22	10	16	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・秋」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
92	22	10	16	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P　9:30	水野恭(090-3648-4467)岩本
93	22	10	22	土	受託		支部	みどり…交歓会-予備日	大府市内	村瀬(0562-46-1974)
94	22	10	23	日	受託		大府	「秋の生きものをさがそう」●大府市環境課	大府みどり公園　噴水前　9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
95	22	10	23	日	受託		東海	「公園のキノコ を観察」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
96	22	10	23	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413) 伊藤伸
97	22	10	29	土			支部	秋の宿泊研修 1日目	未定	牧野(090-9222-0109)
98	22	10	30	日			支部	秋の宿泊研修 2日目	未定	牧野(090-9222-0109)
99	22	11	5	土	受託		知多	「旭公園の秋の生物を観察」●知多市環境政策課	知多市旭公園北P場 9:30	吉房(0562-55-9025)南川
100	22	11	5	土			支部	11月役員会 ※ 年間予定(支部行事)、総会資料名一覧	未定　13:30	庶務
101	22	11	6	日	受託		大府	「セレトナフェスタ2022ーセレトナ森研⑦」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
102	22	11	12	土	受託		東浦	「秋の宝物でリース作りや工作しよう」 ●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	竹内秀(0562-83-9023) 小田
103	22	11	19	土			支部	40周年記念事業日	未定	未定

104	22	11	20	日	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水
105	22	11	27	日	募	協	阿久	「リース作りや竹の工作で遊ぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
106	22	12	3	土			支部	12月①役員会 ※ 支部・ブロック行事調整、年報、補助金	未定 13:30	庶務
107	22	12	4	日	受託		大府	「セレトナ森研⑧小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(052-46-1974)吉川洋
108	22	12	10	土	募	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉
109	22	12	10	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生きもの」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
110	22	12	17	土			支部	12月②役員会 ※ 年間予定の調整、会計関係、総会次第	未定 13:30	庶務
111	22	12	24	土	受募		知多	中止「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	細川(0569-43-3670)古川



【行事名】　2022年度(令和４年度)　知多地域みどりの少年団交歓会　　●知多農林水産事務所林務課

【日　時】　2022年10月15日(土)　9:00～12:00
【場　所】　大府市二つ池セレトナ
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川、吉川洋（知多自然観察会の担当）
【参加者】　みどりの少年団員及び引率教師、各市町担当者、
県農地林務課担当

（指導員21名：浅井一光、安達典孝、岩本妙子、門脇重弘、榊原正躬、榊原　靖、鈴木　汎、
竹内秀代、田中　央、平松裕規、藤井辰子、降幡光宏、南川陸夫、村瀬由里、
森下栄子、森下保男、森田琢磨、山田和男、吉川　勉、吉川洋行、吉房　瞳）

【内　容】
＜当初の日程＞
8:30　市、県担当集合。今回の駐車場は隣接のグランド(臨時駐車場)
9:00　知多自然観察会指導員集合　※指導員も駐車場はグランド
9:15～ 9:30　開会式　　※道を渡ったところの芝生広場
9:35～11:15　自然観察会　　※名札に[ドングリくっつけ] 15分以内
11:15～12:00　記念植樹 および 記念写真 ※11:15の時間厳守(早めはＯＫ)
12:00～12:20　閉会式
12:20～　解散

雨天決行であったが絶好の晴天で上記の日程通り快適に実施できた。
参加市町及び団員数を配慮された７班が整列し、開会式。
式後、班ごとに園内の各方面の散策路に散って、動植物を観察。
参加者への配付物の一つに〝レンズ付き観察ケース〟があったが、それに色々なモノを入れての観察もした。
11:00 までに各班が、順次、開会式をした芝生広場に到着。
記念植樹は「みどりの少年団交歓会」の長い歴史の中で（知多自然観察会が関わることになって以来）初めてのことであったが、みどりの少年団の本来の活動の一つであることから行事に組み込むことは歓迎である。
その記念植樹も少年団の代表だけでなく、一応にも、団員全員に体験させたことは大いに有意義と感じた…と同時に、雨天だったら、とても、そんな余裕はなかったであろうと思うと、本当に、野外活動は天候に左右されるモノだと尽々思う次第でした。
また、今回はコロナ感染予防のため、指導員は受付に健康チェック票を提出し、引き換えに〝フェースガード〟をいただき、マスク＋フェースガードで観察会に臨みました。
なお、主催者から参加した指導員へ有用なお土産を沢山いただきました。感謝します。

（記：榊原正躬）

【活動の様子】



【左】開会式



【右】名札づくり。グルーガンを使って１５分以内で作成



【左】大府市の木〝クロガネモチ〟の観察



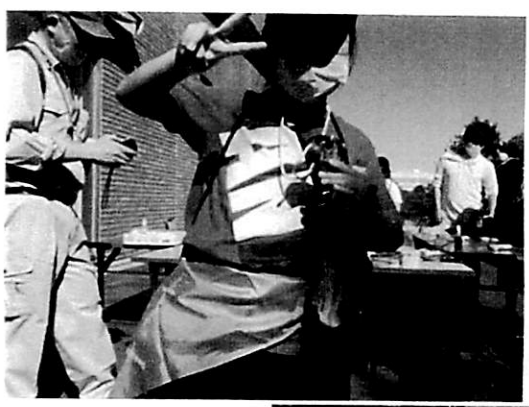
【右】閉会式。この後、記念植樹

【活動の様子-続き】





【左・中】記念植樹-桜３本。各団代表による３ヶ所同時植樹　　【右】植樹後の全員の記念写真



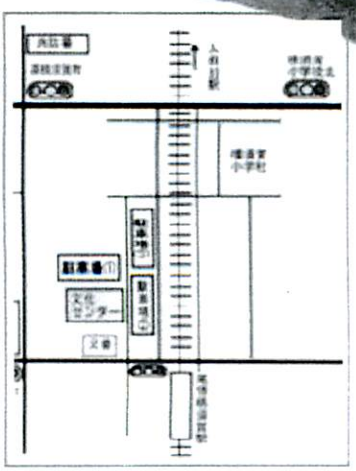



【左・中】名札。ドングリ３ヶくっつけてある　　【右】フジバカマに来たアサギマダラ。３匹来ていた

これまでの観察会へ　　トップページへ

「知多自然観察会発足４０周年記念」のチラシ…↓　　※40周年記念行事の内容 → ここ （写真のみ）





日時　2022年11月19日（土）
13：00～16：00

会場　東海市立文化センター
東海市横須賀町狐塚11番地
（電話：0562-33-2266）
名鉄常滑線尾張横須賀駅から徒歩約５分

講演会　14：00～15：30 ３階 第３講義室

知多半島の自然の魅力と生態系保全活動

～知多半島の象徴種キツネの生息状況と生態を中心に～





講師　日本福祉大学副学長　福田秀志教授

展示会　13：00～16：00 ３階 第２講義室
知多自然観察会の歩み及び知多半島の自然の魅力を紹介します

主催：知多自然観察会　後援：愛知県自然観察指導員連絡協議会
お問い合せ：知多自然観察会　榊原　靖（電話：090-2570-1636）

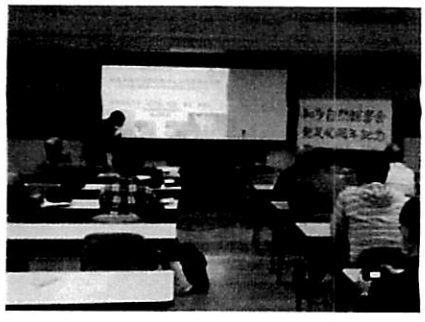
知多自然観察会　発足40周年記念行事 の内容　※写真のみ

※写真クリック→ビッグサイズ　　2022.12.24 アップ

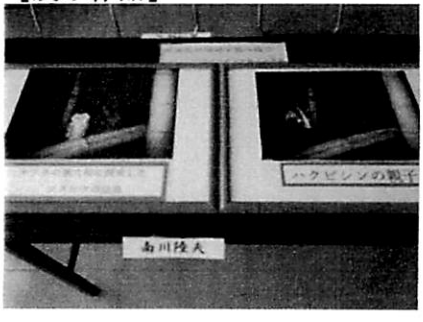
【受付・記念講演】

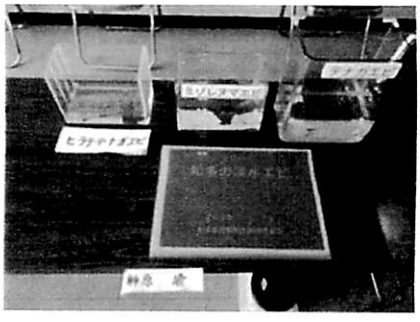


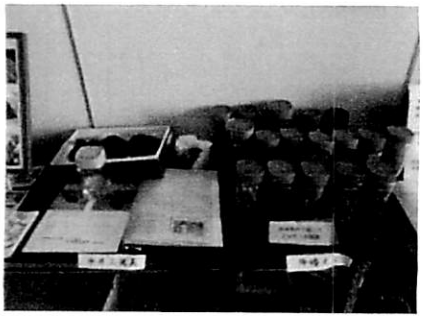




【展示作品】















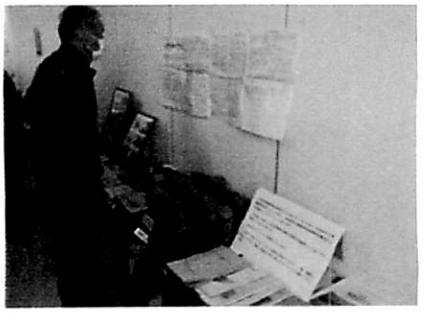




【展示会場・観客】











【別件】


【左】これまでの「年報」陳列


【中】ここの本は欲しい人が持ち帰ってＯＫ

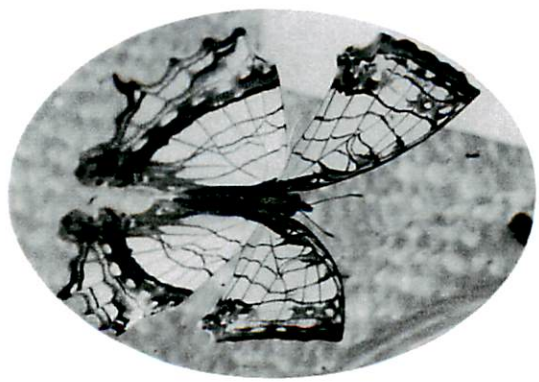

【右】自然観察が大好きな小３男子の研究発表作品



この蛾をはじめこの年報の「蝶や蛾の挿絵」は、会員の藤井辰子氏が　2022年に本人のフェースブックに投稿した写真から拝借したしたものです。

阿久比ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	4	15	金	募	協	阿久	「シュレーゲルアオガエルの観察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
2	22	4	23	土	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東　9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
3	22	6	19	日	募	協	阿久	「ビオトープをつくろう」	グループホーム阿久比P 9:30	平松裕(090-8071-3954)山田和
4	22	7	10	日	募	協	阿久	中止「阿久比川の生きもの観察」	アピタ東　9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
5	22	8	20	土	募	協	阿久	「灯火採集＆クロマドホタルはまだいるのかな？」	「ふれあいの森」正面から東へ約450mの農道　19:00	平松裕(090-8071-3954)榊原正
6	22	11	27	日	募	協	阿久	「リース作りや竹の工作で遊ぼう」	洋菓子サリュー東　9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野



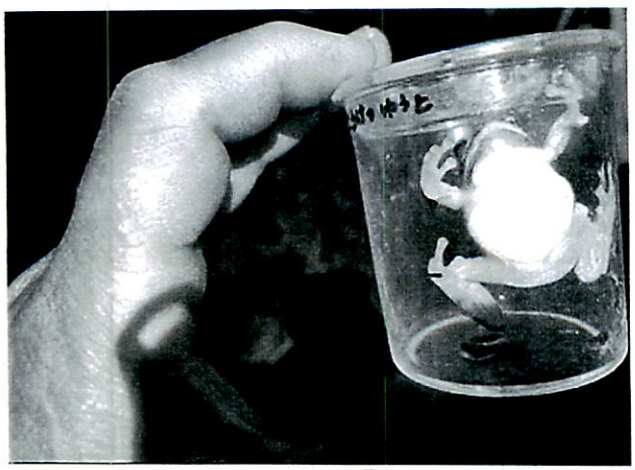
【行事名】　「シュレーゲルアオガエルの観察」

【日　時】　2022年4月15日（金）18：30～20：00
【場　所】　季の野の台所
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般　大人　3　名、子ども　5　名
　　（指導員：浅井一、平松裕、古川）

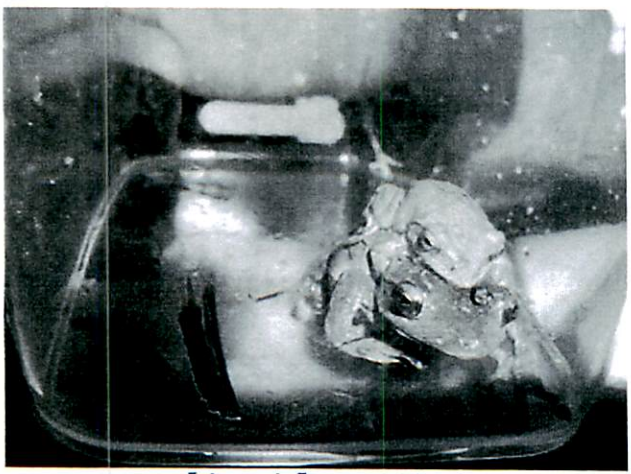
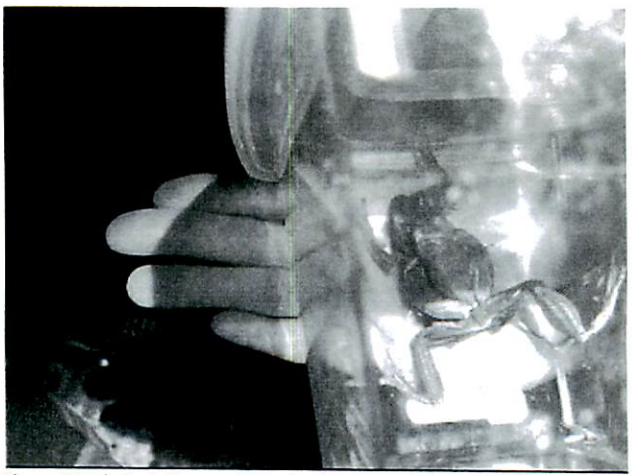
【内　容】
　ちょうど、数日前に観察場所の水田の1枚の代掻きが終わり、幸先よく卵塊が2個見つかった。
　鳴いているのもシュレーゲルアオガエルとアマガエルだけだったため、限定して探せた。子どもたちが包摂中の浮いている個体をすくいあげ、その後もオスの個体が何匹も捕まえれた。
　メスの背中を奪い合うオスの姿や鳴いている様子を観察できて大満足の観察会でした。持ち物、服装を次回は忘れずに明記します。（記：平松裕）

【観察できた生きもの】
　コオイムシ、ガムシ、アマガエル、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエル

【観察会の様子】



【左・右】シュレーゲルアオガエルの観察



【左・右】メス(♀)　と　オス(♂)。背中に乗ってる小さいのが♂

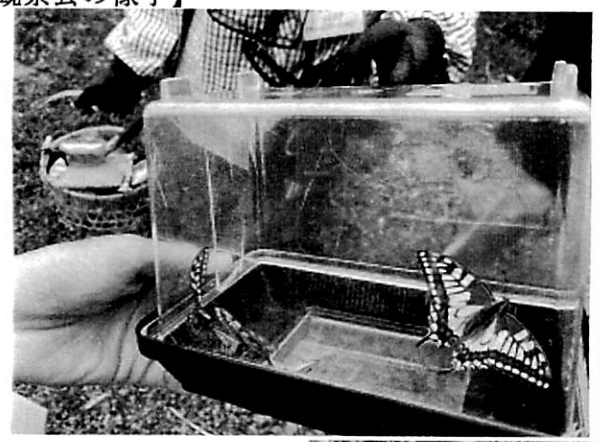
【行事名】　「シ竹林であそぼう」

【日　時】　2022年4月23日9：30～12：00
【場　所】　洋菓子サリュー東の竹林とヤギ牧場
【天　気】　晴
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般　大人　3　名、子ども　5　名
（指導員：安達、門脇重、田中央、平松裕、藤井辰）

【内　容】
昨年より2週間ほど早い開催で、孟宗竹のタケノコがたくさん出ていました。パチンコ遊びが無い分、タケノコ掘りで楽しみました。竹林に入る前と後にヤギと遊びました。

【観察できた生きもの】
キアゲハ、モンキアゲハ、ホタルガの幼虫、粘菌の仲間、キクラゲの仲間、アオスジアゲハ

【観察会の様子】





【左】キアゲハ捕まえた　【中】タケノコ見つけた　【右】タケノコ採った




【行事名】　「ビオトープをつくろう」

【日　時】　2022年6月19日（日）　9：30～11：30
【場　所】　グループホーム阿久比Ｐの東
【天　気】　晴
【担　当】　平松裕、山田和
【参加者】　一般：　大人7名、子ども9名
（指導員：浅井一、門脇重、榊原正、鈴木、竹内公、田中央、平松、古川）

【内　容】
タイトルのわりに、たくさんの参加者でした。正躬先生が開始時間まで誘導をしてくださいました。
下見で、ほとんど種類は見込めないことはわかっていたので、隣の水路で一般参加者に生き物をとってもらうことを主にしました。観察中にヒクイナがヨシ原で鳴いていました。
採集した生き物の分ち合いをした後、シュレーゲルアオガエルの観察会の時卵塊を持ち帰った親子がカエルになった子たちを持ってきてくれていたので、育て方を聞きながら説明しました。
これからこの場所を少しずつ整備して生き物を増やして、来年また開催したいです。
（記：平松裕）

【観察した生き物】
スミウキゴリ、マハゼ、マドジョウ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ヒメタイコウチ、カワニナ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、キリギリス、クビキリギス、ヒゲナガハバチの一種

【観察会の様子】





【左】始めのあいさつとお話し　【右】参加者が持参したシュノーゲルアオガエル





【左・右】つかまえた生きものを持って集合。これから説明会が始まる

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「阿久比川の生き物観察」

【日　時】　2022年7月10日 9：30～
【場　所】　アピタ東
【天　気】　曇り
【担　当】　平松裕、田中央
【参加者】　一般：　大人7名、子ども9名　　ただし、増水のため中止
　　（指導員：浅井一、安達、榊原正、竹内公、田中央、平松裕、降幡、古川）
【内　容】
　前夜の豪雨で、阿久比川が濁流で増水したため中止。来てくれた人も残念がっていた。
　来てくれた参加者と指導員数名で、中止が納得できるように自分たちの目で確かめるために川の様子を見に行った。
　なかなか、戻ってこなかったのは、戻る途中の水田の水路で、ミニ観察会がはじまりガムシやゲンゴロウの仲間を観察していたためだった。　　（記：平松裕）

【当日の様子】※観察会ではありません





【左・中】８：２０頃の川の水量。めったにない深さの増水および流れの速さ。これを見て、即、中止を決定
【右】昨年、ここで採った魚を自宅で飼い、本日、放流のため持参した水槽を参加者が持参した。それを観察




【行事名】　「灯火採集＆クロマドホタルはまだいるのかな？」

【日　時】　2022年8月20日（土）　19:00～20：10
【場　所】　集合：ふれあいの森」正面から東へ約450ｍの農道
【天　気】　今にも降りそうな曇天
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般：　大人５名、子ども４名
（指導員：浅井一、榊原正、平松裕）

【内　容】
今降ってきてもおかしくないような雲行きであったが、雨雲レーダーでみると午後８時半ごろまでは何となくもつような感じだったので午後６時半前には灯火採集をセッティングした。これは、参加者が受付後、始まりの挨拶までの間、自由に観察できるようにとの配慮。と言うのは、雨が降り出したら、すぐに、しまわなければいけないので、せめて、初めだけでもと思ってのことでした。

以上のように、雨を心配しながらでしたが、結果的には例年通り実施できました。

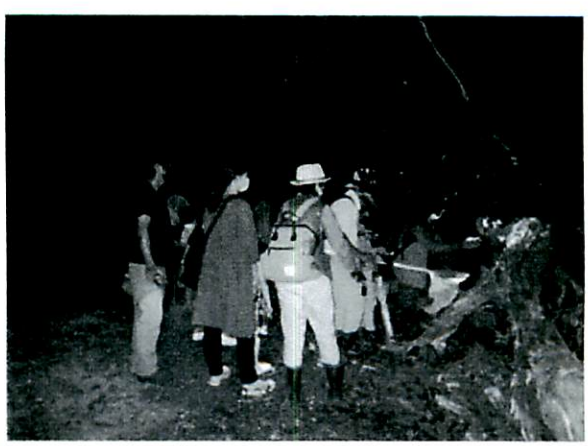
昨年は、ホタルの光を誰も感じなかったが、今回は「あっ、ひかった」という声が時々あがった。そういう声が上がり始めた頃、雨がポツリポツリと落ちてきたので、「電気つけて、ホタル探していいよ。」ということで、探したら、１匹見つかった。それを手のひらにのせ、皆に見てもらって、急いで、その場を去った。

その後は、雨は止まり、灯火採集装置も無事で、その場で楽しく観察していたとき、また、ポツリポツリと来たので、そこで、即、終わりの挨拶で解散。しかし、また、雨が止まってくれたので、片づけは順調にできました。

クロマドボタルの観察時の雨のポツリポツリが本降りと判断した自分自身が何とも恨めしい感が残った観察会でした。　（記：榊原正）

【観察会の様子】





【左】始めのお話　　【右】ナイトハイク。大きなカマドウマを観察中





【左】クロマドボタル(幼虫）を見つけた　　【右】同左の拡大

【観察会の様子-追加】

【行事名】　「リース作りや竹の工作で遊ぼう」

【日　時】　2022年11月27日(日) 9：30～11：30
【場　所】　洋菓子サリュー東
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、牧野
【参加者】　一般：　一般　大人　6　名、子ども　9　名
（指導員：門脇重、榊原正、田中央、中村公、平松裕、藤井辰、降幡、牧野、南川）

【内　容】
材料を持って来てくださった指導員の方たちがいて助かりました。正躬先生が用事があるにも関わらず、車の誘導をして帰って行かれました。4日前に産まれた子ヤギを預かっていたので、抱いたりミルクをあげたりできました。リースの蔓を採りに行ってから、各々素敵なリースを作ったり、籠を編んだりしていました。途中から、正躬先生のパチンコで盛り上がっていました。（記：平松裕）

【観察会の様子】



【左・右】リースの製作


【左】蔓(つる) でザルカゴづくりに挑戦中


【右】各自の作品を持って記念撮影

【観察会の様子-追加】



【左・右】自作のリースと一緒に記念撮影

大府ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	16	日	受託		大府	「⑨冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	22	2	6	日	受託		大府	「⑩朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井
3	22	3	6	日	受託		大府	「⑪春に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
4	22	4	10	日	受託		大府	「セレトナ森研①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
5	22	5	8	日	受託		大府	「春の生きものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所正面玄関　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
6	22	5	15	日	受託		大府	「セレトナ森研②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
7	22	5	22	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・春」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
8	22	6	19	日	受託		大府	「セレトナ森研③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
9	22	7	3	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
10	22	7	22	金	受託		大府	「セレトナ森研④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ　19:30	村瀬(0562-46-1974)水野利
11	22	9	3	土	受託		大府	「セレトナ森研⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ　14:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
12	22	9	4	日	受託		大府	「クリーンアップ延命寺川」●大府コミュニティ	大東小学校正門前　9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
13	22	9	11	日	受託		大府	「川の生きものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川大府駅西飛び石付近　9:30	村瀬(0562-46-1974)浅井一
14	22	10	2	日	受託		大府	「セレトナ森研⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
15	22	10	16	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・秋」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
16	22	10	23	日	受託		大府	「秋の生きものをさがそう」●大府市環境課	大府みどり公園　噴水前 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
17	22	11	6	日	受託		大府	「セレトナフェスタ2022ーセレトナ森研⑦」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
18	22	12	4	日	受託		大府	「セレトナ森研⑧小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ　9:30	村瀬(052-46-1974)吉川洋

【行事名】　「セレトナ森研③きのこ探検隊」　●セレトナ 主催

【日　時】　2022年6月19日(土)9:30～11:30
【場　所】　集合:二つ池公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　村瀬、吉川洋
【参加者】　一般11名（大人6名、子供5名）
　　（指導員4名：福岡、降幡、村瀬、吉川洋）
【内　容】
公園内を和気あいあいときのこを求め、散策しました。　　（記：降幡）

【観察した生き物】
◎キノコ：
オチバタケの仲間、ナガエヒトヨタケ、イヌセンボンタケ、ナカグロモリノカサ、ナガエヒトヨタケ、シロハツモドキ、カワラタケ、ヒイロタケ、ホウロクタケ、コフキサルノコシカケ、コツチグリ、ヒメカタショウロ、キツネノロウソク、アラゲキクラゲなど
◎昆虫：
ナナフシ、コクワガタ

【観察会の様子】



【左】赤いキノコが生えてます。



【右】採集したキノコ

トップページへ

【行事名】　「川の生きものをさがそう」　●大府市環境課 主催

【日　時】　2022年9月11日(日)9:30～11:30
【場　所】　集合:大府駅西木村証券P
【天　気】　晴れ
【担　当】　村瀬、浅井一
【参加者】　一般11名（大人6名、子供5名)位
（指導員7名：浅井一、門脇、田中央、南川、降幡、村瀬、吉川洋）

【観察会の様子】



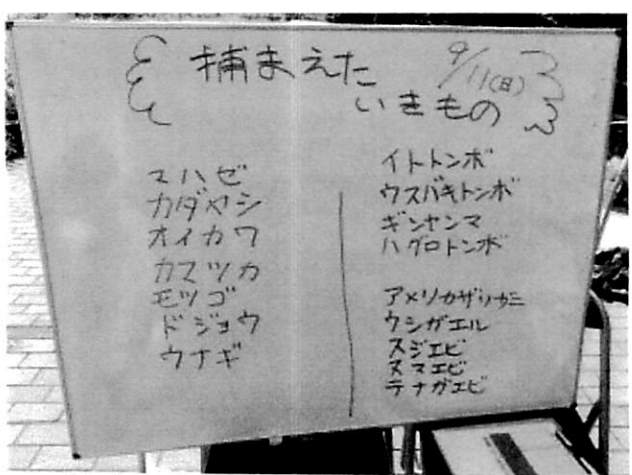
【左】開会と諸注意



【右】川での活動



【左】生き物説明



【右】採集した生き物

トップページへ

【行事名】　「虫・花・樹をさがそう・秋」　●あいち健康の森公園

【日　時】　2022年10月16日(日)9:30～11:30
【場　所】　あいち健康の森公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　村瀬、吉川洋
【参加者】　一般22名（大人11名、子供11名)位
　　（指導員：福岡、降幡、村瀬、吉川洋)

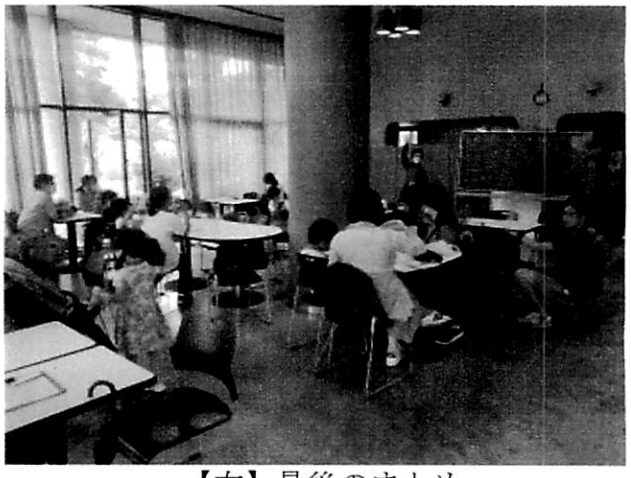
【内 容】
　あいち健康の森公園の中を家族で和気あいあいと生き物を求め、散策しました。　(記：降幡)

【観察した生き物】　写真に掲示したものを記録
【観察会の様子】


【左】観察の仕方入門


【右】こんなものがありました


【左】観察した生き物


【右】最後のまとめ

トップページへ

【行事名】　「セレトナフェスタ2022ーセレトナ森研⑦」　●セレトナ

【日　時】　2022年11月6日(日)9:30～11:30
【場　所】　大府市二ツ池公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　村瀬、門脇重
【参加者】　イベント（観察会参加者20名）
　　（指導員：浅井一、門脇重、田中央、降幡、村瀬、吉川洋）

【内 容】
イベントでは、たくさんのブース出て賑わいました。観察コースは大府市二ツ池公園の中を家族で和気あいあいと生き物を求め散策しました。　（記：降幡）

【観察会の様子】



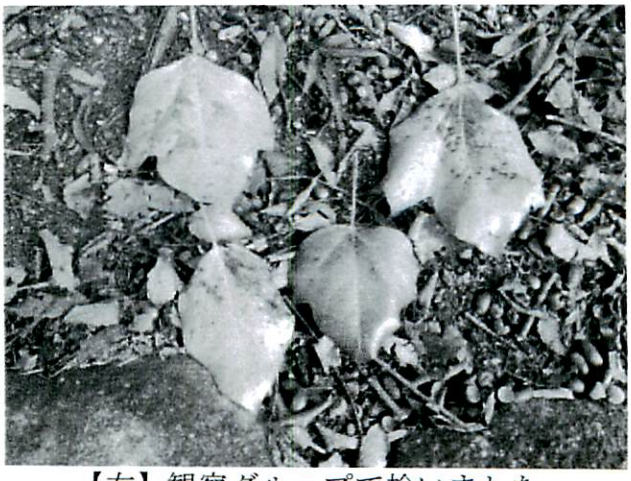
【左】お店がたくさん出ました。



【右】木の実の人形ができました。



【左】木の葉のお面ができました。



【右】観察グループで拾いました。

トップページへ

【行事名】　「「セレトナ森研⑧小枝で作ろう！森のリース」　●セレトナ

【日　時】　2022年12月4日(日)9:30～11:30
【場　所】　大府市二ツ池公園
【天　気】　薄曇り
【担　当】　村瀬、吉川洋
【参加者】　観察会参加者19名
（指導員：浅浅井一、門脇、田中央、降幡、村瀬、吉川洋）

【内 容】
大府市二ツ池公園の中を家族で和気あいあいと工作材料を求め散策した後、セレトナの会議室に戻り楽しい工作をしました。　（記：降幡）

【観察会の様子】


【左】本日の予定と諸注意。


【右】森の中で材料集め。


【左】工作開始。


【右】作品の発表。

トップページへ

武豊ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	23	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)清水
2	22	4	3	日	募	協	武豊	「里山の春を見つけよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
3	22	5	22	日	募	協	武豊	「初夏の野の花や虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
4	22	6	18	土	募	協	武豊	「天然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中
5	22	7	3	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	市原農村広場の東P 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
6	22	9	11	日	募	協	武豊	「里山の秋を見つけよう」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
7	22	10	23	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
8	22	11	20	日	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水



【行事名】冬の風物・海辺の鳥を見よう

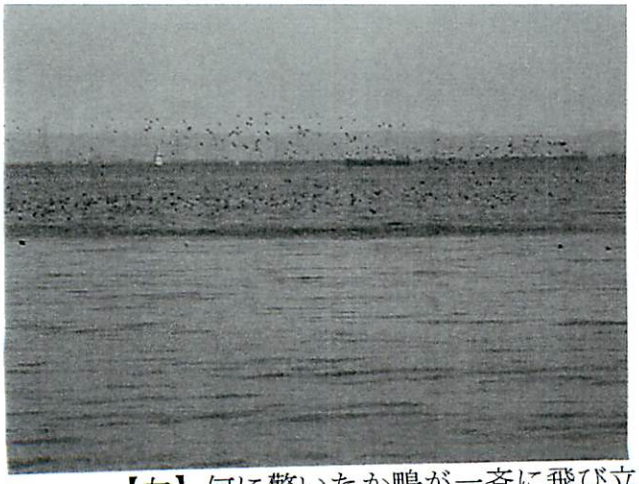
【日　時】２０２２（Ｒ４）年　１月２３日(日)　９：３０～１１：３０
【場　所】河和口駅前の海岸
【天　気】曇り
【担　当】古川、清水佐
【参加者】一般　　２２名（大人１３、小人９）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、降幡、古川　　（清水佐　記）
【内　容】
　今にも降り出しそうな曇り空で寒い日でありましたが、小さい子どもを含む多くの参加がありました。
　海上には多くの種類のカモたちの群れがあちこちに浮かび、浜辺には一本足になって羽を休めているマガモやカルガモの姿が見られました。
　また、シロチドリ、イソシギ、ハクセキレイが浜を足早に歩き回り、地面をついばんでいました。
　イソヒヨドリのオスとメスが、何度か飛んできては、皆が急ぎ交代でスコープをのぞき盛り上がりました。
　寒風が吹く中であったが、子どもたちが砂浜で珍しい貝を見つけては歓声を上げたり、親が子どもに鳥の説明をしたりと、賑やかな観察会となりました。

【観察できた鳥】
　　スズガモ、カルガモ、マガモ、ヒドリガモ、ホオジロガモ、ウミアイサ、オオバン、オカヨシガモ、ユリカモメ、セグロカモメ、カワウ、シロチドリ、イソシギ、イソヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、カワラヒワ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、トビ、ジョウビタキ、キジバト、ハシボソカラス、　　ほか

【観察会の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】あいさつの場所で、まず、観察


【左】何に驚いたか鴨が一斉に飛び立った


【右】貝殻の好きな子もいた

【行事名】里山の春を見つけよう（草・花・虫）

【日　時】２０２２（Ｒ４）年　４月　３日(日) ９：３０～１１：３０
【場　所】武豊別曽池公園周辺
【天　気】曇り一時小雨
【担　当】畑中、古川
【参加者】一般　１５名（大人８、小７）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、榊原正、畠、畑中、降幡、古川　（畑中記）
【内　容】
別曽池周辺。今回はテーマ“お気に入りを見つける”“自分で名前を付ける”“食べられる野草を見つける”で観察会を実施してみました。
最近は美しかった里山に、ソーラー発電のパネル設置が相次ぎ、以前は楽しみな観察会コースとなっていたところも、少し変更して進むことになりました。
既にソーラー化したところでは、草取り要員としてヤギさんがいました。お腹の大きなヤギさんもいて、子供たちは外の草をむしってフェンス内のヤギさんに食べさせたりして道草をし、次期ソーラーパネルが設置されるのであろう広場へ。
水たまりにオタマジャクシが、ヤゴが、わくわくする生き物にも出会えました。薄ピンクのショウジョウバカマも咲いていて、春の息吹をいっぱい感じることができました。
わずかに残ったハンノキ林とその下の湿地、お気に入りのこの景色だけは昔と変わらず一安心。楽しい観察会となりました。

【観察会の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】道々、指導員が色んなお話をしながら進む


【左】大きなかたまりの(卵塊)の一部


【右】ヤギさんと遊ぶ。ヤギさんが好む草を配っている場面

【観察会の様子-追加】

【行事名】初夏の野の花や虫たちに会おう

【日　時】２０２２（Ｒ４）年　５月２２日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】壱町田湿地周辺
【天　気】晴れ
【担　当】伊藤伸、　畠
【参加者】一般　２１名（大人１２、小人９）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、鈴木、畠、畑中、降幡、古川、森下栄、森田　（記：伊藤伸）
【内　容】
　「ああ、今年もハルゼミの声が聞こえる」そう思っていた時、突然私の左腕に何かが止まりました。と、そばにいた他の指導員がスッと捕獲すると、なんとムカシヤンマでした。普通のトンボより少し大きくてカッコイイ！　嬉しくなってしまいました。
　次は何かいるかなと思っていると、マイマイカブリ、ナナフシ、イボタガ（幼虫）、アワフキムシなど、足を進める先々でおもしろい生き物たちを見つけることが出来ました。
　コバンソウの前で、小判について子供たちに熱く語る指導員の姿もあり、初夏のすがすがしい空気の中、充実した観察会でありました。

【観察できた生き物】
　ハルゼミ（声）、ムカシヤンマ、マイマイカブリ、ナナフシ、アカヘリカメムシ、イボタガ（幼虫）ルリタテハ、ホウズキカメムシ、ジンガサハムシ、ユミアシゴミムシダマシ、アワフキムシ、クロアゲハ、ゴホントゲザトウムシ、コバンソウ、ヒメコバンソウ、テイカカズラ、ネズミモチ、ビナンカズラ、スイカズラ、マツバウンラン、ナガミヒナゲシ、ウグイス（声）キジ、

【観察会の様子】





【左】始めの挨拶とお話　　【右】道々、指導員が色んなお話をしながら進む





【左】この場所は魅力的。ナナフシやイボタガの幼虫を発見　【右】スイカズラ(忍冬、金銀花)。アチコチで満開

【観察会の様子-追加】

【行事名】天然のホタルに会おう

【日　時】２０２２（Ｒ４）年　６月１８日(土) １９:００～２０：５０
【場　所】市原農村広場地先
【天　気】小雨のち曇り
【担　当】畠、　畑中
【参加者】一般　３６名（大人２１、小人１５）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、清水佐、竹内公、畠、畑中、　（畠記）
【内　容】
　毎年ながらこの時節のこの行事、夕方以降雨が降るのか止んでくれるのか、とヤキモキ。　問い合わせの電話にも「止む期待があり、現地で、開始時間のその時の様子で決めます」と。　幸い２年前の時と同じように、開始直前にピタリとやんでくれた。
　はやる子供たちを先頭に実際の観察場所へ移動。はたしているかな？光ってくれるかな？　どっこい今年もいるぞ、そこここの草の根元で光っている。
　１９時５０分光が段々賑やかに。そして２０時、「あっ飛んだ」と大人も子どもも大はしゃぎ。追った先の高い木やスーット伸びた竹の高い所でも光っている。
　ここで農耕が始まった時点、あるいはそれ以前からずっとここで生き続けてきたホタルたち。これから先も命を繋いでいって欲しいと願いつつ現場を後にしました。「いっぱい蛍がいて楽しかった」との子供の声にホッとしました。



ホタル乱舞。※当地のものではありません

トップページへ

【行事名】じゃぶじゃぶと新川の生きものすくい

【日　時】２０２２（Ｒ４）年　７月　３日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊　新川中流部
【天　気】曇り
【担　当】畠、　榊原正
【参加者】一般　７４名（大人３４、小人４０）
　　指導員：浅井一、大矢晃、門脇重、榊原正、竹内公、田中央、　畠、　降幡、古川、　南川　（記：畠）
【内　容】
　川の流れは昨年と打って変わって穏やかで、待望の「川に入れる。生き物が掬える」とまずは安堵。ただし流れている幅が昨年よりも更に狭くなっていて、全員が一斉に入れるかどうか心配したが、入ってみれば見た目よりは 広く、全員すっぽり入り、すぐに子供たちの歓声があがった。
　エビ類、カダヤシ、コオイムシ、ヤゴなど、次々にゲット。用意した大きい水槽の水族館がにぎわった。
　指導員のうちの川の達人たちも色々ゲット、イシガメ、モクズガニ、ヤリタナゴ等々、個々の説明に一段と力が入りました。
　「川に入って生き物を掬う」ことは初めての経験で楽しかった」「この川にこんなに多くの生き物がいるとは驚きだった」との感想が多くありました。

【観察できた生き物】
　ヌマエビ、テナガエビ、カダヤシ、メダカ、ヤリタナゴ、ドジョウ、ウキゴリ、　コオイムシ、ハグロトンボ、カワニナ、シジミ、アメリカザリガニ、モクズガニ、イシガメ、ナゴヤダルマガエル、　ほか

【観察会の様子】



【左】受付。住所、氏名等を記入


【右】ここにあったヨシの群生は環境課が処理した


【左】つかまえた生きものの説明


【右】説明後の生きものとのふれ合いタイム

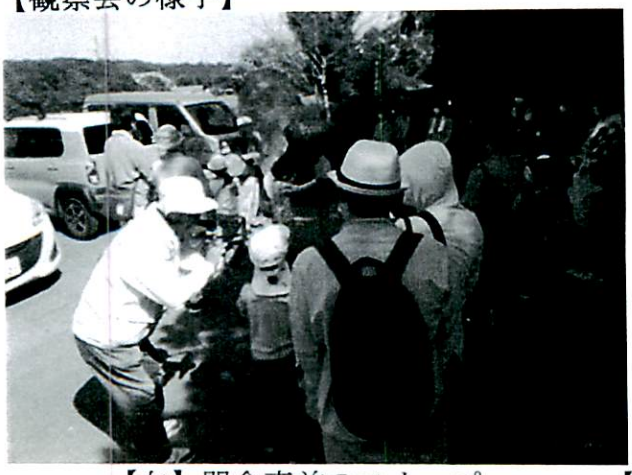
【観察会の様子-追加】

【行事名】里山の秋を見つけよう

【日　時】２０２２(R4)年　9月１１日（日）９：３０～１１：３０
【場　所】別曽池公園周辺
【天　気】晴れ
【担　当】伊藤伸、畑中
【参加者】一般　２５名（大１２，小１３）
　　指導員：浅伊藤伸、榊原正、清水佐、鈴木ひ、畠、畑中、古川、森下栄、森田（９人）　　（記：伊藤伸）
【内　容】
　夏から秋に変わる別曽池周辺は、ソーラーパネルを設置したものの、周辺整備がされず、草が生い茂り、「人の手が入らなければこうも荒れてしまうのか」と、以前の田園風景が懐かしく、そして寂しくもありました。
　しかし　そんな思いも、参加した子供たちが、虫たちを捕えようと元気に走り回る姿を見たり、ナンバンギセルや、とうかいこモウセンゴケを観察できたことで少し安心し、無事観察会を終えることが出来ました。

【観察できた植物・昆虫】
・クズ、ママコノシリぬぐい、アレチヌスビトハギ、ヤシャブシ、るこうそう、ほしあさがお、せんにんそう、ごようあけび、がまのほ、たかさぶろう、ナンバンギセル、とうかいこもうせんごけ　　ほか
・アキアカネ、キイトトンボ、モンキアゲハ、くだまきもどき、べっこうバチ、カマキリ　ほか

【観察会の様子】



【左】開会直前のスナップ



【右】大人は植物の話も聞いてくれます



【左】子どもは側溝やマスの水中に関心あり



【右】閉会のお話

【観察会の様子-追加】

【行事名】ツルや枝、ドングリ等で工作しよう

【日　時】２０２２(R4)年１０月２３日（日）９：３０～１１：３０
【場　所】武豊町自然公園駐車場
【天　気】晴れ
【担　当】畑中、伊藤伸
【参加者】一般　２５名（大１３，小１２）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、鈴木ひ　畑中、古川（５人）　　（記：畑中）
【内　容】
　今日、公園ではドングリがたくさん落ちていました。散策の途中では鳥たちによる「ドングリ攻撃」にも遭遇、パラパラと頭上からドングリが降ってきて楽しかったです。
　工作では鈴木指導員が、“ひょうたん木”　の皮を剥いた枝などを持ってきて下さり、子供たちは拾ってきたドングリ等とそれらを使って上手に作品を作り上げていました。
　また榊原指導員は、竹で作った　“パチンコ”　を用意して、的にフライパンや空き缶、鍋などを、木の枝からぶら下げ、揺れるその的に玉を当てる。子供たちは夢中になって遊んでいました。
　秋の一日、自然の中で、楽しい時間を過ごすことができました。

【観察できた植物・昆虫】
・カマキリ、オオケマイマイ、アリジゴク、ニホンアカガエル　　ほか
・きんみずひき，　ふゆのはなわらび、　美男カズラ　　ほか

【観察会の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】公園山頂の展望台。子どもたちは登ったが大人は？


【左】公園山頂広場で工作の材料採集


【右】家族単位で工作

【観察会の様子-追加】

【行事名】にぎやかな秋の鳥たちを見よう

【日　時】２０２２(R4)年１１月２０日（日）９：３０～１１：５０
【場　所】中山保育園駐車場周辺
【天　気】曇り
【担　当】古川、清水
【参加者】一般　１０名（大５，小５）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、榊原正、清水佐　畠、畑中、降幡、古川（８人）
（記：清水）
【内　容】
　曇り空ではあったが風はなく、まあまあの観察日和。スタートしてすぐの中山新池。今年はカモ類の種も数も少ない。暖かいせいでしょうか。池の堤を渡りきる直前、カワセミが手前から飛び出し２０メートルほど先の枝にとまった。ずばり見える位置だ。すぐさまレンズをセットし、みんなで観察。口々にきれい、きれいと。
　武豊新インターチェンジの工事も終盤のようで、巨大な円周が描かれ高い橋脚とともに不気味な景観を呈している。そのあたりを足早に通り抜けて折り返し地点に。鳥は少ないながらも何種か目にすることができた。
　子供たちも“ひっつき虫”を気にしつつもレンズでしっかり観察。最後水路で餌をついばむ３種類のセキレイを観察してゴール。しかしながら２９種が確認できました。

【観察できた鳥】
・モズ、カワラヒワ、オオバン、マガモ、ハシビロガモ、セグロセキレイ、カワセミ、ビンズイ、ハクセキレイ、キセキレイ、カワウ、ジョウビタキ、ムクドリ、キジバト、ハシブトカラス、ハシボソガラス、カワウ、キジバト、ヒヨドリ、スズメ、カルガモ、コガモ、アオサギ、アオジ、キジ、ヒバリ、オオタカ、コゲラ、トビ

写真：後日掲載します。

【観察会の様子】





【左】始めの挨拶とお話　【右】集合場所近くの池で観察。今日は鳥が少なかった





【左】ここでカワセミが観察できた　【右】２番目の池。図鑑で観察した鳥を見比べる

知多ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	22	土	受募		知多	「朽木の中で生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
2	22	2	5	土	受託		知多	中止「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025) 古川
3	22	2	26	土	受託		知多	中止「旭東公園の自然を観察しよう」●知多市環境政策課	旭東公園(知多墓園)P 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
4	22	4	23	土	受託		知多	「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
5	22	5	14	土	受募		知多	中止「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122)浅井一
6	22	5	28	土	受託		知多	「海辺の生きもの観察」●こども未来館　干潮10:52　中潮	新舞子海岸郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
7	22	6	11	土	受託		知多	「信濃川の新阿原橋付近の生きもの観察」●知多市環境政策課	信濃川パークロードP　9:30	野村(0562-55-4122)田中央
8	22	7	23	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
9	22	8	13	土	受託		知多	中止「海辺の生きもの観察」●知多市環境政策課　干潮0:40 大潮	新舞子海岸郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
10	22	9	17	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501)浅井一
11	22	10	1	土	受託		知多	「身近にあるキノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場　9:30	吉房(0562-55-9025)降幡
12	22	10	8	土	受募		知多	「キノコに会いに行こう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)降幡
13	22	11	5	土	受託		知多	「旭公園の秋の生物を観察」●知多市環境政策課	知多市旭公園北P場　9:30	吉房(0562-55-9025)南川
14	22	12	10	土	募	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P　9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉
15	22	12	24	土	受募		知多	中止「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	細川(0569-43-3670)古川

【行事名】　「朽ち木の中で生活する生き物を観察しよう」　　●主催　梅の館

【日　時】　2022 年1月22 日(土)　9:30 ～ 11:30
【場　所】　梅の館
【天　気】　晴れ
【担　当】　藤井辰子・南川陸夫
【参加者】　一般　13名（大人6人・子供7人）、　梅の館　1名、
　　指導員：浅井一、榊原正、竹内公、田中央、藤井（辰）、南川、吉川勉

【内容】
梅の館館長と、観察会の藤井辰氏から挨拶と注意の説明後、観察現場へ。
館の前の池が昨夜からの冷え込みで，1cm厚さの氷に子供達が大ハシャギとなった。氷を叩き、割れた破片を掴み、未知の体験を体験する子供達の童心の行動をハラハラしながら、見守る姿から始まった今回の観察会。
目的の朽ち木の中とカブトムシが居そうな、自然環境場所ではカブトムシの幼虫とクワガタムシの幼虫やその他の昆虫も見つかり、冬の野鳥の姿や鳴き声も聞き取れて、冬の寒さを感じながらの観察会であった。　（記：南川）

【観察した生きもの】
◎昆虫：カブトムシの幼虫、クワガタの幼虫、カナブンの幼虫、アカシマカメムシ、ミヤマツノカメムシ、ムカデ、マクラギヤスデ、クモの巣、ハバヒロカマキリの卵
◎鳥＝ヒヨドリ、モズ、ハシブトカラス、ムクドリ、シジュウガラ、メジロ、ツグミ、ジュビタキ、カルガモ、オオバン、カワウ
◎その他＝コフキタケ（サルノコシカケ）、カワラタテの仲間

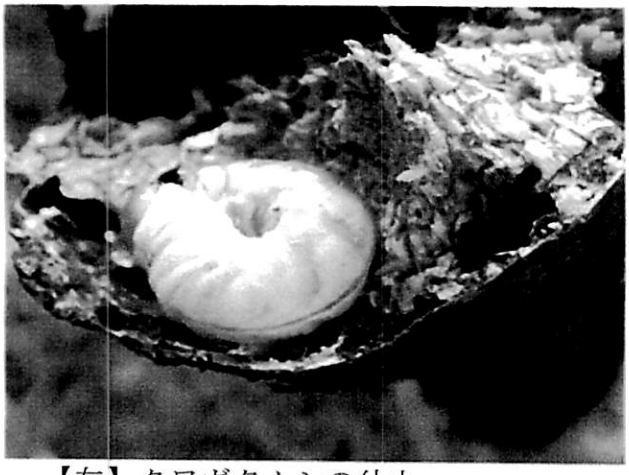
【観察会の様子】



【左】始めの挨拶と観察会についてのお話



【右】池の氷で戯れる子供達



【左】クワガタムシの幼虫



【右】カブトムシの幼虫とカナブンの幼虫

トップページへ

【行事名】　「旭東公園の自然」　　●知多市環境政策課主催　　※ コロナ感染第６波のため中止
【日　時】　2022 年 2 月 26 日(土)　9:15～10:40
【場　所】　旭東公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川、藤井辰
【参加者】　一般　０名
　　指導員：榊原正、南川
【内　容】
　「冬の生きもの観察」の場所としては、私にとって初めての場所だったので、行ったついでに、園内の状況をチェックしながら回ってみた。
　と言うより、きれいなドングリや松ぼっくりを見ると、ついつい、拾ってしまうように、こんな観察日和に、魅惑的な朽ち木を見ると、ついつい、ツツイテしまうという習性です。
　結果の一部は以下の通りです。
　なお、風もない穏やかな春みたいな日だったので、展望台からの眺望に関しては、春霞(?)のため、鈴鹿山系始め山々の絶景が見られなかった。　　(記：榊原正)





【左】杉、満開。次の暖かい日に、花粉出るかも　【中】巨大サルノコシカケ　【右】狐の穴。現在は使っていない




【行事名】　「海辺の生きもの観察」　●知多市こども未来館 主催

【日　時】　2022年5月28日(土)　09:00～11:15
【場　所】　集合:新舞子海岸郷戸広場P、観察会：西側海岸
【天　気】　快晴
【担　当】　吉川勉、榊原正
【参加者】　一　般：こども10名、おとな7名　　(こども未来館職員) 4名
　　指導員：９名【門脇重、榊原正、竹内公、田中央、降幡、南川、森田、吉川勉、吉房】
【内　容】
　早朝から快晴、暑い日となりました。
　干潮は午前11時前で、開始時にはすでに潮が引き始めていました。　参加者に予定している駐車場は潮干狩りのお客さんで殆ど満車、ほかにウインドサーファーもいて午前8時前からこども未来館職員が駐車場確保に腐心していて、結果的に参加者及び指導員は何とか駐車できお迎えもできて観察会を始めることができましたが、観察会の範囲はやや絞られることになりました。
　オープニングで未来館担当者のごあいさつ、海辺の生き物を探す範囲や探り方、危険な生き物について指導員からお話しをした後、サー！海辺の生き物を探しの開始。
　まず指導員がアナアオサをまとめてすくって陸に上げ子供たちがそこをさばいて魚、カニなどの探索を、さらに砂浜でアナジャコなどを探し当て、歓声が上がっていました。
　その後、捕獲した生きものを、それぞれ生き物の種類別のバットに移しながら、「魚類」と「貝類とその他」に分けて参加者に順を追って説明を行いましたが、参加者からは、特に「ヨウジウオ」に興味を示すとともに、「ヤドカリ」や「カニ」はどうやって大きくなるのなどのほか、”これ何？”など、ワイワイ賑やかに交流が進みました。
　最後に、みんなで集合写真をパチッ。　　(記・吉川勉)

【観察した生き物】
　◎　魚　：アナゴの幼魚、アカエイ（浜辺に打ち上げられており、危険な生物の良い説明材料となりました）・ヒメハゼ・ヨウジウオ・ウナギ・ボラの幼魚・セイゴ・シーバス
　◎貝　類：ヒライソガニ・アサリ（抜殻）・オキシジミ・シオフキ・ツメタガイ
　◎エビ類：テッポウエビ・
　◎カニ類：スナガニ・ワタリガニの幼生・マメコブシガニ・ケクサイソガニ・ヒライソガニ・ガザミ・コブシガニ・
　◎その他：ゴカイ、ヘラヘラ・アナジャコ・エビシャコ・スナモグリ・キョウノヒモ・ワカメ・アナアオサ・オゴノリ・アマモ・タテジマイソギンチャク・タンバソウ

【観察会の様子】


【左】開始後、貝？探しに夢中！


【右】アナアオサを探り中！


【左】バットに集められた魚類等


【右】バットに集められた貝・海藻類等

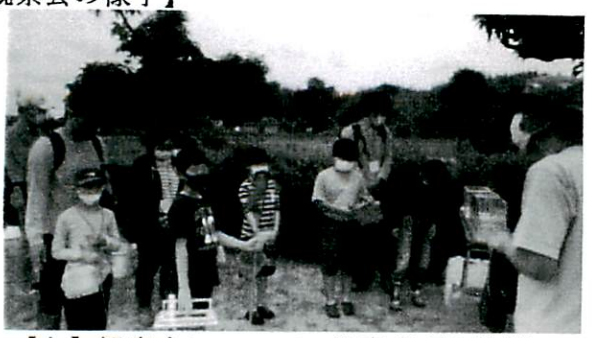
【行事名】　「信濃川新阿原橋付近の生き物の観察」　●主催　知多市環境政策課

【日　時】　2022年6月11日(土)　9:30～11:30
【場　所】　信濃川新阿原橋付近　上流50m地点
【天　気】　曇り
【担　当】　野村、田中央
【参加者】　9名（大人4名・子供5名）　　知多市職員　熊谷氏　他3人（4名）
　　指導員：浅井一・門脇・鈴木、榊原正・田中央・降幡・吉川勉・吉房・南川

【内　容】
　この地点での観察会は久しぶりである。始めに主催方より，開催挨拶があり、観察会の指導員からは川の生き物たちがどんなところに潜んでいるか？捕え方、観察の方法、安全行動と注意事項の説明後、川の堤から梯子使いまず安全に川に入る。
　参加者はタモやバケツを思い思い手にして、川の中をガサガサと生き物を求め行動してサカナや生き物がタモには入ると感激や感性の声をあげて嬉しそう。参加者の皆様は観察会を楽しまれ、自然の一端を学ばれたひと時であった。
　前回の記録を探求してみたが、おおよそ15年から18年前になると思われるが、川の様子も変化していて砂地が減少して、田んぼより流れ込んだ土が増加していて、川の中を歩くと濁りが発生する川に成っていた。時代の流れと環境の変化を垣間見た観察会であつた。　　（記：南川）

【観察した生き物】
（魚類）　ウナギ（3年生？）、メダカ、タモロコ、タイリクバラタナゴ、オイカワの幼魚、カダヤシ、ナマズ（目視）
（甲殻網）モクズガニ、テナガエビ、ヌマエビ、アメリカザリガニ、
（貝類）　カワニナ、
（水生昆虫）シオカラトンボのヤゴ、ホグロトンボのヤゴ、コオイムシ、ハイイロゲンゴロウ、アメンボ
（両生類）　ミシシッピアカミミガメ（目視）

【観察会の様子】


【左】観察会についての注意事項と挨拶


【右】サカナ等、生き物を求めてガサガサと


【上】捕らえた魚たちを水槽に生かして観察しています

【行事名】　「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」　●梅の館主催

【日　時】　2022年7月23日　（土）　9：30～11：40
【場　所】　梅の館
【天　気】　晴
【担　当】　南川、藤井（辰）
【参加者】　26人（大人13人　子供13人）　梅の館　職員（澤田）
　　指導員：浅井一、田中（央）、竹内（公）、古川、藤井（辰）、南川、吉房、吉川（勉）
【内　容】
　最近、雨模様が続いていましたが、今日はすっきり晴れ、木陰は涼しくて子供たちは、タモでキリギリスやセミを追いかけて久しぶりの親子の楽しそうな光景に見とれてしまいました。　（記：藤井辰子）

【観察した生き物】
◎昆虫：シオカラトンボ（牡・雌）、コシアキトンボ、キリギリス（雌）ブドウスズメ、セスジスズメ、チョウトンボ、アオバハゴロモ、アミガサハゴロモ、カミキリムシ、ハバヒロカミキリ、アブ、コミスジ、クビキリギス、クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、キマダラカミキリ、アオイラガ、アゲハチョウ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキチョウ、ジョロウグモ、
◎両生類・爬虫類：トノサマガエル、アマガエル、アオダイショウの抜け殻
◎鳥類：ウグイス（声）、ヒヨドリ、ツバメ、ハシブトカラス、ハシボソカラス、
◎植物（代表的な）：クスノキ、ヤマモモ、ウメ、サクラ、コナラ、クヌギ、ビワ、ナギ、カラムシ
◎その他：アメンボ、メダカ

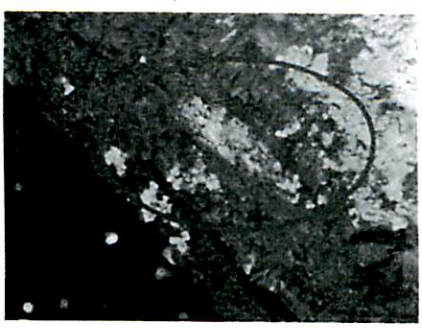
【観察会の様子】
草むらにはいろんな虫さんがいるね



キリギリスのメス



ニイニイゼミ



コミスジが居ました





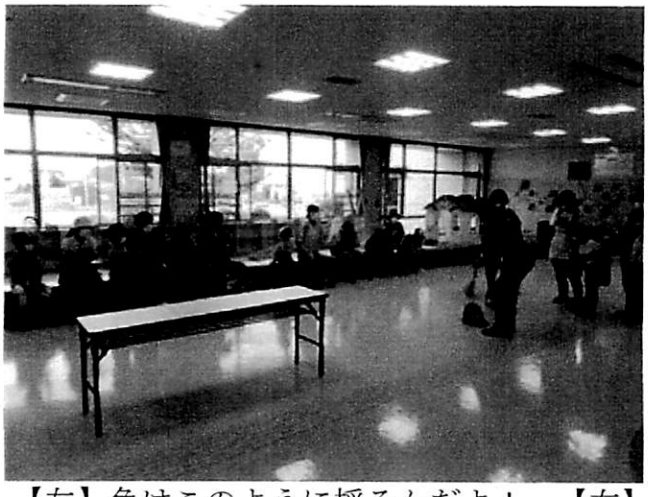
これまでの観察会へ　　トップページへ

【行事名】　「水田や水路の生きものを観察しよう」　●主催 知多市こども未来館

【日　時】　2022年9月17日(土)　9:30～11:30
【場　所】　知多市　こども未来館 玄関ホール ⇒ 神田川水路
【天　気】　晴れ
【担　当】　吉川勉、浅井一
【参加者】　一般19名（大人8名、子供11名）、こども未来館3 人
　　（指導員3名：浅井一、南川、吉川勉）
【内　容】
台風14号襲来前のこの時期としてはお子さんにもお母さんにも絶好の天気となりました。
未来館からの挨拶、及び指導員から特に水路でのタモの扱い方や魚類の捕獲の仕方などについて説明後、いざ出発！
出発直後には、最初からスクミリンゴガイの卵塊の観察とアメリカザリガニを子供が見つけました。
途中では、キチョウやシロチョウ、シオカラトンボやウスバキトンボが多数飛んでいて必死に追いかけっこしながら子供たちは夢中でしたが、いかんせん川用のタモとバケツでは・・・
水路では、カニやドジョウ、さらにはウナギ（子供が捕獲）の捕獲に大喜び、みんな熱心に眺めたり触ったり、つかんだりと、とても素敵な感性を持った子供たちばかりでした。
そして、未来館に戻って解散前にみんなで記念写真！（記：吉川）

【【観察した生き物】】
◎植物　アメリカミズコンバイ、セイバンモロコシ、ニラの花、スベリヒユ、トネリコ、クズの花、ハギ、ヘクソカズラ、
◎動物　スキミリンゴガイの卵塊、アメリカザリガニ、キチョウ、シロチョウ、シオカラ（雌雄、交尾シーン）、ウスバキトンボ、マハゼ、ヌマエビ、ゴクラクハゼ、イナゴ、ドジョウ、ゴクラクハゼ、モクズガニ、イナゴ、ミシシツピーアカミミガメ、クロベンケイガニ、アメンボウ
◎貝類　マルタニシ、シジミ、イシマキガイ

【観察会の様子】





【左】魚はこのように採るんだよ！　【右】我先に川に入って魚の捕獲開始！

【行事名】　旭公園のキノコを観察しよう ●主催：こども未来館

【日　時】　2022 年 10 月 1 日(土)　　9 ： 30 ～ 11 ： 40
【場　所】　知多市　旭公園
【天　気】　晴
【担　当】　吉房、降幡
【参加者】　大人８名、子ども11名　こども未来館　３名
　　（指導員：降幡、南川、吉川勉、吉房）

【内　容】
はじめに資料を用いて、キノコのカサ、ツバ、ツボといったつくりについて説明をした。キノコは菌類と言われコウボ、カビ、コウボなどで真菌類である。細菌や粘菌とは別物である。キノコは菌糸集まったもので菌糸の大きさは世界で一番大きな生物とされ、一山一つの菌糸で覆われるものもあるとのこと。

採集するときにカサは勿論のこと、ツバとツボを大事にとるよう念をした。次に①観察会では食べることのできるキノコを期待するが少ないこと、②毒キノコでも触ったり食べたりして現れる症状が人によって異なること、③カエンタケが出た地区があるのでオレンジ色のキノコを素手でさわらないこと、④観察会が終わったら必ず手を洗うこと、等の注意が４点あった。皆熱心に聞いていた。

キノコ探しが始まると皆一生懸命。子供の目線は低いので、思いがけないところでのキノコまで探し出し、大人が驚くばかりである。観察会に参加する親御さんは自然に対する関心が強い方ばかりなので、子供達も日頃からその影響を受けていて、鋭い観察力を持っている。小さな子までが終わりの時間を告げるまで熱心にキノコ探しをしていた。全員が様々なキノコを採集することができた。

最後に、皆で採集したキノコの名前や特徴等の説明があった。本物のクロハツとニセクロハツの見分け方については、目の前でニセクロハツの切り口の色が変わり歓声が上がった。キノコの名前の付いた由来を、興味深く聞き感心していた。今年はホコリタケが見つからなかったのが残念である。
（記：吉房）

【観察した生きもの】
◎キノコ…コフキサルノコシカケ、シロハツ、クロハツ、マンネンタケ、イタチタケ、カワリハツ、ヒメカタショウロ、ニセショウロ、トガリベニヤタケ
◎木の実…クヌギ、マテバジイ、シラカシ、コナラ、スダジイ
◎昆　虫…アサギマアラ、ツマグロヒョウモン、シジミチョウ、モンキチョウ
◎その他の生き物…　カダヤシ、トカゲ、アマガエル

【観察会の様子】


【左】キノコの観察開始


【右】最後のまとめ


【左】トガリベニヤマタケ


【右】コフキサルノコシカケ

【行事名】　キノコに会いに行こう　　●主催　梅の館

【日　時】　2022年10月8日（土）　9:30 ～ 11:30
【場　所】　梅の館
【天　気】　快晴
【担　当】　南川陸夫　　降幡光宏
【参加者】　一般　17名（大人12人・子供5人）、梅の館　1名
（指導員：浅井一、榊原正、田中央、藤井辰、降幡、南川、吉川勉、吉房、）

【内　容】
昨日の雨も上がり、快晴の秋日和に成りました。はじめの挨拶があり、その後降幡さんより「キノコ」についての図解説明をされた。キノコを理解して、興味をわかせて観察に出かける。結果は昨年より多くのキノコに出会えた。参加された家族の方々は珍しそうに手にして触れて、感触を体験し、家族で和気あいあいとキノコを求めた観察会であった。
（記：南川）

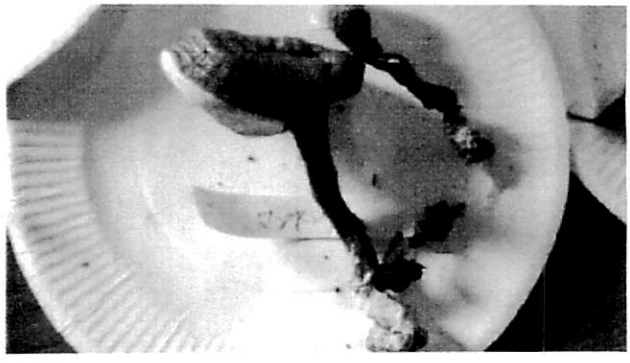
【観察した生きもの】
（キノコ）
イグチの仲間、カワラタケ仲間、コフキサルノコシカケ仲間、ツチグリ、ウスヒラタケ、ヒイロタケ、ツノマタタケ、ウズラタケ、ヘビキノコモドキ、ベニタケ、オニタケ、クジラタケ、ハナオチバタケ、ナラタケモドキ、マンネンタケ、ニガクリタケ、シロソウメンタケ、ミイノモミウラモドキ、アセタケの仲間　（※昨年は10種類）
（昆虫）キチョウ、ベニシジミ、アカタテハ、オオカマキリ、ツクツクボウシ
（鳥）ハシブトガラス、コゲラ、シジュウガラ、メジロ、ヒヨドリ、モズ
（その他）アマガエル

【観察会の様子】


【左】キノコについての説明


【右】採れたキノコを展示して説明





これまでの観察会へ　　トップページへ

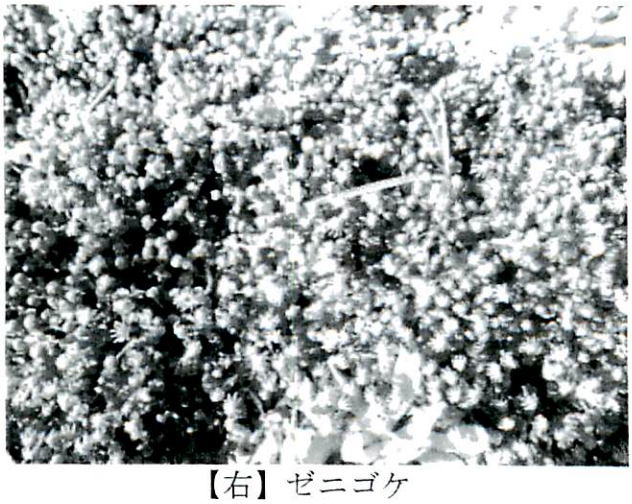
【行事名】　日長神社の紅葉を愛でよう
【日　時】　2022年12月10日（土）　09:30～11:30
【場　所】　集合：産業道路日長インター東広場P
【天　気】　晴れ
【担　当】　細川、吉川勉
【参加者】　一般２名（大人１名、子供1名）
（指導員８名：浅井一、藤井辰、降幡、細川、南川、森田、吉川勉、吉房）

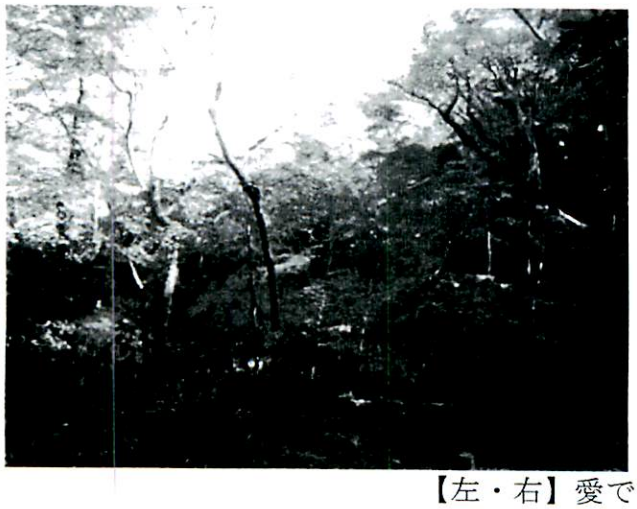
【内　容】
日長神社の「紅葉谷（もみじだに）」はここ1週間ぐらいが見ごろというときに当たり、紅葉狩りを楽しむ人が多く訪れていた。
昨年鮮やかな濃紫赤色を楽しめた境内のノムラモミジが大きな枝ごと枯れていて無残な姿をさらしていました。残念！
今回、昆虫好きの少年が昨年に引き続き参加し、昨年には蟻地獄からウスバカゲロウの幼虫を２匹も捕るなどしたことから、今回も蟻地獄の探索に一生懸命であったが、空振りとなってしまいました。これも残念！
昨年参加者らで一生懸命探したカブトムシの幼虫は今回は一匹だけ、しかし昨年のものより倍ぐらい大きなもので、みんなで触りまくって写真を取りあいました。
さらに、同じところでクワガタの幼虫を昆虫好きの少年が見つけ、一か所で両方見つかったと大騒ぎ！　（記・吉川）

【観察した生き物】
（植物類）：ノボロギク、コアマモ、ゼニゴケ、ヤマイモ、ノキシノブ、ヤブミュガ、ノハタカラクサ、ティカカズラ、ゴヨウアケビ、キカラスウリ
（菌類）：キクラゲ、ヒラタケ、サルノコシカケ、カワラタケ
（樹木類）：シイ、ノムラモミジ
（鳥類）：メジロ、カワセミ、イソシギ、ハクセキレイ
（昆虫類）：カブトムシの幼虫、クワガタの幼虫

【観察会の様子】


【左】最初のごあいさつ


【右】ゼニゴケ




【左・右】愛でた紅葉谷の紅葉

東海ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	22	土	受託		東海	「公園の野鳥を観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
2	22	2	12	土	受託		東海	中止「朽ち木の虫観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
3	22	5	14	土	受託		東海	「ヒメボタルに会おう」参加費100円 ●東海市施管協	上野台公園 21:30	吉川洋(052-381-4426)浅井一
4	22	7	2	土	受託		東海	「昆虫とオオケマイマイ」参加費100円 ●東海市施管協	しあわせ村玄関前　9:30	吉川洋(052-381-4426)浅井一
5	22	7	31	日	受託		東海	「夏の生き物をみつけよう」参加費100円 ●東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	浅井一(080-6960-6053)森田
6	22	9	18	日	受託		東海	中止「秋の虫を探そう」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	浅井一(080-6960-6053)水野利
7	22	10	23	日	受託		東海	「公園のキノコ を観察」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園多目的室　9:30	降幡(0569-43-8060)吉房



【行事名】　公園の野鳥を観察　主催　東海市施設管理協会

【日　時】　2022年1月22日(土)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大池公園動植物資料館
【天　気】　晴れ
【担　当】　神野、岩崎
【参加者】　一般19名（大人13名、子供6名）
（指導員6名：[浅井一]、岩崎、神野、降幡、古川、森田）

【内　容】
コロナ感染(オミクロン株)第6波が全国的に急拡大し、愛知県にも昨日からまん延防止等重点措置が要請された。アウトドアの活動であるので感染のリスクは低いものの参加者は全員マスク姿で「密」を回避した。若齢者への感染が多いせいか子どもの参加数は少なく感じた。
会場の大池公園(太田大池)は再び耐震工事が始まり、池の水の大半が抜かれて枯れ池になっていました。土木工事中の重機等の音も響き、鳥観察には最悪のコンディションになってしまいました。そんな環境にもめげず先ず「動植物資料館」を見学した後、池周回路を散策しながら野鳥を探しました。ヒヨドリ、ハクセキレイ、メジロ、キジバト、ドバト、ハシボソガラスは全員が観察できましたが、他の野鳥は動きも早く観察できた参加者が少なかった様でした。周回後に確認できた18種の野鳥について「鳥あわせ(分かち合い)」をし、主催者アンケートを一般参加者から頂いて閉会しまし。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎鳥類
ヒヨドリ、ハクセキレイ、メジロ、ウグイス、キジバト(ヤマバト)、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シメ、モズ、ダイサギ、カワウ、ミサゴ
スズメ、ドバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス
◎植物
クロガネモチ(結実)、キリ(結実)
◎その他(菌類)

【観察会の様子】


【左】一般参加応募者数19名、主催者挨拶


【右】動植物資料館巡回


【左】木陰の野鳥を探す


【右】大田大池は枯れ池状態、ハクセキレイ、キジバトがいた。

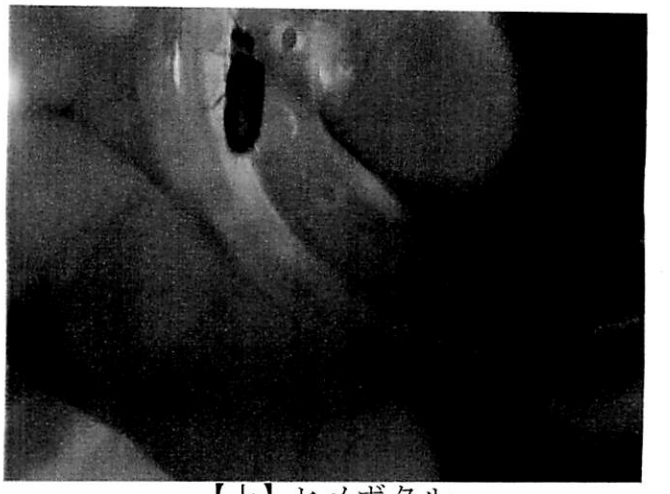
【行事名】　ヒメボタルに会おう　主催 東海市施設管理協会

【日　時】　2022年5月14日(土)　21:30～23:00
【場　所】　集合:上野台公園P
【天　気】　薄曇り
【担　当】　浅井一、吉川洋
【参加者】　一般39名（大人20名、子供19名）
（指導員2名：浅井一、吉川洋）

【内　容】
満月の二日前の月が天頂に昇る中、市の担当配慮により前日より観察場所周りの明かりを消していただけたこともあり例年より風があったので二十匹以上舞い上がるのが見られました。
（記・浅井一）

【観察した生き物】
◎昆虫
ヒメボタル

【観察会の様子】



【上】ヒメボタル

これまでの観察会へ　　トップページへ

【行事名】　昆虫とオオケマイマイ　主催 東海市施設管理協会

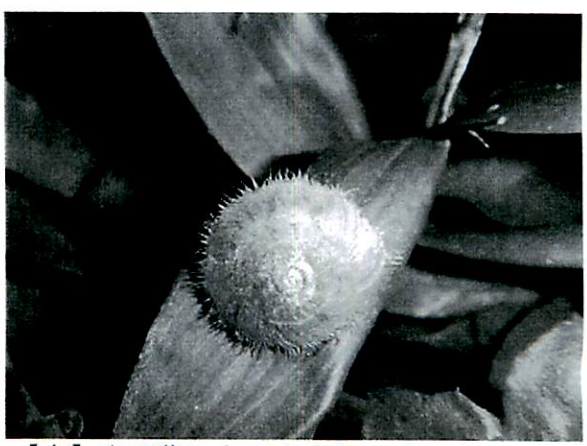
【日　時】　2022年07月02日(土)　09:30～12:00
【場　所】　集合:しあわせ村玄関前
【天　気】　晴れ
【担　当】　吉川洋、浅井一
【参加者】　一般6家族20名（大人8名、子供12名）
（指導員6名：浅井一、榊原正、田中央、降幡、森田琢、吉川洋）

【内　容】
昨日は気温40℃に迫る猛暑日、今日はやや落ち着いて心地よい風が吹いていました。今回は色々なカタツムリを探す観察会です。梅雨明け(6/27)後の下見ではオオケマイマイなど数匹を確認できましたが、乾燥した日が続いたので多数のカタツムリ類は難しいと考えていました。
念のためあらかじめつかまえて飼育しておいたオオケマイマイ、イセノナミマイマイ、ナミコギセルを紹介して観察開始。オオケマイマイの生息地まで行く間に、木の幹や葉の裏、石などの壁にいるカタツムリを探して、子どもたちは大小数匹のイセノナミマイマイを見つけてくれました。
その他のカタツムリ類は途中ではなかなか見つけられず、動いているナミコギセルはほとんどの子は見つけられませんでした。事前に数匹はいることを確認していたオオケマイマイは日陰の石垣・生息地で岩の下に隠れてるオオケマイマイヲ次々に見つけてくれました。さすが子どもたちの目線です。
捕虫網を持って行動していた子どもたちは、木の葉を食べてる芋虫類、木陰を飛び交うアゲハチョウ、水辺のトンボ、木々にぶら下がっているセミの抜殻、コナラの樹液に集まるカナブンやハチたち、大木の割れ目に隠れるコクワガタなどにも眼を奪われていました。
観察の工程では子どもたちが動き回り、指導員も引きずられて集団がバラバラになる傾向が出たのは反省点でした。大人向けには葉書の樹タラヨウ(多羅葉)、クチナシの花の香り、ネムノキの花の美しさと子守歌などを話題にしました。
園内を一周して空調の効いた施設内のイスのあるところでまとめをしました。カタツムリをどの子もとることができ、アオスジアゲハやイモムシ(スズメガの幼虫、ハマキガの幼虫)や、カナブンなどもとれて満足そうな子どもたちの姿がありました。どの子も楽しかったと答えてくれたのが嬉しかったです。
（記・森田・吉川）

【観察した生き物】
◎植物
アオギリ(開花)、クチナシ(開花)、ネムノキ(開花)、タラヨウ、シロヤマブキ(結実)
◎陸生巻貝
イセノナミマイマイ(生体、幼体)、オオケマイマイ、ナミコギセル、ナメクジ
◎昆虫
ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ビロードスズメ(幼虫)、フタトガリアオイガ(幼虫)、コシアキトンボ
ニイニイゼミ(抜け殻、鳴き声)、クマゼミ(抜殻)、アブラゼミ(抜殻、鳴き声)、キマダラカメムシ(若齢幼虫)
コクワガタ、ハナムグリの仲間
タイワンタケクマバチ
オオカマキリ(幼体)、ショウリョウバッタ(幼体)、エンマコオロギ(幼体)
チャバネゴキブリ
◎その他
オカダンゴムシ、ヤスデの仲間、カナヘビ

【観察会の様子】


【左】オオケマイマイ探し


【右】木の葉の上のオオケマイマイ

【行事名】　夏の生き物をみつけよう　主催　東海市施設管理協会

【日　時】　2022年07月31日(日)　09:30～11:00
【場　所】　集合:加木屋緑地公園第3P
【天　気】　晴れ
【担　当】　浅井一、森田琢
【参加者】　一般40名（13家族）
（指導員8名：浅井一、門脇重、榊原正、藤井辰、古川、降幡、南川、森田琢）
【内　容】
下見7月25日　春に植栽した秋の七草が既に開花。本番に備えてザリガニポストを試作準備しました。
本番では応募者家族を4班に分け密集を回避して臨みました。事前に用意したザリガニ釣りセットを参加者に組み立ててもらい、ビオトープ3ヶ所に分散して釣り始めました。煮干を餌にした効果もあってか次々にザリガニが釣れて子どもたちは大喜びでした。
10匹以上を釣り上げる親子もいて皆が夢中になっていました。釣れたアメリカザリガニは仮設の「ザリガニポスト」に投棄してもらい夜間に狸などの動物に食べてもらいます。作戦が成功すれば今後のザリガニ退治に良い見本となります。40分程ザリガニ釣りを楽しんだ後、
各班は右回りコース、左回りコースに分かれてビオトープ園内を周回、セミ、甲虫類、アゲハ蝶類、トンボ類等を採集観察しました。猛暑の最中でしたので予定より30分程早めて再集合して幕を閉じました。アンケート結果も至極好評だった様です。
翌日談：ザリガニポスト付近にトレイルカメラを仕掛け夜間の様子を撮影したが初回はタヌキ等の夜行性動物は確認出来なかった。試行継続中。
（記・森田）
【観察した生き物】
◎植物
クリ(結実)、アベマキ(結実)
キキョウ(開花)、カワラナデシコ(開花)、オミナエシ(開花)、クズ、ハギ(開花)、ミソハギ(開花)、ハナゾノツクバネウツギ(開花)、アベリア(開花)、クサギ(開花)、ダキハアレチハナガサ(開花)、ヒメジョオン(開花)
◎昆虫
ウスバカミキリ、タマムシ、コメツキムシ、ヒメコガネ、キマダラカメムシ、クマゼミ、アブラゼミ、アオバハゴロモ、オニヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ハラビロカマキリ、コカマキリ、ショウリョウバッタ、イボバッタ、キリギリス(鳴き声)
ベッコウハゴロモ、アゲハチョウの仲間、セスジスズメ(幼虫)、ホタルガ(幼虫)、ヒロヘリイラガ(幼虫)
◎その他　動物
アメリカザリガニ、ウシガエル(鳴き声)、ニホントカゲ、キジバト
◎その他　菌類
オニフスベ

【観察会の様子】


【左】メインイベント「ザリガニ釣り」

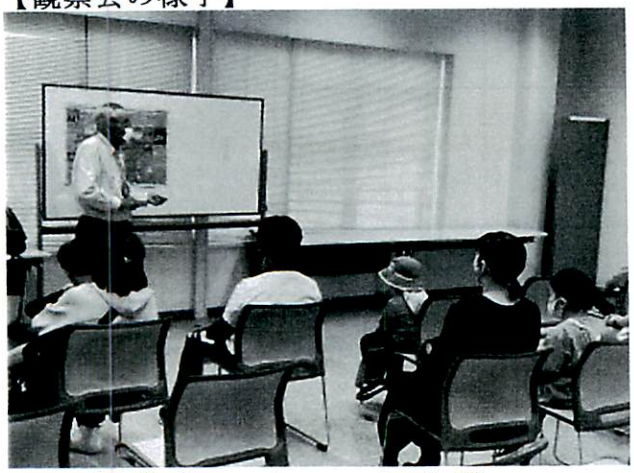

【右】釣り上げられたアメリカザリガニ

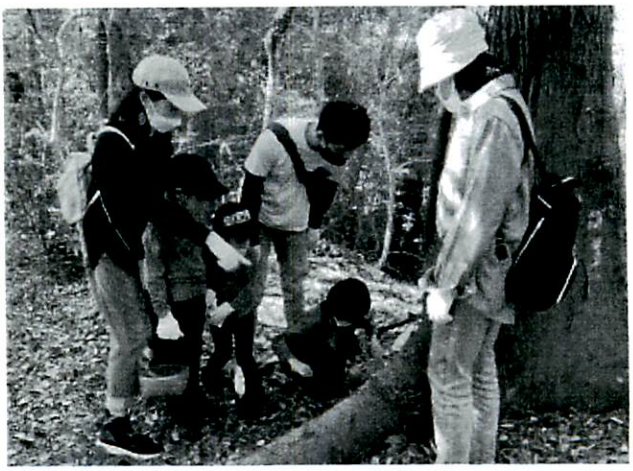
【行事名】　「公園のキノコの観察」　●東海市施設管理協会主催
【日　時】　2022年 10 月 23 日(日)　 9 : 30 ～ 11 : 50
【場　所】　東海市　大池公園
【天　気】　晴
【担　当】　降幡、吉房
【参加者】　協会　２名　　参加者１７名　大人９名、子供８名
（指導員：浅井一、降幡、古川、森田、吉房、）

【内 容】
コロナのため参加者は全員マスクをかけ、手指消毒をしてソーシャルディスタンスをとっての着席である。
はじめに管理協会の方から公園の諸注意があり、次に本日の担当からキノコについてつくりや採集の仕方についての説明があった。次にスズメバチやヤマカカシの対応についての注意を話した。
しばらく雨が降ってないのでキノコが少ないと思い探していると、キノコの種類は少なかったが、目線の低い子供達が集中しているところで、沢山見つけることができた。同じ種類でも条件しだいで異なった姿に成長することが分かった。　（記：吉房）

【観察した生き物】
◎キノコ：　カワラタケ、オオワライタケ、カイガラタケ、コフキサルノコシカケ、チチアワタケ、カワラタケ、オオシロカラカサタケ、ホウロクタケ、ヌメリイグチ、アラゲカワラタケ、テングタケ、チチチアワタケ（この地方の方言スドオシ）、テングタケ、ツルタケ、
◎木の実：アベマキ、コナラ、マテバシイ、マツ（マツボックリ）
◎　鳥　：コサギ、ハシブトガラス、ヒヨドリ
◎その他の生き物：ミシシッピアカミミガメ、トカゲ、オオスズメバチ、ジョロウグモ

【観察会の様子】


【左】キノコについてのお話。


【右】サルノコシカケみつけました。


【左】サルノコシカケに腰かけてみました。


【右】カワラタケ上とカイガラタケ下。

常滑ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	15	土	募	協	常滑	「冬の鳥ウォッチング」	前山ダム公園P(北:交流広場) 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
2	22	2	27	日	受募		常滑	「朽木の生きもの」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井
3	22	5	8	日	募	協	常滑	「砂浜の花と虫」	蒲池漁港P 9:30	森田(0569-42-1708)中井
4	22	7	30	土	募	協	常滑	「海辺のカニ、ヤドカリ」(大潮 干潮13:05)	蒲池漁港P 10:00	森田(0569-42-1708)中井
5	22	8	14	日	募	協	常滑	「市最高峰86.95mの自然を楽しむ」	高砂山公園P 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
6	22	10	2	日	受募		常滑	「雑木林のキノコ」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井



【行事名】　冬の鳥ウォッチング

【日　時】　2022年1月15日(土)　09:30～11:30
【場　所】　集合：前山ダム公園Ｐ（北:交流広場）9:30
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田、降幡
【参加者】　一般13名（大人5名、子ども8名名）
（指導員8名：榊原正、中井、降幡、古川、森下栄、森下保、森田、吉川勉）
【内　容】　昨日の降雪(1cm)が日陰に僅かに残る鳥観察日和になった。主催者の手違いで参加者が親水広場と交流広場に分かれて集まり、いずれのグループも前山ダムを左回りしたため最後まで出会うことはなかった。(反省)。参加家族には下見して準備した「前山ダムの冬鳥たち」と「ハゼの実を食べにくる小鳥たち」パンフレットを提供し、鳥の名前にこだわらずその生態を観察して楽しんで貰える様配慮した。当日のの見どころは「カワウの群棲」と「ダム池のマガモ群」、天空をホバリングする「鷲鷹の仲間たち」でした。
当会場での観察会は初の試みでしたが、一般参加者との会話から鳥観察の初心者には手ごろな場になったと感じました。
(記・森田)

【観察した生き物】
◎鳥類
カワウ、マガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、オオバン、ミサゴ(2羽)、トビ、オオタカ、ノスリ、カシラダカ、ハシボソガラス、スズメ、ヒヨドリ、ツグミ、メジロ、モズ、タヒバリ、ホウジロ、ジョウビタキ、アオジ、シジュウカラ、カワラヒワ、ハクセキレイ、コゲラ
◎植物
ハゼノキ、ヤナギ、ハンノキ、カジイチゴ、マダケ、モウソウチク
◎その他
ツチバチ(営巣)

【観察会の様子】


【左】ダム周回路からマガモ群観察


【右】いつも来てくれる「ちびっこ博士」


【左】カワウ営巣


【右】マガモの群れ

【行事名】　朽ち木の生きもの　主催 大曾公園

【日　時】　2022年2月27日(日)　09:30～11:00
【場　所】　集合:大曾公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　降幡、中井
【参加者】　一般15名（大人9名、子供6名）
（指導員8名：浅井一、榊原正、中井、南川、降幡、森下栄、森下保、森田）

【内　容】
昨日までの暖かさを残しつつも冷たい風が雑木林を吹き抜けていました。2月開催予定の自然観察会8ヶ所の内6ヶ所は主催者によるコロナ感染自粛要請で中止されました。そんな中でしたが当主催者のご協力もあって何とか開催することが出来ました。応募者は予想を超えて9家族15名(人数制限20名)の一般参加を頂きました。観察会をWonderなものにすべく、数日前の下見で蟲トラップを6ヶ所仕掛けておきました。また、過去の観察記録から「落ち葉や朽ち木の下の生きもの」写真図鑑(ラミネート加工)にまとめ当日参加した家族(6家族分)に配布しました。9:30定時開催し担当から「危険な生きもの」「コロナ感染対策」について諸注意をした後、自由に蟲探しを始めました。多数の指導員にも個々の家族に連れ添ってガイドして頂きました。蟲トラップでは期待した種数は採取出来ませんでした。雑木林の林床が乾燥し、朽ち木や落ち葉もブナ科が少ない環境でしたので止む無しでした。それでも伐採木の下や朽ち木の中では20種を超える生きものを見つける事ができました。中でも10匹を超えて採取された生きものはハサミムシ、ムカデ、ダンゴムシの仲間たちでした。約1時間程の採集時間でしたが、あちこちで初めて触る虫たちに驚き、感動の声をあげていました。担当者もそんな声を聞くことをうれしく思います。30分間程の分かち合いの後、数種類の幼虫は好きな子どもに持ち帰ってもらい、残りは撮影後雑木林に戻してやりました。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎落ち葉や朽ち木
クロマツ、松かさ、コナラ、イチョウ、カクレミノ、ササ
◎生きもの
コメツキムシ（成虫）　、ウバタマコメツキ（幼虫）　、カマキリ　　ミノムシ、カブトムシ（幼虫）、コクワガタ（幼虫）、みみず　、コウガヒル　、ヒゲジロハサミムシ
サシガメの仲間　、クモ〈不明種）、
オオムカデ　、ジムカデの仲間　、マクラギヤスデ　、ヤスデの仲間、アブラムシの仲間　、ホソヘリカメムシ　、クロアリの仲間、イセノナミマイマイ、オオケマイマイ　、ウスカワマイマイ？
オカダンゴムシ、ワラジムシ
◎その他
メジロの巣

【観察会の様子】


【左】松の伐採木の下から開始


【右】雑木林丘の上

【行事名】　砂浜の花と蟲たち　主催　知多自然観察会(常滑)

【日　時】　2022年5月8日(日)　09:00～11:30
【場　所】　集合:蒲池漁港P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田琢、中井三
【参加者】　一般14名（大人6名、子供8名）
（指導員7名：榊原正、中井三、降幡、古川、森下栄、森下保、森田琢）

【内　容】
5月7日(土)午前中に下見を実施した。現地の安全、開花期を迎えた海浜植物、訪花している昆虫たちを確認しつつ、夜行性甲虫の捕獲を狙ったトラップ(落とし穴コップと餌となる煮干)を8ヶ所ほど仕掛けた。5月8日(日)本番日は快晴にはなったが風がやや強く飛翔する昆虫の観察は難しい状況になった。知多観ネットの他に「広報とこなめ」でも開催案内をしており、常連の蟲友を含めて14名の一般参加があった。用意したラミネート図鑑(花編・蟲編)は家族に1部ずつプレゼントし予備知識として頂いた。観察は砂浜沿いに１Km程を散策しながら、開花している花を中心に話題や解説を伝えた。蟲トラップ付近には黄色くペイントした目印を立て子どもたちでも探せるようにした事もあり、皆が夢中になって場所探しをしていた。トラップには植物食のヒメスナゴミムシダマシが大量に捕獲されていた。ハサミムシ、ダンゴムシ、ワラジムシ、クモも目立った。中でも全員が注目したのは珍しい動物食の「オオヒョウタンゴミムシ」で大人たちも写真撮影に夢中になった。周囲には餌食となったスナゴミムシダマシが累々と転がっていた。本種について愛知県では庄内川河岸、常滑沿岸などでの報告実績があるが数少ない。なお、類似の「ホソヒョウタンゴミムシ」は旭公園、大同グランド、佐布里公園等での報告がある。その他目的外観察にはなるが、海へ流れ出る排水溝で沢山の小魚群を見つけ、これも皆が夢中になって魚捕り出来た事も感動の一部である。まだまだ書き足りないが、予期せぬ驚きや感動に溢れた観察会になった事を報告しておく。（記・森田）

【観察した生き物】
◎海浜植物
ハマヒルガオ(開花)、ハマゴウ、ハマダイコン(開花)、ハマボウフ(開花)、ツルナ、スナビキソウ(開花)、コウボウムギ(開花)、オカヒジキ、ハマアカザ、ダンチク(開花)、
オオフタバムグラ、アツバキミガヨラン、コマツヨイグサ(開花)、ナヨクサフジ(別名:ヘアリーベッチ)
センダン(開花)、シャリンバイ(開花)、トベラ(開花)
◎海浜昆虫など
モンシロチョウ、キチョウ、ナミアゲハ、キアゲハ(幼虫)、ナガサキアゲハ、ヒメスナゴミミムシダマシ、オオヒョウタンゴミムシ、ハマベハサミムシ(抱卵中)、コメツキムシの仲間、オカダンコムムシ、ワラジムシ、アリの仲間、コモリグモの仲間、ナガメ、オオカキキリ(卵鞘)
◎その他　海鳥など
ツバメ、ハマシギ、キョウジョシギ、ボラ(稚魚)

【観察会の様子】


【左】トラップの中を覗いてみよう


【右】何か捕れたかな


【左】スナゴミムシダマシ大量捕獲、皆で触れば怖くない


【右】予定外の小魚捕り

【行事名】　海辺のカニ、ヤドカリ　主催 知多自然観察会/常滑

【日　時】　2022年07月30日(土)　10:00～12:00
【場　所】　集合:蒲池漁港P
【天　気】　晴れ　(大潮 干潮13:05)
【担　当】　森田、中井
【参加者】　一般28名（大人13名、子供15名）
（指導員9名：浅井一、門脇重、榊原正、中井三、南川、降幡、森下保、森田琢、吉川勉）

【内　容】
下見(7月14日、27日)　を2度実施。ツバメ、カラス、カワウ、ウミネコが飛翔、砂浜ではハマゴウが開花を始めていた。ウスバキトンボも飛び交っていた。
本番当日は保険受付の後、指導員を紹介して直ぐに海辺へ移動した。海辺での活動範囲と危険について注意喚起して観察会を始めた。
開始10時頃は潮位がやや高く台風5号余波の波も時々高かった。岩や堤防が見え隠れする中早々にイシガニ、ガザミが採れ始めた。11時頃になると沢山のイソガニ、ヤドカリが見つかるようになり親子、指導員とも忙しくなった。
用意した分類名ラベルの上にバットを並べてヤドカり、カニ、エビ、魚類、貝類、その他生きもの、藻類、貝殻に分けて採れた生きものを入れてもらった。１１時30分に全員を呼子招集した。予め受付時に「蒲池海岸の生きものパンフレット」を手渡してあったので個々の種名説明は少なくした。
本題の生きものについて子供向けに生態や姿の面白さを語るように努めた。本日のトピックスは現地で初めて採れた「キンセンガニ」でした。魚類、貝殻等に場所移動して大人向けへの話題転換をした。子ども達の多くは何時までもヤドカリとカニを相手に夢中になっていた。最後に観察した生きものを海へリリースして定時に観察会を終えた。終了後も干潮時間は続き数家族は名残を楽しんでいた。
（記・森田）

【観察した生き物】　(下見日に観察した生きものを含む)
◎海藻
オゴノリ、タンバノリ、アナアオサ、ミル　アマモ（乾燥）　マクサ？
◎節足動物
ユビナガホンヤドカリ、イシガニ、ガザミ(タイワンガザミ)、イソガニ、ヒライソガニ、マメコブシガニ、キンセンガニ
フジツボ、フナムシ
◎貝類（二枚貝・巻貝）
ムラサキイガイ、イボニシ（卵嚢)、ナギナタホウズキ（アカニシの卵）、スナジャワン（ツメタガイの卵)
◎魚類
セイゴ(スズキ稚魚)、イソギンポ、タケノコメバル、アゴハゼ、ヒメハゼ、メジナ
◎イソギンチャク、クラゲ類
タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャク、ミズクラゲ
◎その他
エゾカサネカンザシ
◎貝殻・漂着遺骸
ウチムラサキ(オオアサリ)、ナミマガシワ、サルボウ、アカニシ、ツメタガイ、イボニシ、アラムシロガイ、マガキ　イワガキ　ナミマガシワ　ムラサキイガイ　ムラサキガイ　カガミガイ、オキアサリ　ハイガイ　サルボウ　ツメタガイ<<タイラギ　イシダタミ　シマメノウフネガイ　アサリ

会の様子】


【左】ヤドカリが居る居る


【右】珍しい生きものが採れた

【行事名】　最高峰86.95mの自然を楽しむ　主催　知多自然観察会 常滑

【日　時】　2022年8月14日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:高砂山公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田琢、降幡
【参加者】　一般6名（大人3名、子供3名）
（指導員6名：浅井一、榊原正、牧野、降幡、古川、森田琢）

【内　容】
市最高峰高砂山(標高87.0m)の林間とため池(亀塚池)巡る自然観察会です。暑い最中でしたが子ども3人と大人9人が集い捕虫網を持ちながら童心に帰りました。ここ数日の慈雨もあってか林床にはキノコが目立ちます。お盆の最中でもあり、採った虫たちは直ぐに森に返してやりました。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎植物（開花、結実）
タカサゴユリ(開花)、クサギ(開花)、サルトリイバラ(結実)、ヨウシュヤマゴボウ(結実)、ハゼノキ(結実)、水性植物コオニビシ(結実)、マルバヤナギ、イチョウ(結実)

◎動物(昆虫類・蜘蛛類)
アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、オオホシカメムシ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、ウスバキトンボ、オニヤンマ、キタキチョウ、モンキアゲハ、ナミアゲハ、クロコノマチョウ、オオカマキリ、イボバッタ、キリギリスの仲間、コオロギの仲間、キマワリ、コガシラアオゴミムシ、タマムシ(遺骸)
オニグモ、ジョロウグモ

◎菌類
キクバナイグチ、コフキサルノコシカケ、ヤマドリタケモドキ、オオクロニガイグチ、アマタケ、シロタマゴテングタケ猛威、ホウロクタケ、ダイダイイグチ、ザイモクタケ

◎その他
ウグイス、メジロ

【観察会の様子】




【左】アブラゼミを捕獲したオオカマキリとの戦い観察　　【右】大谷高砂山三等三角点(87m)とピラミッドの高さ(約135m)のお話など



【左】オニヤンマの飛行経路で待機　　【右】オニヤンマを捕獲、自慢のK君

【行事名】　雑木林のキノコ　主催 大曾公園(岩間造園)

【日　時】　2022年10月02日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大曾公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　降幡、中井
【参加者】　一般17名（大人10名、子供7名）
（指導員7名：浅井一、榊原正、鈴木、中井三、降幡、古川、南川、森田琢)

【内　容】
１週間前の下見では数種類のキノコしか見つからなかったが、ここ数日の慈雨で多数の発芽が期待された。「広報とこなめ」掲載の案内等を見て8家族17名の参加を頂いた。参加家族には大曾公園でのキノコ観察記録をまとめたキノコ図鑑シートをプレゼントした。
併せて知多自然観察会発足40周年記念案内を手渡して招待した。観察会は東屋で定時に開始、雑木林の危険な生きもの(スズメバチ、マムシなど)、キノコの形態・生態のお話をして林に入った。林床ではカバイロタケ等地味なキノコが所々で観察されしめて20余種を採取した。
また、ホタルガ、コクワガタ、コガタスズメバチ、アキアカネ?などの小昆虫も興味を促した。トピックスはササが生える林床でマムシを見つけた子どもがいて大きな声で「蛇がいる!」と叫び、その後皆が集まって逃げ足を追う様でした。ヒヨドリソウやヒガンバナも秋の景色を楽しませてくれました。
11時に東屋に戻り採取できたキノコや拾い集めた成果物を紙皿に並べて種名や特徴、香りなどを解説した。特にマンネンタケ(レイシ)については小片を切り出して味覚を確かめてもらった。観察会では常連の子どもたちも参加し、その博識ぶりを披露してくれるのも楽しみの一つである。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎菌類
マンネンタケ(レイシ)、コフキサルノコシカケ、カレハキツネタケ、クロハツ、アラゲカワラタケ、コンイロイッポンシメジ、ダイダイイグチ、ブドウニガイグチ 、カバイロタケ、チチアワタケ、ヘビノキノコモドキ、カレバキツネタケ、アシグロタケ、ウスキモリノカサ、ノウタケ、ドクツルタケ、ウスヒラタケ、他未同定(数種)
◎植物（開花・結実)
ヒヨドリバナ、ヒガンバナ、クリ、コナラ、スダジイ
◎動物
ホタルガ、ナミアゲハ、モンキアゲハ、アオスジアゲハ、キタキチョウ、ハラビロカマキリ、コガタスズメバチ、コクワガタ、アキアカネ?、イセノナミマイマイ、オオケマイマイ、ヤモリ(持参)、マムシ
◎その他
ヒヨドリ、ウグイス(地鳴き)、メジロ(鳴き声)、メジロの巣

【観察会の様子】


【左】開会、キノコのお話


【右】キノコ発見、第1号はウスキモリノカサ


【左】マンネンタケ(レイシ)


【右】マンネンタケ試食

半田ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	2	5	土	受託		半田	中止「冬越しをする虫たちの生活」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)牧野
2	22	4	17	日	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)安達
3	22	6	12	日	受託		半田	「亀崎海岸の生きもの」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
4	22	7	30	土	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第4P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
5	22	9	17	土	受託		半田	「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)森下保
6	22	10	1	土	受託		半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101)牧野
7	22	12	10	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生きもの」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正



【行事名】　「冬越しをする虫たちの生活」　●半田市環境課主催

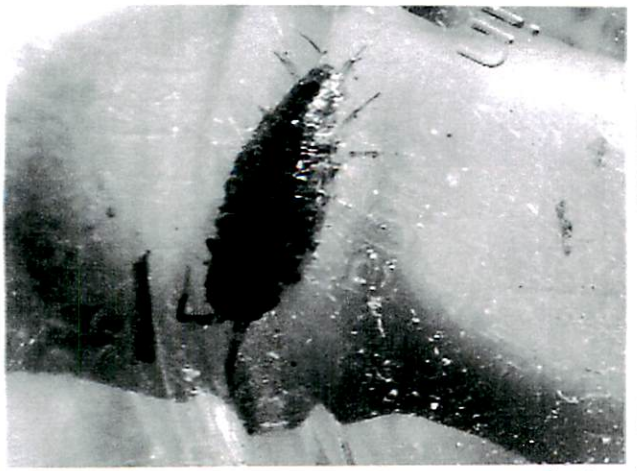
【日　時】　2022年2月5日（土）　9:30～10:20
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　曇り
【担　当】　榊原正、牧野
【参加者】　０名
（指導員11名：浅井一、榊原正、榊原靖、鈴木、田中央、藤井辰、古川、牧野、森下栄、森下保、森田琢）
【内　容】
愛知県の「まん延防止等重点措置」の実施に伴い主催者（半田市環境課）は中止を決定。
当日は一般参加 0名。指導員出席 11名。（なぜ指導員が多く出席したか…後段に説明）
想定内なので予定通り、来年度、朽木の観察ができそうな場所が、現在、どのような状況であるのかをチェックすることにした。
チェック場所は２ヶ所。チェック時間は各10～15分。短時間なのは冬眠中の昆虫の安眠妨害を最小限にするため…？　（記：榊原正）

＜確認できた虫＞
・ヤンマの仲間のヤゴ2匹：水のない湿地のようなところより発見。雨が降れば水たまり（池）になるところ。
・ニホンヒメフナムシ：参加した指導員は初見。
・キマワリ、カミキリムシの仲間の幼虫、コガタスズメバチ(越冬中女王バチ)、ハムシの仲間、イシムカデ、など　（記録：牧野）
※ ニホンヒメフナムシの同定については右記ページを参考にした → ここ

【観察会の様子】


【左】チェック場所での調査の様子


【右】ヤンマの幼虫（カトリヤンマ？）




【左・右】ニホンヒメフナムシ。初めて見る生きもの。指導員の図鑑で判断した

【行事名】　「任坊山の春ー虫や野草の観察」

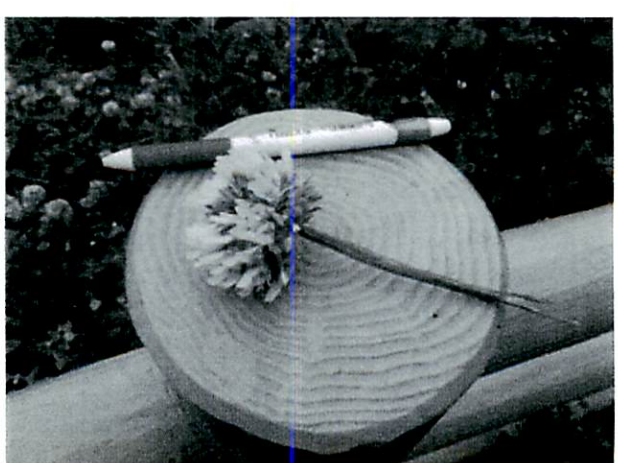
【日　時】　４月１７日（日）　9:30?11:50
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　雨のち曇り
【担　当】　榊原靖、安達
【参加者】　一般：3名（大人2名、子ども1名）
　　（指導員：浅井一、門脇重、榊原靖、古川、山田和、吉川勉）

【内　容】
雨、それも本格的に降っていたので、参加者なしで中止かなぁ、と思いつつ集合場所の公園駐車場に着いてみると、そこそこの数の指導員の姿があり、なによりも雨にもかかわらず一般参加者がありましたので、短縮バージョンになりそうだけど一応開催しましょう、ということになりました。
宮池エリアで異様に大きなシロツメクサの花を見ました。宮池の冬をにぎわすカモ類はすでにほとんどいなくなっていて、わずかにオオバン、コガモが見られました。コガモは渡りをするカモ類の中では最も遅くまで残っているそうです。
任坊山の森の中は天候のせいか虫たちが少ない感じがしました。それでも目を凝らして探すとオオワラジカイガラムシ、ベニヘリテントウ（オオワラジカイガラムシの天敵）らしき虫の幼虫、トビズムカデ、ヨコヅナサシガメ、アオスジアゲハのさなぎなどに出会えました。
気付いたら雨はすっかり上がっていて、短縮バージョンのつもりがほぼ例年どおりの時間が経過していました。　（記：榊原靖）

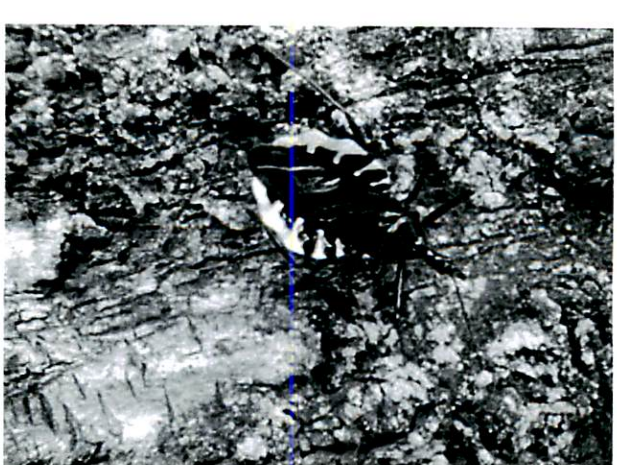
【観察できた生きもの（順不同）】
シロツメクサ、オオバン、コガモ、ハルジオン、ナナホシ（？）テントウのさなぎ、カラスザンショウ、オオワラジカイガラムシ、ベニヘリテントウの幼虫（？）、トビズムカデ、ヨコヅナサシガメ、アオスジアゲハのさなぎ

【観察会の様子】


【左】雨の中、出発です


【右】異様に大きなシロツメクサの花がありました


【左】ホルトノキ　赤い葉が目立ちます


【右】ヨコヅナサシガメ

【行事名】「亀崎海岸の生きもの」　●半田市環境課主催

【日　時】2022(令4)年9月17日（土）　9:30～11:20
【場　所】亀崎海浜緑地の砂浜
【天　気】晴れ
【担　当】山田和、加藤
【参加者】親子で、ほぼ15組
（指導員：安達、加藤、門脇重、榊原正、鈴木、田中央、南川、森下栄、森下保、山田和）
【内　容】
潮時は事前に判っていたが天気は毎回当日次第である。それが絶好の観察日和になってくれて有難うでした。
しかし、それにしても、海は魚類がつかみにくい。私もそれなりに頑張ったがやはり全然ダメだった。周りの子どもたちの様子を見に行ったが、当然、魚に縁がない子がほとんどだったが、中には、しっかり、つかまえている子もいて感心した次第です。
つかまえた生きものを説明は、例年、「魚類」と「魚類以外」とに分けて別々の場所でしている。最近は魚類の種類数が少ない。魚類以外は、ほぼ、例年並みが続いている。子どもたちはカニやヤドカリも好きだけど、魚はもっと好きであろうし、何よりもこの海岸にはもっと色々な魚がいることを知らせるためにも、捕獲方法を考えないといけないのかなと思ったことでした。　（記：榊原正）

【観察した生き物】
マハゼ、ボラ、ヨウジウオ、タツノオトシゴ、テッポウエビ、イソスジエビ、モクズガニ、マメコブシガニ、ヒライソガニ、テナガエビ(?)、マガキ、シジミ(殻)、ハマグリ、シロスジフジツボ(?)、ニホンヤドカリ、タテジマイソギンチャク、ミズクラゲ、ゴカイのなかま、など

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話　　【右】いざ出発。皆、駆けるがごとく海へ



【左】採集の様子　【右】つかまえた生きものの説明　[左]は魚類、[右]魚類以外

【行事名】「ナイトハイクと灯火に集まる虫」　●半田市環境課主催

【日　時】2022年7月30日（土）19：00～20：30
【場　所】半田運動公園
【天　気】晴れ
【担　当】榊原正、山田和
【参加者】一般　大人子ども合わせて約３６名
（指導員：安達、加藤、榊原正、榊原靖、畠、森下保、山田和）
【内　容】
本番の前々日、18:30～19;30の予定で例年のコースを４名で下見した。終わったのは20:00過ぎていたが、結果は、期待していた樹木にも昆虫の集まりは非常に少なく残念であった。で、本番当日、少し早めに行って、〝蜂蜜、日本酒、水〟でほんのり甘さがある液を作って、それをコースの樹木に水鉄砲で当てておいた。その結果…は、下見の時と同じだった。
年々、虫の集まる数が少なくなっているようだ。それでも、ナイトハイクでは、一応、セミの羽化や立派なカブトのオスが見られたり、投下採集ではスクリーンに集まった虫で遊ぶことができたりして、子どもたちはそれなりに楽しんでいたので〝良し〟とします。
相当以前のことだが、大型の蛾やカブトムシが飛んできたり、アオドウガネが数えきれないぐらいいたこともあった。来年はそのような年になることを期待したい。　（記：榊原正）

【観察会の様子】



【左】ナイトハイク　【右】アブラゼミの羽化。写真中央の左の手すりにぶら下がっている



【左】この木の幹に立派なオスのカブトムシ　【右】蛾（写真中央の少し上）。種名は不明

【観察会の様子-続き】

【行事名】「神戸川の生きもの」　●半田市環境課主催

【日　時】2022(令4)年9月17日（土）　9:30～11:20
【場　所】青山公園近くの神戸川
【天　気】晴（&夏日）
【担　当】榊原靖、森下保
【参加者】
（指導員：浅井一、安達典、石川よ、石川由、門脇重、榊原靖、鈴木、田中央、牧野、森下栄、森下保、山田和）
【内　容】
例年通り、主催者の挨拶とお話、指導員のお話、続いて、川に降りて、魚などのつかみ方の説明の後、川に入って、家族単位で頑張りました。
今回は、初めて、大きな〝鯉(こい)〟が二匹捕れた。大きすぎて、説明会場まで運ぶのが大変なため、川の中で〝鯉との触れ合いタイム〟をした。子どもたちの多くが、さわりたがって、順番にさわったり抱っこしたりしていた。
思うに、生きて泳いでいるこんな大きな魚を〝さわる〟体験は、大人でも、なかなか、無いことなので、子どもにとっては、すごい体験なのであろうと推測。来年も、是非、体験させてやりたいが、果たして、つかまえられるかどうか…。　（記：榊原正）

【観察した生き物】
※ 省略
【観察会の様子】


【左】指導員からの始めのお話


【右】川での生きもののつかまえ方説明


【左】お魚と触れ合う


【右】説明。手前…魚類、向こう…魚類以外の生きもの

【観察会の様子-追加】

【行事名】「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」　●半田市環境課主催

【日　時】2022(令4)年10月1日（土）　9:30～11:20
【場　所】任坊山公園
【天　気】快晴（＆夏日）
【担　当】石川由、牧野
【参加者】34名（12家族）及び市職員3名
（指導員：浅井一、安達典、石川よ、石川由、門脇重、榊原靖、鈴木、田中央、牧野、森下栄、森下保、山田和）
【内　容】
台風が沖合を北東方向に進んで行った影響もあり、快晴で32℃予想の熱い日でした。
観察会は主催の半田市環境課の挨拶に続いて牧野指導員のコース及び注意事項等の説明の後、観察会に出発。グループ分けはせず、指導員が散らばり説明等をした。
保育園児・小学校低学年児も多く参加し、それぞれ捕虫網、虫籠などを持ち捕獲した昆虫等について指導員に聞いていた。又、途中にてシモフリスズメの幼虫を採取しその大きさに目を輝かせ、変わるがわる手に乗せ重さを確認していた。
連日の高温気味の気候の為か　目的のアサギマダラと会う事は出来なかった。昨年は同じ時期の観察会で２匹ほど目撃しており、今回は残念であった。
なお、今回の観察会開催は、コロナの規制緩和傾向の為か、一般参加者及び指導員も多く集まり開催する事が出来、大変良かった。　（記：石川由）

【観察した生き物】
ダイサギ、アオサギ、ヒヨドリ、コゲラ、クマバチ、スズメバチ、クロアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、アオバハゴロモ、ギンヤンマ、赤トンボ、アキアカネ、シオカラトンボ、ホタルガ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタ、シモフリスズメ（幼虫）など多数

【観察会の様子】


【左】コース及び注意事項説明


【右】シモフリスズメの幼虫


【左】捕虫用タモを持って準備OK


【右】指導員の説明にのぞき込む参加者

【行事名】「康衛池のカモと阿久比川河口の生きもの」

【日　時】2022(令4)年12月10日（土）　9:30～11:20
【場　所】集合場所：瑞穂記念館Ｐ
【天　気】晴れ
【担　当】鈴木汎、榊原正
【参加者】一般　大人3名、子ども２名
（指導員：加藤、榊原正、鈴木、田中央、古川、牧野、森下栄、森下保、山田和、）
【内　容】
池の法面の草木や浅瀬のヨシなどがきれいに刈られていて隅々まで大変見通しがよかった。
今回、担当がすごく遅刻したが、その間も池のカモなどを眺めていたので、担当が来た時分には、例年通り、阿久比川河口へ向かった。
この意味でこう言う集合場所（集合場所と観察場所が全く同じ）は、遅刻者がいても、その後の活動には大した影響がないので面白い。
ほかの観察会では、ほとんどの場合、集合場所で始めの挨拶とお話の後、すぐに、別の場所へと移動してしまう。
さて、観察の印象は、康衛池は、ほぼ、例年並み。阿久比川河口部は非常に寂しかった。住宅地の道路はほとんど観察できなかった。　（記：榊原正）

【観察した生き物】
康衛池：セイタカシギ、カイツブリ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、など
阿久比川河口部；アオサギ、ダイサギ、カワウ、カラス、コガモ、カルガモ、カンムリカイツブリ、オオバン、など（いずれも数羽）
【観察会の様子】



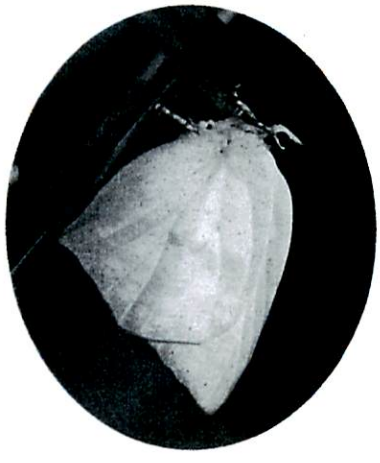
【左・右】康衛池での観察



【左・右】阿久比川での観察

東浦ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	2	19	土	募	協	東浦	中止「冬の生き物に会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
2	22	4	2	土	募	協	東浦	「春の里山で生きものをさがそう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)小田
3	22	4	10	日	受託		東浦	「春の里山の恵みを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
4	22	5	14	土	受託		東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
5	22	6	18	土	受託		東浦	「明徳寺川の生きものに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
6	22	7	15	金	募	協	東浦	「森の中で虫探し＆燈火に集まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(090-3648-4467)水野利
7	22	7	16	土	受託		東浦	中止「初夏の里山で生きものを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
8	22	8	6	土	受託		東浦	「須賀川の生きものに会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP　9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
9	22	10	9	日	募	協	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
10	22	10	16	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(090-3648-4467)岩本
11	22	11	12	土	受託		東浦	「秋の宝物でリース作りや工作しよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館　9:30	竹内秀(0562-83-9023)小田



【行事名】　「冬の生き物たちに会おう」　　コロナの第６波により中止

【日　時】　2022年2月19日(土)　9:30～12:00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　曇り
【担　当】　岩本、山田公
【参加者】　一般：0 名
　　指導員：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、藤井辰、古川、森田

【内　容】
　薄曇り。午後からは雨の予報。雨前で風がなく、どんより暖かいが例年より寒さが厳しい今冬、足下の花たちももう少し春を待とうとしている様子が見られた。
　年末より、コロナウイルスオミクロン株が猛威をふるい、2月には子供たちへの感染も増え続けるようになったので、観察会は中止とした。
　中止を知らない家族が1家族参加のため来ていたが、泣く泣くお帰りいただいた。
　指導員の研修会と化し冬の生き物たちの様子を記録する会とした。雨が少なく木々は乾いていたが、湿り気の多いところに横たわる朽ち木の中に、アマガエルが冬眠していてびっくりした。

【観察した生き物】
◎鳥…コゲラ、メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリ、カワラヒワ、モズ、カワセミ、ハシボソガラス、カルガモ、オオバン、カイツブリ、ハシビロガモ、ダイサギ、カワウ、アオサギ、オオタカ、
◎その他…コクワガタ（幼虫）、カブトムシの幼虫、タマムシの幼虫、ガガンボの幼虫、コスズメバチの女王、チビクワガタ、ヒメナガニジゴミムシダマシ、ミズムシ（甲殻類）、キセルガイ、ヤゴ、ヨシノボリ、朽ち木の中のアマガエル、

【観察会の様子】





【左・中】調査活動中の様子　　【右】切削チップが敷き詰められた散策路上でカブトムシの幼虫の死骸

【行事名】　「春の里山で生きものをさがそう」

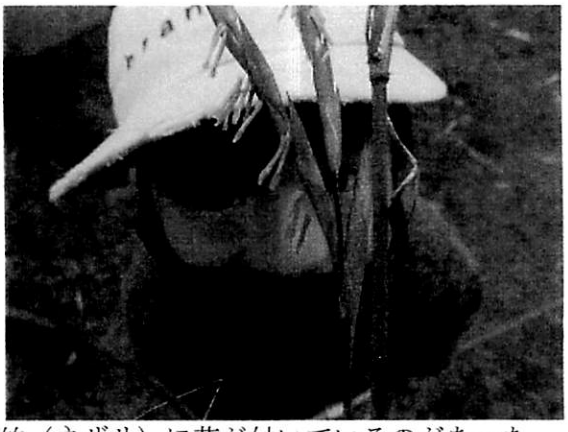
【日　時】　令和4年４月2日（土）９：30～12：00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　曇り
【担　当】　岩本、小田
【参加者】　一般10名
（指導員：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、藤井、降幡、古川、）

【内　容】
花冷えでも桜は満開。花びらたちは花にくっついて散る時を先延ばしにしている。開花宣言は23日頃だったが、その後冷えた日も多く入学式まで何とか桜は持つか？
今年は冬に気温が冷えた日が多く、雪もここ何年かうちで一番たくさん降った。
タンポポもアケビの花もやっとのことで開いたという感じ。コナラの新芽は例年より緑が少なく、春はもうちょっと先よと伝えているようだった。それでもウグイスが気持ちよさそうにさえずって、ハムシが冬眠から目を覚ましたか木の皮の間からぼろぼろと出現。
里山の恵みを探すも例年よりは採集量が少ない。それでも子供たちの目とカンは鋭く、早取り？のタケノコが各家庭に何本かずつ持ち帰ることができた。
地面にはタンポポやキュウリ草の水色、オオイヌノフグリの青、カラスノエンドウの濃いピンク、自然の色を観察することができた。　（記　竹内秀）

【観察した生き物】
◎植物（花）：シロツメグサ、カラスノエンドウ、オオイヌノフグリ、タネツケバナ（実）、ナズナ、キュウリグサ、スミレ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギナ（ツクシ）、セイヨウタンポポ、スイバ、ワラビ、セリ、アケビ、ヤダケ、ヤマザクラ、ヤブタビラコ、イチョウウキゴケ、
◎昆虫：ベニシジミ、キタキチョウ、キタテハ、ルリタテハ、ナナホシテントウ、クロウリハムシ、ツチイナゴ、オオカマキリ（卵）　◎爬虫・両生類：シュレーゲルアオガエル（声）、カナヘビ、
◎鳥類：カルガモ、コガモ、カイツブリ（声）、ウグイス（声）、メジロ（巣）、アオサギ、ツバメ、ホオジロ（声）キジ（声）、コゲラ（声）、シジュウカラ、ハシブトガラス、

【観察会の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】竹（ネザサ）に花が付いているのがあった




【左】クロウリハムシの集団越冬。めくれ掛けた樹皮の内側　【右】ツチイナゴ（成虫越冬）

【観察会の様子-追加】

【行事名】　「春の里山の恵みを探そう」　●東浦町環境課主催

【日　時】　令和4年４月10日（日）９：30～11：30
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、桑原
【参加者】　一般26名
（指導員：岩本、小田、門脇重、竹内秀、田中央、藤井辰、古川、水野恭、降幡）

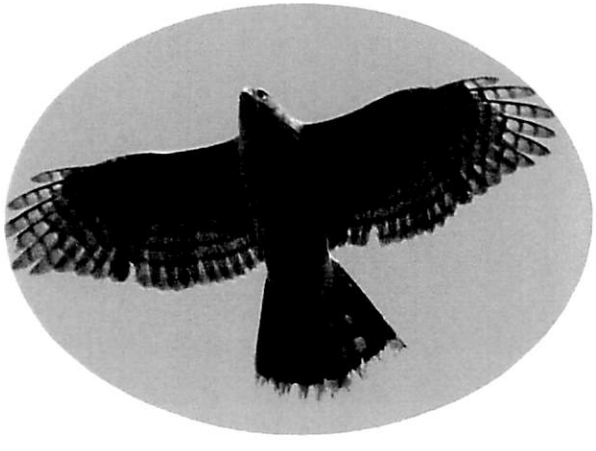
【内　容】
雨が少なく乾燥注意報が出るくらいの乾き具合。冬は寒く3月も寒い日が続き、桜の開花予報は3月23日くらいだったのに小学校の入学式まで桜が何とかもつという気候の今年。急に暑い日が始まり予想最高気温は26度というかなり暑い陽気でした。春も真っ盛りで新緑が美しい状況でした。

自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行い、ワラビの出るやぶへ。ノイバラのとげにきずつけられながらも、皆さん熱中してやぶのトンネル迷路に潜り込んでワラビの目になります。ここでも子供たちの目の変化は早いです。イタドリの酸っぱさに「おいしい」と感じたり、藪を刈った山に座って「ふかふかして気持ちいい」と感じたり、子供たちの感性は自由自在でステキです。

一週間前とくらべ緑の量が増え、タンポポ畑があちこちにできていました。イタドリジャム用に使えそうなイタドリもしっかり伸びていました。昨日もタケノコ取りがあったのに、今日もちゃーんとタケノコはのび、たくさんのお土産もでき春を満喫することができました。

【観察した生き物】
◎植物：シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ツメクサ、ケキツネノボタン、スミレ、ハハコグサ、オニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、スギナ、ヨモギ、セイヨウタンポポ、トウカイタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、ハナニラ、アサツキ、スイバ、イタドリ、ハハコグサ、オオジシバリ、コオニタビラコ、ヤブタビラコ、ハルジオン、ハコベ、ケキツネノボタン、アシ、ハナニラ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、ミツバ、ヘビイチゴ、ミツバアケビ、アケビ、クズ、コナラ、カクレミノ、ヤツデ、ハゼ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、ヤマザクラ、コバノミツバツツジ、キリ、ニガイチゴ、

◎昆虫：ベニシジミ、ヤマトシジミ、キチョウ、モンキチョウ、モンシロチョウ、アゲハアチョウ、ナナホシテントウ、ルリタテハ、アカタテハ、クサキリ、ツチイナゴ、ヒシバッタ、ナナフシ、ゾウムシの仲間、ヒメカメノコテントウ、クマバチ、アシナガバチ、セイヨウミツバチ
◎爬虫・両生類：ミシシッピアカミミガメ、カナヘビ、イタチ、アマガエル、シュレーゲルアオガエル
◎鳥類：ウグイス、ヒヨドリ、ハシブトガラス、モズ、メジロ、コゲラ、シジュウカラ、シロハラ、キジ、コジュケイ、ハクセキレイ、



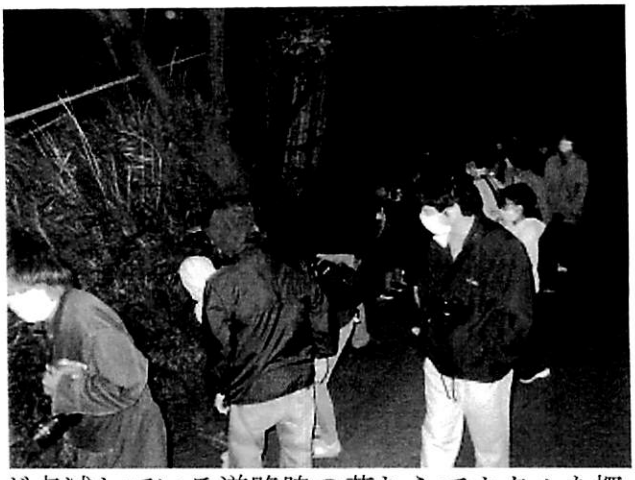
トップページへ

【行事名】　「閃光するヒメボタルに会おう」　　● 東浦町環境課主催

【日　時】　2022年5月14日(土)　21:30～23:00
【場　所】　集合：東浦町うのはな館駐車場
【天　気】　前々日から雨。朝方は雨。昼頃より晴れて日中は26度まで上がったが夜は風があり、22時で16度台。
【担　当】　田中央、岩本
【参加者】　一般　25名（コロナのため募集して締め切った）
（指導員：、桑原、榊原正、竹内公、竹内秀、田中央）

【内　容】
今年は、ミカンの花の咲き出しは早かったものの、木曜午後から雨が降り、土曜の朝も小雨が降る状態。だんだん天気は回復したがさして気温は上がらず風もありヒメボタルはでるだろうかと心配しながら観察会を迎えた。
いつもの鉄塔ポイントまで行かず、手前のミカン畑あたりを目標にして出かけると、その手前の道の脇を１匹、また１匹と、光り始めた。
木々の間にちらほらとホタルたちの年に一回のデート。高いところと、ひくいところで光で呼び合います。鉄塔の所まで行き、帰りも同じコースをたどると時間が遅くなったため風もある中ふわりふわりと飛ぶ雄も出始め、今日はおよそ５０匹ほどは見られた。
（記　竹内秀）

【観察会の様子】

【左】主催者のお話　　【右】ホタルの光が点滅している道路脇の草むらでホタルを探す




【左】お子さんの手の上のホタルを親御さんが撮る　　【右】アスファルト上を移動するヒメホタル

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「明徳寺川の生きものに会おう」　●主催　東浦町環境課

【日　時】　2022年6月18日(土)　9:30～11:30
【場　所】　集合場所：うのはな館P
【天　気】　曇
【担　当】　田中央、水野恭
【参加者】　一般　38名　　大人 21名、子ども 17名
　　指導員：8名　　浅井一、小田、門脇重、桑原、榊原正、田中央、降幡、南川
【内　容】
　集合時間に少し雨が降ってきたが、明徳寺川に到着するころには上がっていた。
　子どもたちは夢中で生き物を捕まえていたが、大人も頑張っていた。
　採取したものを水槽に入れ、種類ごとにどんな生き物なのか、詳しく説明をし、特に外来生物、特定外来生物について、なぜ日本に入ってきたのか、こんなに増えてしまったのかわかりやすく説明をした。　　(小田明美：記)

【観察できた生きもの】
　ヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、フナ、ブルーギル、ブラックバス、セイゴ、カダヤシ、カマツカ、マハゼ、ウナギ、モクズガニ、ドブガイ、ウキゴリ、ボラ、モツゴ、ウシガエルのオタマジャクシ、ハグロトンボのヤゴ、コオイムシ

【観察会の様子】





【左】集合場所で主催者のあいさつ　【右】保護者が先、その後、その子供が下りる





【左】川に入って生きものをタモでつかむ　【右】つかまえた生きものを説明

【観察会の様子-追加】

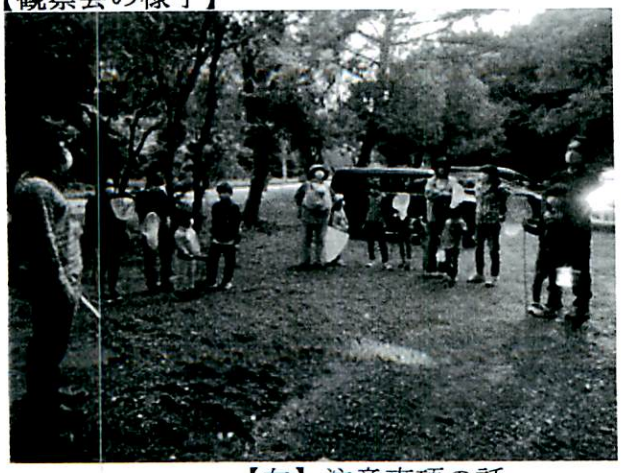
【行事名】　「森の中で虫探し＆燈火に集まる虫」

【日　時】　2022年7月15日(金) 19：00～21：00
【場　所】　東浦町 高根の森
【天　気】　曇り
【担　当】　水野恭、水野利
【参加者】　一般：48名
（指導員：浅井一、岩本、竹内秀、水野利、水野恭）

【内　容】
今年は梅雨が終わるのが早く、記録的に梅雨と言われる時期が短かかった。とはいうものの、戻り梅雨で梅雨が明けた1週間はカンカン照りで水不足が心配されたがその後は例年通りといったところか。火曜日には知多市と東浦町は記録的な大雨が降り、町内のあちこちで道路が塞がれるほどの土砂崩れが起こるに至った。その後の金曜だったので天気も含めてできるかどうか心配したが何とか開催でき、よかった。
大雨の後で木がぬれており、樹液が出ているかどうかが不明。酸っぱい匂いと、カナブンたちの集まり具合を頼りにどんぐりの木を回る。
日中の気温はいまいち。夜はじとっとして湿度は高いものの、いつもほどの気温の高さは感じられないためか、カブトが全く見られない異例の会となった。例年のオールスター　カマドウマ、マカラスヨトウ、コロギス、など毎年見られるものはいなかった。ニイニイゼミの羽化はこれからといったところ。灯火採集の幕に集まる虫たちが案外少なく、アオドウガネやミズムシ、カナブン、コフキコガネが少し見られた。　（記・竹内秀）

【観察した生き物】
◎昆虫
ガガンボ、キマワリ、カナブン（大量）、アオドウガネブイブイ、コフキコガネ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、ヒラタクワガタ、ヤマトゴキブリ(幼)、モリチャバネゴキブリ、ムカデ、ウスバカミキリ、ニイニイゼミ（幼）、クマゼミ、アブラゼミ、ハバチのなかま、ミズムシ、シモフリスズメ

【観察会の様子】


【左】注意事項の話


【右】クワガタ、カブトの話


【左】クワガタ発見！


【右】灯火採集

【行事名】　「須賀川の生きものに会おう」　●東浦町環境課主催

【日　時】　令和4年８月6日（土）　9:30～11：30
【場　所】　集合：藤江コミュニティセンターP
【天　気】　晴れ
【担　当】　田中央、水野恭
【参加者】　一般：32名
（指導員：浅井一、小田、門脇重、桑原、榊原正、竹内秀、田中央、降幡、南川）

【内　容】
夏の暑さ真っ盛りがひといきついたような感じで、雲の広がる晴れで風の吹くちょうどいい陽気の日となった。コロナの陽性者数は依然として高止まりではあったがたくさんの申し込みがあり、例年通り須賀川で生き物観察会ができた。

親子で参加した小さな子どもから大人まで川の中に入る。思ったより水温が低いと感じたようで、「つめたーい」という声が聞かれた。指導員から教わったとおり、足を使い、タモに生き物を追い込み採取していた。何度も参加しているようでタモや追い込み方が慣れて上手な親子もいた。7月中に大きな雨が2回降ったので生き物がいるか心配したが、夢中になって色々な生き物を採取でき1時間ほどの最終時間はあっという間に過ぎた。大きなギンブナが2匹もとれたが、水槽まで持っていくと弱りそうなのでタモの中で観察したりさわったりして逃がした。

採取した生き物は指導員が用意した水槽に入れ、名前や特徴について、解説をした。知多半島で見られるものがおおむね捕らえることができていた。ナマズは須賀川での捕獲は初めてだと思われた。アメリカザリガニが1927年に20匹ほど食用ガエルの餌として持ち込まれたものが100年足らずの間に北海道と西表島以南をのぞくほとんどの場所に広がってしまったことや、ペットとして持ち込まれたミシシッピアカミミガメが、日本在来の生き物を脅かしているといった話もされた。

小学生の年代のみなさんの中には詳しい子がいて、よく似ているタモロコとクチボソの区別の説明をしていて将来が楽しみと感じる場面もあった。　（記：竹内秀）

【観察できた生き物】
＜魚類＞ギンブナ（30センチ弱）・ウキゴリ・タモロコ・カマツカ・クチボソ・タイリクバラタナゴ（外来種）・ナマズ・ドジョウ・ヌマチチブ
＜甲殻類＞シナヌマエビ（外来種）・チュウゴクスジエビ（外来種）・テナガエビ・モクズガニ・アメリカザリガニ（外来種）
＜は虫類・両生類＞ミシシッピアカミミガメ（外来種）・ヌマガエル
＜こん虫＞ハグロトンボ・シオカラトンボ・アブラゼミ・クマゼミ・ヒメガムシ・アメンボ・
＜その他＞ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）、アレチウリ（特定外来生物）

【活動の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】手慣れた様子でガサガサ

【行事名】　「身近にあるキノコを見つけよう」

【日　時】　2022年10月09日（日）　9:30～11:45
【場　所】　東浦町高根の森
【天　気】　曇り
【担　当】　岩本、降幡
【参加者】　一般：大人　１４名　子供　１２名
（指導員：浅井一　岩本、門脇重　榊原正　田中央　藤井辰　降幡　古川　南川　森田琢）

【内　容】
１０月に入ってもまだまだ暑いと思っていたところ、急に寒くなって１１月並みの寒さの中雨が降って、少し暖かくなった曇りの日ひであった。
駐車場でキノコについての話と注意事項を聞いて林の中へ出発、１１時ごろまでキノコ探しをしました。途中に２か所スズメバチの巣、あるいは樹液にたくさん集まっている箇所があり、気づかずに近づくと危険だと感じた。
大人だけでなく、小さな子供たちでも自分できのこを見つけることができて楽しむことができた。その中には、本当にキノコが好きで、かなり詳しい子が何人かいた。キノコの種類も量もまあまあいろいろあってよかった。
ベニタケ科の赤いキノコがたくさんあった。名前を決められないキノコもたくさんあった。　（記：岩本）

【活動の様子】


【左】始めの挨拶とお話


【右】若いノウタケのさわりごこちを体験




【左・右】採集したキノコを一つ一つ特色などの説明

【活動の様子-追加】

【行事名】　「里山の秋を見つけよう」 主催 知多自然観察会/東浦

【日　時】　2022年10月16日(日)　9:30～11:30
【場　所】　集合:東浦自然環境学習の森P
【天　気】　晴れ
【担　当】　水野恭、岩本
【参加者】　一般21名（大人9名、子供12名）
　　指導員：岩本、浅井一、門脇、榊原正、竹内秀、田中央、南川、藤井辰、水野恭（12名）
【内　容】
　今日も日中は汗ばむほどの陽気、朝夕は少し気温が下がってきたとはいうものの、服装に迷う毎日。やっと明日から気温が下がるという予報。風もなく秋晴れの青い空に山稲穂やセイタカアワダチソウの黄色がよく似合う日となった。ヤギの除草作業員がのんびり草を食むのを見、周りの草をちぎって柵から中に差し込むと食べに来る様子を楽しみながら散歩を楽しんだ。
　子供たちはカマキリやコオロギ、チョウ、バッタ類を手で捕まえたり、たもで 捕まえたりして楽しんだ。秋口のクワガタも見つけた。アケビは、大人たちが口にすると子供たちも「あま～い」といいながら実りの秋の味を堪能していた。空中には蜘蛛のマンションができ、冬に備えて卵を準備するための食料調達にはげむ様子がうかがえた。
　田んぼには稲穂がたれて実りを感じさせ、湿地帯にはセイタカアワダチソウの花やオギの群落が見られた。栗はイガばかりで収穫には少し遅かったよう。道に生えるオオバコの花の軸ですもうが始まると、「あと何人勝てるか」と子供たちの歓声が森に響いた。
（記・竹内秀）

【観察できた植物や生き物】
◎樹木つるの実：ゴヨウアケビ（ちょうど食べごろ）、ヤマノイモのむかご、アオツヅラフジ、カラスウリ、コナラ、クリ、コムラサキシキブ、クズ（さや）、ムクノキ（実）
◎草の実：イヌタデ、アメリカセンダングサ、イノコズチ、
◎草の花：ミゾソバ、、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、セイヨウタンポポ、ススキ、
◎昆虫・蜘蛛類：オオクワガタ、ツチイナゴ、トノサマバッタ、エンマコオロギ、オンブバッタ、ササキキリ、オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、オオスズメバチ、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、コミスジ、クロコノマ、ジョロウグモ、
◎昆虫（幼虫）シンジュキノカワガ、オナガミズアオ、シモフリスズメ、ハグロハバチ
◎鳥類：ハクセキレイ、ヒヨドリ、カルガモ、アオサギ、カワセミ、カイツブリ、モズ、
◎その他：ヌマガエル、アマガエル、カナヘビ、ニホントカゲ、アメリカザリガニ、ヨシノボリ、カダヤシ、アカミミガメ、

【活動の様子】


【左】担当の始めの挨拶とお話


【右】アケビ。興味ある方に試食していただいた

【行事名】　「秋の宝物で工作をしよう」　　●東浦町環境課主催

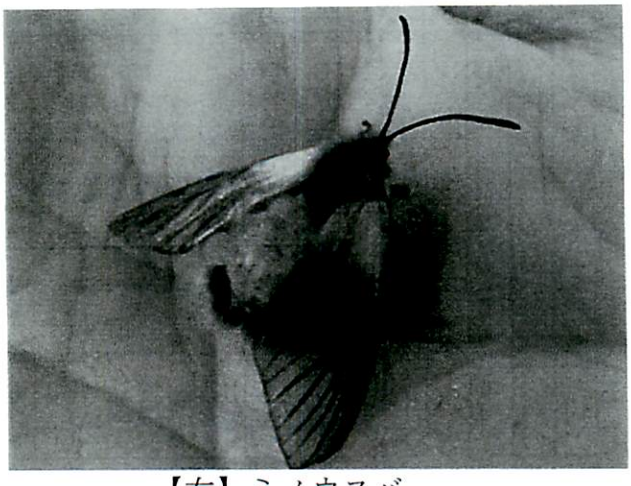
【日　時】　2022年11月12日（土）９時30分～11時30分
【場　所】　於大公園　このはな館周辺
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、山田公
【参加者】　一般：4グループ（9名）
　　指導員：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、鈴木、竹内秀、田中央、南川、藤井辰、降幡（１０名）
【内　容】
　気持ちのよい青空の下、於大公園の中を１時間ほど散策して秋の宝物を探しました。木々の葉が黄色く色づき始め秋を感じることができました。大きなホオの葉や茶の木の実を拾ったり、トチノキの実をさがしたり、ネムノキの下でまめ状の実が落ちてこないかなとみあげたり木の実探しをしました。カツラの落ち葉はカラメルのような良い香りがしました。
　今年も真っ黒いムクロジの実が拾えましたが、ハクウンボクの実は一つも見つかりませんでした。コナラやクヌギのドングリを拾いました。いろいろと観察しながら、工作用の材料の宝物を集めることができました。
　このはな館の会議室で、拾った落ち葉や木の実、指導員が持ってきた木の実や枝・ツルなどの材料とグルーガンを使ってそれぞれオリジナルの作品作りをしました。　（記・竹内秀）

【観察できた植物や生き物】
（植物）コナラのどんぐり、クヌギのどんぐり、ムクロジの実、モミジの種、ツバキの実、ホオノキの実、カツラの葉、ホオノキの大きな葉、アオギリの実

【活動の様子】



【左】椿の実が落ちてるよ



【右】ミノウスバ



【左】大きなサルノコシカケ



【右】ホオノキの果実)

美浜・南知多ブロック観察会　2022(令4)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	22	1	15	土	受託		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多みさき支店P 9:30	中村(0569-62-2586)田中達
2	22	2	27	日	受募	協	美南	中止「冬鳥とカワウの子育て」●美浜町環境課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	神野(080-5169-3964)榊原靖
3	22	5	15	日	受募		美南	「山海川の生きもの観察」●南知多町環境課　干潮11:19	山海ふれあい会館(旧山海小)P　9:30	田中達(090-1626-3231)中村
4	22	5	21	土	受募	協	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P　21:30	永田寛(0569-82-3151)岩橋
5	22	6	12	日	受募		美南	「ウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
6	22	6	12	日	募	協	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P　14:00	大矢晃(052-841-6048)大矢美
7	22	7	16	土	受募	協	美南	「干潟の生きものと漂着物」●美浜町環境課	JA美浜西支店P　13:00	永田孝(0569-82-3151)中村
8	22	7	30	土	募	協	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P　18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
9	22	8	11	木	受募	協	美南	「海辺の生きもの」●美浜町環境課	美浜町冨具崎港P　9:30	永田孝(0569-82-3151)永田寛
10	22	9	3	土	受募	協	美南	中止「布土川の生きもの観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P　9:30	斉藤(090-4213-2898)田中達



【行事名】山海川生き物観察　　●南知多町環境課主催

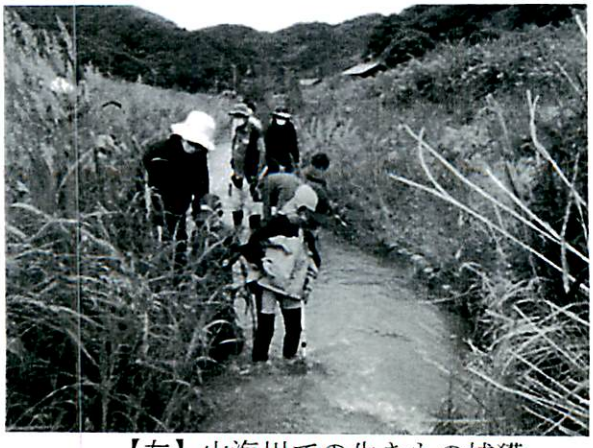
【日　時】2022年5月15日(日)　9:30～11:45
【場　所】山海ふれあい会館Ｐ⇒周辺用水路⇒山海川（清水橋周辺）
【天　気】晴れ
【担　当】田中（達）、中村（英）
【参加者】一般33名（大人15名　子ども18名）、町職員2名
　　指導員　８名：浅井一、門脇（重）、榊原（正）、田中（達）、田中（央）、中村、降幡、南川、
【内　容】
　２日前の大雨の影響で水量が多めで、中止も考えられましたが、無事開催することができました。
　集合場所の山海ふれあい会館から徒歩で田んぼ周辺の自然の観察、また、周辺の用水路で生き物を捕獲しながら山海川まで進みました。用水路ではメダカやカダヤシを取ることができました。ダルマガエルやアメリカザリガニも観察することができました。山海川では、水量が多めでしたので、注意しながらの観察となりました。
　前日まではかなりの水量があり、生き物が取れるかどうか心配しましたが、たくさんの生き物を捕獲して観察することができました。ボラやチチブ、ゴクラクハゼ、モクズガニ、テナガエビにウナギも取れ、たくさんの生き物をみんなで見ることができました。子どもたちにとっては、川に入って、実際に生き物を捕まえたことは貴重な経験になったことでしょう。
　わかちあいでは指導員の説明に皆一様にキラキラした眼差しで説明を聞いていました。（記：中村）

【観察した生き物】
◎水辺の植物　オモダカ、シロツメクサ、アカツメクサ、ガマ、ウキクサ、アシ
◎魚　メダカ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウナギ、ボラ、ゴクラクハゼ、カダヤシ（特定外来生物）
◎昆虫　ハグロトンボヤゴ、アメンボ、ガムシ、
◎その他　ダルマガエル、アマガエル、テナガエビ、マルタニシ、マシジミ、ヤマトシジミ、モクズガニ、アメリカザリガニ（要注意外来生物）、カワニナ、ミシシッピアカミミガメ、イシヒル、コモリグモ

【観察会の様子】


【左】主催者のあいさつ（集合場所）


【右】用水路での生きもの捕獲


【左】山海川での生きもの捕獲

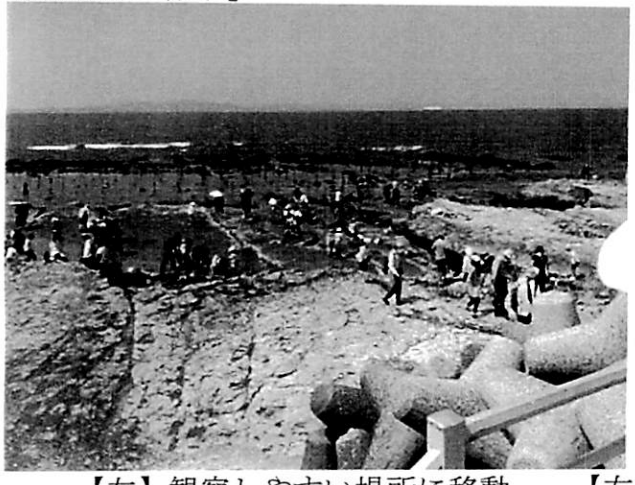

【右】捕獲した生きものの説明

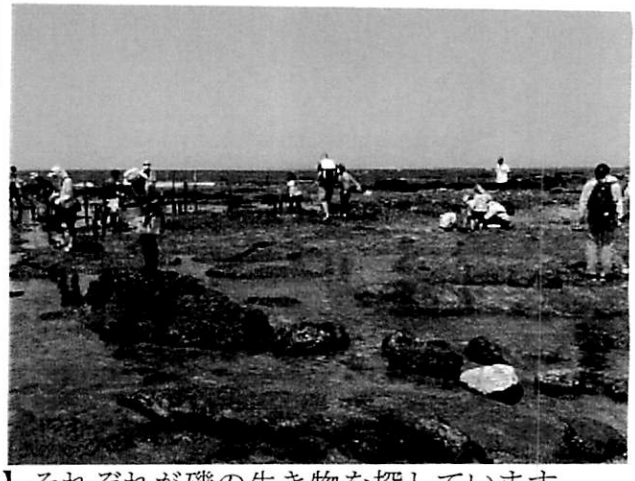
【行事名】ウミウシを見つけよう　　●南知多町環境課主催

【日　時】2022年6月12日(日)　9:30～12:00
【場　所】県水産試験場Ｐ⇒峠海岸
【天　気】晴れ
【担　当】田中（達）、中村
【参加者】一般125名（大人60名 子ども65名）　町職員2名
　　指導員：浅井（一）、大矢（晃）、竹内（公）、田中（達）、永田（孝）、降幡、森田（琢）
【内　容】
　新型コロナウイルス感染症のまん延による巣ごもり状態の反動から、屋外でのイベントは多くの参加者があるだろうと準備していましたが、予想以上の125名の皆さんに集まっていただきました。愛知県の水産試験場駐車場から峠海岸までの道のりは徒歩で漁港内の生き物を観察しながら進みました。
　参加者には3つの約束事、「①生き物は素手で直接触らないこと、②滑ると危険なので物を持つのは片手でおこない、磯では絶対に走らないこと、③生き物を見つけても深いところには入らないこと。」だけを注意して、各自、目的の生き物がいそうな場所で観察会を始めてもらいました。
　多くの皆さんの参加により今までこの場所で見つけることのなかった「アカヒトデ」や「メリベウミウシ」なども発見できました。なお、この観察会は南知多町の生物多様性を学ぶ機会として開催しており、豊浜漁業協同組合さんの特別な許可を得て実施しています。　　（記：田中達）

【観察できた生きもの】
＜ウミウシの仲間＞アオウミウシ、クロシタナシウミウシ、アメフラシ、ミノウミウシ、マダラウミウシ、メリベウミウシ
＜魚の仲間＞ナベカ、アナハゼ、ダイナンギンポ
＜ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間＞ムラサキウニ、イトマキヒトデ、バフンウニ、アカヒトデ、クモヒトデの仲間
＜エビ、カニの仲間＞ヒライソガニ、クロフジツボ、イワフジツボ、カメノテ、イシガニ、イソガニ、オウギガニ、
＜貝やイカ、タコの仲間＞ベッコウガサ、スガイ、コシダカガンガラ、ヒザラガイ、ヒメケハダ、ウノアシ、マガキ、ヒメケハダヒザラガイ、カモメガイ、イボニシ、マツバガイ、オオヘビガイ、キクノハナガイ、ナミマガシワ、ヨメガサ、スカシガイの仲間
＜クラゲやイソギンチャクの仲間＞ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク
＜カイメンの仲間＞ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン、ムラサキカイメン
＜海草類＞ヒジキ、ワカメ、アナアオサ、ヒライボ、イシゲ、タンバノリ、アラメ、ウミウチワ、キョウノヒモ
＜その他＞フナムシ

【観察会の様子】





【左】観察しやすい場所に移動　　【右】それぞれが磯の生き物を探しています

【行事名】クサフグの集団産卵を見よう

【日　時】2022年6月12日（日曜日）14:00～15：10
【場　所】大井漁港内
【天　気】晴れ
【担　当】大矢晃、美紀
【参加者】一般59名
　　指導員：大矢晃、大矢美、榊原正、竹内公、田中達、中村、森田　（記：大矢美）
【内　容】




【左】クサフグ産卵観察前に大矢晃より、参加者に向けて、クサフグと産卵についてのレクチャー。
【右】14：00時点で、クサフグは産卵のために、多数集まっていました。その後、産卵観察場所に向かいましたが、参加者がいつになく多かったことと、




【左】周りで騒いでしまったためか、15：00になっても産卵が始まらず、結局そのまま解散。
【右】その後、残った十数人が静かにのぞいていると、汐が満ちてきた状態の礫浜が白く濁りだし、海水の中でクサフグの産卵が始まってしまったことに気づきました。



【上】大矢晃撮影の前回の産卵（2022年5月29日午後2：30頃）の産卵風景を付け加えておきます。

【行事名】　「干潟の生き物と漂着物」　　● 美浜町環境課主催

【日　時】　令和４年７月１６日（土）　１３時００分から１４時３０分頃まで
【場　所】　集合：美浜町ＪＡあいち知多美浜西支店Ｐ
【天　気】　降ったり止んだり
【担　当】　永田孝、中村
【参加者】　一般：　１６名
　　（指導員：浅井一、浅井聡、岩橋、門脇重、永田孝、中村）

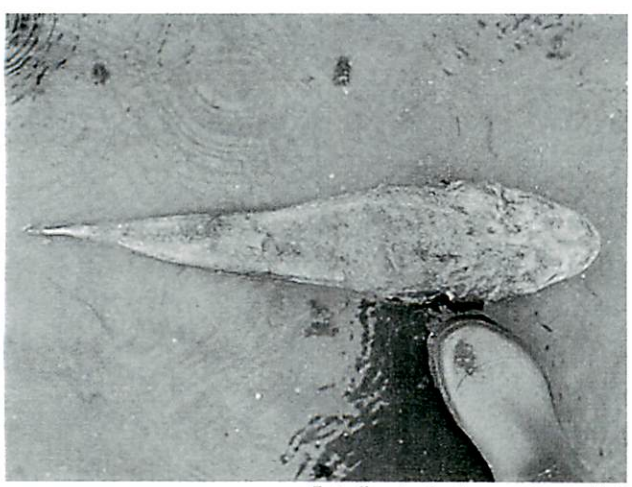
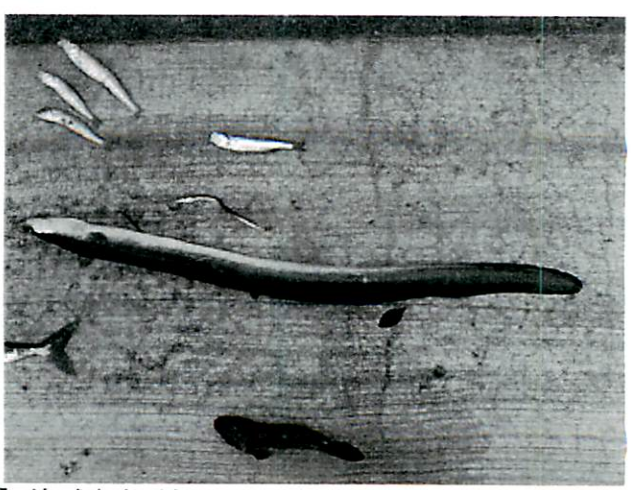
【内　容】
今年の奥田海岸では、多くの底生の魚介類が死んで打ち上げられたりしていました。大雨が降った後によく見られる現象のようですが、比較的に新鮮な物が多かったので、最後に見てもらいました。沖の伊勢湾はドブ臭い匂いがしていました。雨にもかかわらず集まってくれた参加者は、魚やカニを捕まえて、楽しそうでした。午後２時過ぎには、みんなで採取した生き物を分かち合い、観察会を終えました。

【観察した生き物】　クジメ、マハゼ、アゴハゼ、ギンポ、ウナギ、ダツ、ギマ、クロダイ、カタクチイワシ、マアナゴ、マゴチ、アカエイ、ウシノシタ、ボラ、マハゼ、スズキ、シロギス、クサフグ、マメコブシガニ、スナガニ、ヒライソガニ、ガザミ、ヨコバサミのなかま、ヘラムシ、ハマグリ、マテガイ、アナアオサ、シオフキ、モコエビ、コアマモ、ゴカイの卵、

【観察会の様子】




【上】雨の中、合羽を着て採集に夢中な人も

【左】大きなコチ　【右】絶滅危惧種のウナギも

【観察会の様子-追加】

【行事名】「ウミホタルの発光を見よう」

【日　時】2022年7月30日（土曜日）18：30～20：00
【場　所】南知多町聖崎
【天　気】晴れ
【担　当】大矢晃、大矢美
【参加者】一般59名
　　指導員：鵜飼、大矢晃、大矢美、中村、森下栄、森下保　（記：大矢美）
【内　容】
　18：30集合。クサフグ産卵観察前に大矢晃より、参加者に向けて、クサフグと産卵についてのレクチャー（写真1）
　その後、ウミホタルの観察地点に移動。捕獲用罠を仕掛けました。
　罠をしけている間に、諸崎中学校前の岩場に移動し、アカテガニ放仔を観察しました。（写真２）
　アカテガニは多数観察できました。放仔したメスをオスが待ち構え、すぐに交尾。お母さんアカテガニは、休む間もありません。（写真３）
　その後、ウミホタル捕獲用罠を引き上げましたが、残念ながらウミホタルは１個体も観察できませんでした。観察会終了後に、もう一度挑戦しました。その時は数は少なかったですが、ウミホタルは捕獲でき、発光も確認できました。
　追記ですが、道路わきにアシナガバチが巣を作っており、足を刺された女の子がいました。







※左から　（写真1）　（写真２）　（写真３）

トップページへ

【行事名】　海辺の生き物　　● 美浜町環境保全課

【日　時】　2022年08月11日（土）　09：30～11.30
【場　所】　美浜町冨具崎港南側の磯場
【天　気】　晴れ
【担　当】　永田孝・永田寛
【参加者】　一般：77名　　美浜町環境課職員：　2名
　　指導員：永田孝、永田寛、浅井一、門脇重、森田、降幡

【内　容】
日射しは強いものの、海風が心地よい観察会日和でした。冨具崎港駐車場に集合し、美浜町職員挨拶後、観察会の注意と説明。
磯に移動後、11：00に集合を伝えた後、各家族ごとに生き物観察と採集を行いました。
お盆休みということもあり、とにかく多くの参加者に圧倒されながらも、安全確認と生き物の解説に努めました。
採集中は、あまり質問されることが無かったですが、集合して解説の際には、子どもたちから「これ何？」の質問攻めになりました。
この豊かな自然が残っていくように、みなさんも気にかけてくださいと伝えて、無事観察会を終える事ができました。
「楽しかったです。ありがとうございました。」という参加者の言葉を、次の観察会の励みにしていきたいと思いました。

【観察した生き物】
◎魚の仲間
ナベカ、アゴハゼ、シマスズメダイ、キヌカジカ、アミメハギ、アカエイ
◎ウニ・ヒトデ・ナマコの仲間
ムラサキウニ、サンショウウニ、ハスノハカシパン（殻）、マナマコ、クモヒトデ、イトマキヒトデ
◎エビ・カニの仲間
ヒライソガニ、イシガニ、ショウジンガニ、モクズガニ、ケアシホンヤドカリ、コブヨコバサミ、カメノテ、クロフジツボ、イワフジツボ、イソコツブムシ、ワレカラ、ヘラムシ、イソスジエビ
◎貝やイカ・タコの仲間
マガキ、ケガキ、ナミマガシワ、イボニシ、イボニシ（卵）、タマキビ、マツバガイ、ヨメガカサガイ、キクノハナガイ、ウノアシ、カラマツガイ、ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ツメタガイ、ウチムラサキ、クチベニガイ、サザエ、クロシタナシウミウシ、クロシタナシウミウシ（卵）、ムカデメリベ
◎クラゲやイソギンチャクの仲間…ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、タテジマイソギンチャク
◎カイメンの仲間…ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン、ナミイソカイメン
◎海藻の仲間…アナアオサ、オゴノリ、イシゲ

【観察会の様子】


【左】潮だまりで生き物を探します


【右】「魚獲ったぞ～」とお父さん

【行事名】「布土川の生きもの観察」●美浜町環境課主催

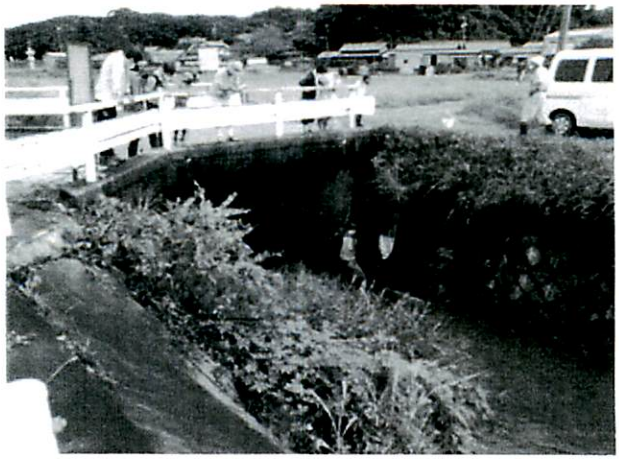
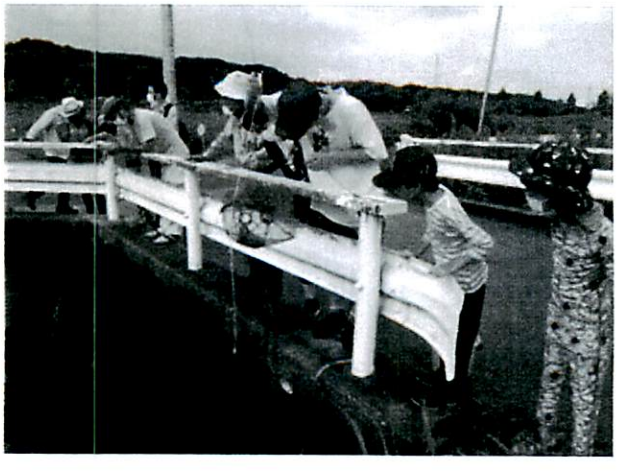
【日　時】2022(令4)年9月3日（土）　9:30～(10:30)
【場　所】集合場所：美浜町布土公民館Ｐ
【天　気】晴れ
【担　当】斉藤、田中達
【参加者】
（指導員：浅井一、斎藤、榊原正、榊原靖、田中央、永田孝、降幡、古川）
【内　容】

増水のため中止…当日、集合時刻に現場を見て判断した

天気が良かったので、当然、〝あるカモ…〟と思って来られた家族が何組もあった。主催者から中止の説明を聞いて、残念ながら帰る家族。せっかく来たので、なんか出来ないのかと付近を探す家族。前日までの雨で、上流にある別曽池からの大量のオーバーフローが原因と思われるが、ほんと、天気が良かっただけに残念でありました。　（記：榊原正）

※好きな者が、適当に、遊びました…↓

下の4枚の写真は…、付近に住む(?)親子が、魚を捕るため網を橋から吊るして仕掛けていたが、その網が川の中の何かに引掛かっていて上げれなくなっていたので、指導員の一人が胴長靴をはいて助けたという場面。川に入った場所が腰以上の深さで、上から眺めていても、ちょっと、心配でした。問題解決しましたが、皆が期待していた網の中には〝生きもの〟は いませんでした。これも残念でした。


これまでの観察会へ　　トップページへ

【行事名】「横須賀新川で生き物を調べよう」　　●東海市エコスクール
【日　時】 2022年5月22日(日) 9:30～11:30
【場　所】 横須賀新川
【天　気】 晴
【担　当】 南川
【参加者】 33名 (大人16名・子供19名)　　東海市職員　中平・長坂2名
指導員:浅井一・田中央・水野恭・南川・以上4名
【内　容】
昨日来の雨も明け方には上がり、快晴となり絶好の川の観察会日和となった。この川の観察会は過去に増水、コロナの影響で4年ぶりの観察会である。この横須賀新川は東海市では水質が一番の良い川であるとのことです。
始めに市の方より、エコスクール現状等の開催挨拶があり、観察会の指導員からは川の生き物たちがどんなところに潜んでいるか？捕え方、観察の方法、安全行動と注意事項の説明後、現場の横須賀新川に向かう。
川の堤から梯子使いまず安全に川に入る。親御さんと子供たちがタモやバケツを思い思い手にして、川の中をガサガサと川の生き物を求め活動し、サカナや生き物がタモには入ると感激や感性の声をあげて嬉しそうに楽しんでいました。
今年もウナギの稚魚(シラスウナギ)、スズキとボラ幼魚が多く見られた。またこの川の特色であるカワアナゴと、アユカケ、見られて、予想通りサカナ等、川の生き物が多く見られて、参加者の皆様は観察会を楽しまれ、自然の一端を学ばれたひと時であった。
(記:南川)

【観察した生き物】
(魚類)ウナギ(4年生)シラスウナギ、アユカケ、カワアナゴ、マハゼ、ヨシノボリ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、スズキの稚魚、ボラの稚魚、
(甲殻網)モクズガニ、クロベンケイガニ、アメリカザリガニ、スジエビ
(貝類) カワニナ、マシジミ、タイワンシジミ、イシマキガイ、
(水生昆虫)シオカラトンボのヤゴ、コオイムシ、アメンボ
(両生類) ミシシッピアカミミガメ、

【観察会の様子】



【左】観察会についての注意事項と挨拶　【右】サカナ等、生き物を求めてガサガサと


【上】捕らえた魚たちを水槽に生かして観察しています


【上】マハゼ・セイゴの幼魚、ボラの幼魚アユカケたちが捕れました

【行事名】　2022年度　東海市・ふるさと再生プロジェクト　「ふるさとの自然」に親しもう　②/全4回
主催　東海市花と緑の推進課

【日　時】　2022年6月11日(土)　15:30～19:30
【場　所】　集合:加木屋緑地成長の森ゾーン芝生広場
【天　気】　曇り後小雨
【担　当】　浅井一、吉川洋
【参加者】　一般約50名（大人15名、子供35名）
スタッフ：ビオトープネットワーク中部(会長:長谷川明子講師)、ふるさと再生アンバサダー(川崎郁美さん)、東海市(花と緑の推進課)、知多メディアスネットワーク、
名古屋ECO動物海洋専門学校、 命をつなぐProject学生実行委員会
知多自然観察会（4名：浅井一、藤井、森田琢、吉川洋）

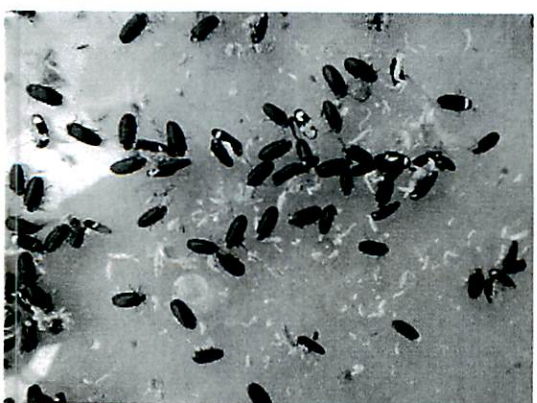
【内　容】
長谷川明子講師が企画されたイベント構成の下で全体進行。芝生広場で応募参加者を17時から受付け、3グループに色分け班編成。17時30分からアンバサダー川崎郁美さんのアナウンスで開会。主催者挨拶、スタッフ紹介の後、学生たちによる「生きものに関するゲーム」を実施(約30分)。17時40分、3班を生きものクイズ(大学生)、ホタル観察(知多自然観察会)、植栽(長谷川講師、東海市)に分けてそれぞれの会場に移動。各会場では所要30分で各イベントを実施し、順ににグループを入れ替えて誰もがすべてを体験出来るようにしながら進行した。知多自然観察会は東海市が用意したヘイケボタル成虫のリリースと観察を担当した。19時00分にイベントを終了し、振り返りの後解散した。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎植物
コウホネ(開花)、ヒメガマ(開花)、ヒメジョオン(開花)、シロツメクサ(開会)、イグサ(開花)、カキツバタ(開花)
◎動物
ヘイケボタル、カワニナ、ヒメタニシ、アマガエル、アオダイショウ？、カダヤシ、アメリカザリガニ
◎その他
ツチガエル(鳴き声)

【観察会の様子】


【左】ホタルのお話


【右】ホタルの一生について


【左】養殖場から持参したヘイケボタル成虫


【右】ﾍｲｹﾎﾞﾀﾙのリリース、観察

【観察会続き】

「上野新川で生き物を調べよう」　　●東海市エコスクール

【日　時】 2022年7月24日） 9:30～11:30
【場　所】 上野新川
【天　気】 晴れ
【担　当】 南川
【参加者】 30名 （大人14人　子供16人）　　東海市の職員2名　井上・福本
指導員：浅井（一）・門脇（重）・田中（央）・南川　　指導員4名

【内　容】

第7波のコロナ感染下になり防止の為、家族グループに分かれて密を避けての観察会の実施となる。

市の職員の方からコロナと、熱中症の対策、上野新川の現状と自然環境についての挨拶と、観察会から田中氏より川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項等の説明が有り、家族グループに分かれて、川に入り観察開始です。子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になり、タモに入った、川の生物を捕まえて楽しんでいました。

今年も捕らまえられた川の生き物を、家族グループでミニ水族館を広くかこみ、分かち合いを行いました。参加された皆さんは熱心にこの川の生き物を観察されて、有意義なものになりました。

【観察した生き物】

（さかな）：ウナギ（3年生25cm位）、ギンフナ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ドジョウ、カダヤシ、
（その他）：アオサギ、モクズガニ、スジエビ、ナゴヤダルマガエル、クサカメ、ミシシッピアカミミガメ、アメリカザリガニ、ギンヤンマのヤゴ、シオカラトンボのヤゴ、コオイムシ、アメンボ　　（記：南川）

【観察会の様子】

観察会前にアオサギがいました



観察会についての注意事項と挨拶



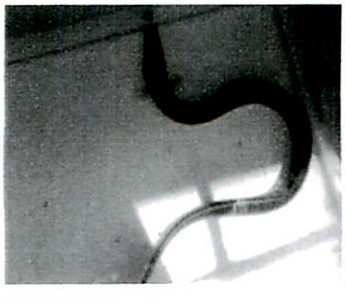
観察会の様子　捕れたか



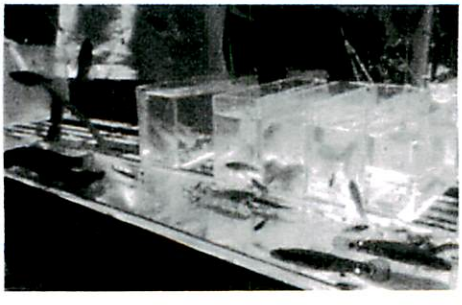
捕れた川の生き物を説明していま



ウナギも捕れました



ミニ水槽で泳ぐ捕れた魚たち



これまでの観察会へ　　トップページへ

【行事名】 真冬の川の生きもの
【日　時】 2022年1月9日（土）10:00～11:40
【場　所】 東浦町　明徳寺川
【天　気】 晴れ
【温　度】 集合地am9:00…5℃、河川堤防上9:40…7℃、活動時の川水温…8℃
【担　当】 田中央、門脇重
【参加者】 浅井一、大矢晃、大矢美、門脇重、榊原正、竹内公、田中央、降幡、古川、民法、森田（11名）
【内　容】
担当の田中氏は準備のため早めに川辺に行き、ほかの参加者は9:30まで駐車場で情報交換などして、川辺に向かいました。
観察場所は昨年 2/27(土) に実施した同じ場所なので、昨年と同様、堤防上の小さな公園のベンチを本部にして、本部から100mほど下流から川に入り、そこから、各自、タモ網を使いながら上流に移動して本部前で終わりという方法で行いました。
今回も天気には大変恵まれ、まったく寒くも冷たくもなく快適でした。来年は年間計画に位置づけて1/14(土)に実施ということで解散しました。
獲物は以下の通りでした。　　（記：榊原正）

【観察した生き物】（記録：竹内公）

2022. 01. 09

- カマツカ　コイ科　おいしい。20～30cmにもなる。カワギス
  水温 8℃とかでも活動　えさとるのがへた
- オイカワ　ハヤ　　橙
- ヨシノボリ　ハゼの仲間　トウヨシノボリ　橙…だいだい色
  植物のヨシでも登る
- ヌマチチブ　河口におるのがチチブ。ハゼの仲間　かわいい
- ブルーギル
- フナ（ギンブナ）　※ヘラブナ→人工改良種
- タガヤシ（オス）　グッピーの仲間　特定外来種
- ウナギ　通常よりすごく小さい。異常な。去年来たやつだと思われる。
- テナガエビ　色は様々→ヌマエビも。　環境、季節、餌etcによる
- ヌマエビ（ミゾレヌマエビ？）
- スジエビ
- コオイムシ　タガメの仲間　オスが背中で卵を育てる
- モクズガニ　昨年2月はたくさんおった。今年は2匹
- シジミ（マシジミ？、タイワンシジミ？）
- カラスガイ（ドブガイ）　タナゴの産卵場所
  カラスガイの卵はヨシノボリの鰓に付いて移動。
- アカミミガメ（→死んでいた）　特定外来種
- クサガメ
- イシガメ（→死んでいた）

【活動の様子】



【左】9:30までは駐車場でお喋り（情報交換）【右】昨年と同じ場所で採集活動

【行事名】愛知　北設楽の自然を訪ねて
【日　時】2022年10月29日（土）～30日（日）
【場　所】稲武・北設楽
【天　気】曇り
【担　当】牧野
　指導員（9名）：浅井一、桑原、榊原靖、永田孝、藤井辰、降幡、山田和、吉房、牧野
【内　容】
　観察会研修旅行は、コロナ禍で3年ぶりの開催。稲武・北設楽という近場で、人によっては何度も訪れたことのあるなじみの場所ではあったが、様々な自然との出会いがあり、楽しい研修旅行であったと思う。
　また、宿泊は、全国旅行割の対象旅館「夏焼温泉　岡田屋」。いつもと同程度の支払いでグレードアップ。

1日目　大滝渓谷→タカドヤ湿地→面の木園地
大滝渓谷：日中気温は上がるはずだったが、すごく冷える。
・植物：カタヒバ、シャガ、イワタバコ（葉が大きい）、岩上のケヤキ（ケヤキの木が大きな岩の上から生えている）、お茶の木の花、フユイチゴ（つぼみと実）、アリドオシ、アザミ（花）の仲間など
・シダ：コケシノブ、タマシダ、シシラン、イタチシダ、フユノハナワラビ、ヤブソテツ、イワガネソウなど
・キノコ：アラゲキクラタケ、ヒラタケ、ヤブソテツ、ガにとりついた冬虫夏草（ガヤドリナガミノツブタケ？）
・粘菌：ヘビヌカホコリ

タカドヤ湿地：池に映る紅葉がきれいでした
・植物：コハウチワカエデ、オオモミジ、テンナンショウの仲間（実）、ウワミズザクラ、ミズメ（サロメチールの香りを確認）リョウブ、ネジキ、ヤマウルシ、ツルリンドウ（実）、ショウジョウバカマ、バイカツツジ、ミズナラ、モチツツジ、ツタウルシ、トチノキ、ホオノキ（葉と実がたくさん落ちていた）、リンドウ（花）ハナショウブ（なぜか花が咲いていた）
・キノコ：ヌメリイグチ、
・シダ：フユノハナワラビ
・コケ：ミズゴケ、
・粘菌：マメホコリ

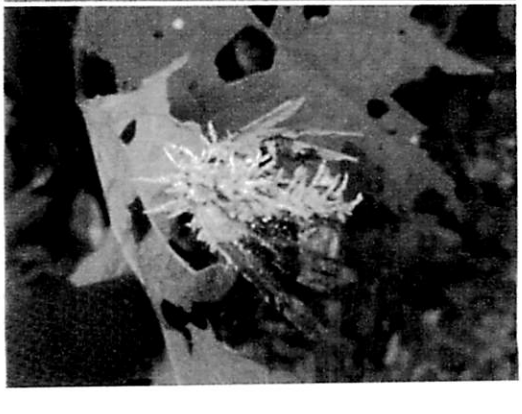
面の木園地：お弁当を食べ出発。川に魚がいた（種類不明）
・植物：ミヤマシキミ（億両　赤い実）、メギ

2日目
段戸裏谷原生林きららの森：ツキヨタケがブナやミズナラの倒木で大豊作
・植物：メグスリノキ（カエデの仲間）、アカシデ（幹の縦に亀裂で確認）、ミズメ、ブナ、アセビ、ホオノキ、トチノキ、ミズナラ、テンナンショウの巨大な実、ツチアケビ（実）
・キノコ：ニガクリタケ、ザイモクタケ、ツキヨタケ、ムキタケ（笠の皮がむける）、ブナシメジ、ナラタケ、シイタケ、チャナメツムタケ、ツリガネタケ、ツガサルノコシカケ、アラゲコベニチャワンタケ
・シダ：シシラン、
・コケ：コウヤノマンネンゴケ
・粘菌：マメホコリ（若くオレンジ色）、クダホコリ
・昆虫：テントウムシの仲間、ハネカクシの仲間、カメムシの仲間
・その他：イノシシのヌタ場く

【観察会の様子】※写真クリック→ビッグサイズ







発 表 の 場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

No	テ ー マ	(ページ)	提 供 者	アップ日
1	「すごすぎる. 奇跡の１枚(写真)」	(96)	榊原正躬	(2022. 1. 1)
2	「ニホンヒメフナムシ」	(97)	榊原正躬	(2022. 2. 5)
3	「アボガドの花」	(98)	中井三従美	(2022. 5.20)
4	「メリケントキンソウ」	(99)	古川明正	(2022. 6. 2)
5	「アユカケ（魚）」	(101)	榊原正躬	(2022. 6.28)
6	「シロマダラ（蛇）」	(102)	榊原正躬	(2022. 7.30)
7	「きれいに撮れたタマムシ」	(103)	平松裕規	(2022. 8. 8)
8	「ツバメ(燕) の日常-一部-」	(104)	榊原正躬	(2022. 8.14)
9	「へんてこりんな生きもの」	(106)	中井三従美	(2022. 8.19)
10	「さくら猫」	(107)	牧野靖子	(2022.11.10)
11	「透かし彫り 入れ子彫刻」	(108)	桑原 誠	(2022.11.22)
12	「西表島に漂着した〝軽石〟」	(109)	田中 央	(2022.12.10)
13	「パッションフルーツを冬に収穫」	(111)	中井三従美	(2022.12.29)
14	「これは何の実でしょう？」	(112)	永田 孝	(2023.1.5)



以下は、https://trilltrill.jp/articles/2304887 からのコピー （2022.1.1 現在）
※[#お前よくぞそんなもん撮ってたな選手権]は → ここ （2022.1.1 現在ここにありました）
※なお、投稿者（nekoneko氏）のツイッターは →ここ
＜追伸＞後段に個人的な感想を記載　2022.1.1 アップ（榊原正躬）

「すごすぎる」「奇跡の１枚」 一見、普通のサルの写真だけど…？

携帯電話の進化によって、誰もが気軽に写真を撮ることができるようになった現代。
ふとした瞬間にデータを確認してみると、撮った写真の枚数やデータ量に自分でも驚いてしまいますよね。

Twitterでは、見事にシャッターチャンスをとらえた写真が『#お前よくぞそんなもん撮ってたな選手権』というハッシュタグで投稿されています。

サルが腰かけているのは…？

同ハッシュタグに数々のベストショットが寄せられる中、注目を浴びたのはnekoneko（@yamanek08656605）さんが投稿した写真。
写真には、投稿者さんが暮らすアメリカのカリフォルニア州に生息する、1匹のサルが写っています。
かわいらしい点を除き、特に変わったところはないように見えますが、ある情報に多くの人が笑ってしまったようです。



（左の写真クリック→拡大）

そう…サルが腰を掛けているのは、サルノコシカケ科に属するキノコ！
「サルがサルノコシカケに腰を掛ける」という名前通りの状況を撮影した、ベストショットなのです！
そのかわいらしい名称の通り、サルノコシカケ科は大きく頑丈な形状をしているため、サルが腰を掛けるにはピッタリといえるでしょう。
口に出して読みたくなる状況をとらえた1枚に、ネットから反響が続々と上がっています。

・なんというベストショット！まさに『声に出して読みたい日本語』。
・「名付けた人は、サルが腰掛けているのを見たんだろうな」と思った。
・階段のように生えているのもすごすぎる。奇跡の1枚だ…。

あなたも口にしてみてはいかがでしょうか。「サルノコシカケに腰掛ける猿」…と。

［文・構成／grape編集部］



＜個人的な感想＞

上記写真は、大変珍しい一枚と思い、上記のようにホームページで会員に紹介しました。
ただし、正直言って、合成写真ではないかと疑いました。

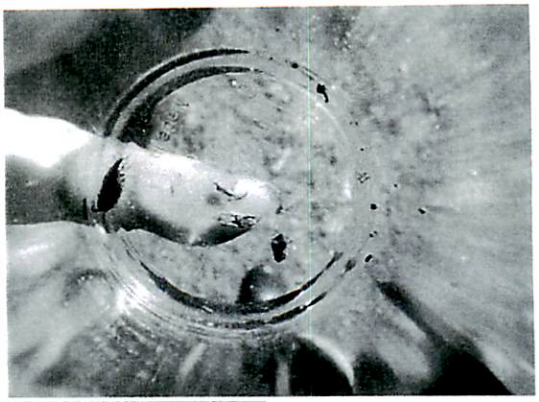
理由は「相当高い位置のサルノコシカケを上から撮っている。こんな状況有り得るか」と思ったからです。
敢えて推測すれば、撮影者が利用した宿泊施設ないし休憩所が相当高い位置にあって、こんな状況が成立したと言うことぐらい。

で、半分ぐらい納得できないでいましたが投稿者(撮影者)本人のツイッターに下記写真が掲載されてましたので合成写真じゃないと確信しました。

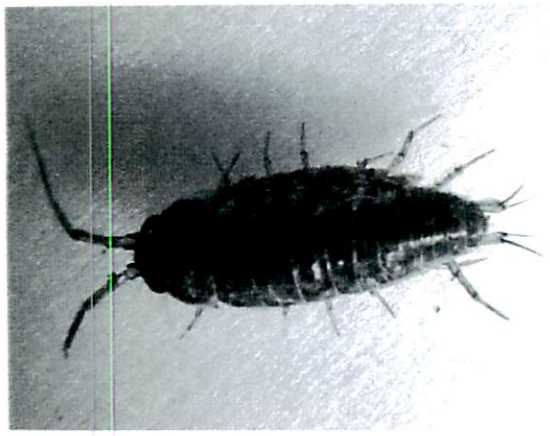
ニホンヒメフナムシ

2022.2.5 アップ

2022.2.5(土) 実施の任坊山公園「冬越しをする虫たちの生活」観察会にて、知多自然観察会では初めての〝動物〟に出会いましたので紹介します。


【左】初めて見る生きものに興奮　【中】観察器に入れて観察　【右】左図の本体部分の拡大図

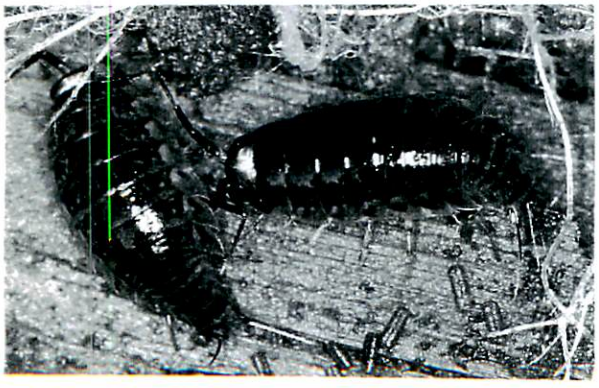


【左図】

上記観察会に参加の森田氏(会員)が撮ったもの。
－－－－－－－－－－
＜森田氏からのメール＞
標記にて撮影した写真を添付します。
利用ください。
(撮影後、元の朽ち木の下へ埋め戻しておきました)

※送信日時
2022/02/05 13:30:58
－－－－－－－－－－－－

【参考】下図等は、https://mushinavi.com/navi-insect/data-waraji_funa_nihonhime.htm からのコピーです。



【左図】

ニホンヒメフナムシ

体長 約10mm
分布 北海道，本州，四国
出現期 3～11月
餌 落ち葉など
解説 陸生の小型フナムシ。
湿気の多い森林内や林縁の落ち葉の下などに見られる。

写真は12月10日に草むらの倒木の下に隠れていた本種を撮影したもの。

アボガドの花

2022.5.20 アップ　※掲載写真:2022.5.8 中井三従美氏撮影

会員の皆さん　こんにちは（^o^）

どんな花でも、ネットで検索すればその花の映像が出てきますが、会員のお宅の庭に咲く"アボガドの花"の情報が、過日(5/8)、メールで届きました。
皆さんの中にはご存知の方もみえると思いますが、私は初めてでしたので、いつものように皆さまにも紹介します。
アボガドの種(たね)は大きくて魅力的で、きっと、皆さんも一度は鉢に植えて、芽が出てきたのを見て嬉しくなったことが有ると推測します。
今回のこの情報提供者は中井三従美さんでしたが、ひょっとしたら、皆さんの中には、花は勿論、「実がなったよ」っというお宅が有るかも知れません。
そのような方は、是非、ご連絡下さい。(→榊原正躬)



＜メール内容＞
・見出し 今日はお疲れ様。
　※今日(5/8)は蒲池海岸で観察会でした。
・差出人 0ca3302178f5b0c@ezweb.ne.jp
・送信時 2022/05/08 15:02:55

アボカドの花咲いてました。枝が上の方で写真はうまくないですが送ります。
多分、実はならないかも、昨年は花は5～6個でした。実は期待しないで待ちたいです。
木は4メートルはあります。
－－－－－－－－－－－－－

[左の写真]
下の写真と同一。一部拡大したモノ



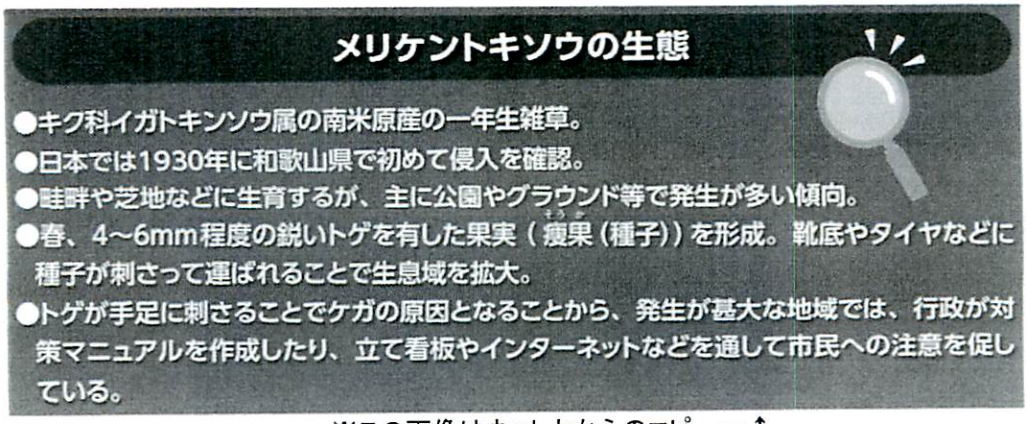


メリケントキンソウ

2022.6.2 アップ （榊原正躬）

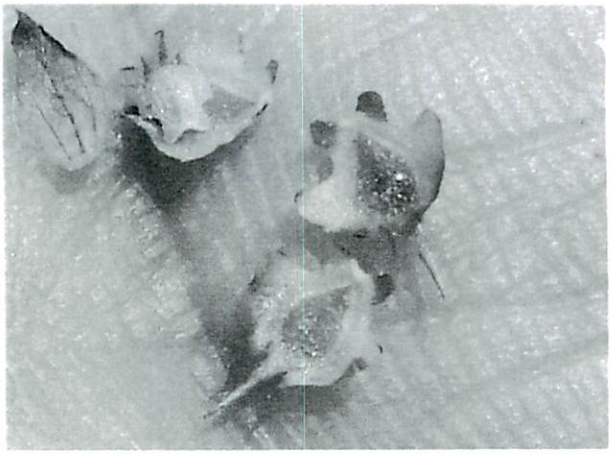
会員の皆さん こんにちは（^_^）

一昨日(2022.6.1)、古川氏(本会々員)から連絡があり、本日(6/2)、古川氏に現地を案内していただきました。
メリケントキンソウを実際に見たのは、私にとって初めてでしたので、いつものように、皆さんに紹介します。
場所は、武豊町の 鹿狩池公園西側駐車場 で、隣接する公園やグランドを見て回りました。結果の一部を下記に掲載します。
今後のことですが、私としては、種子が完熟してから現地を再度訪れ、種子のトゲがどれほどのモノか（特に、靴やサンダルにどれほど刺さるか…を）体験して来ようと思っています。忘れなかったら、また、このことについても紹介させていただきます。



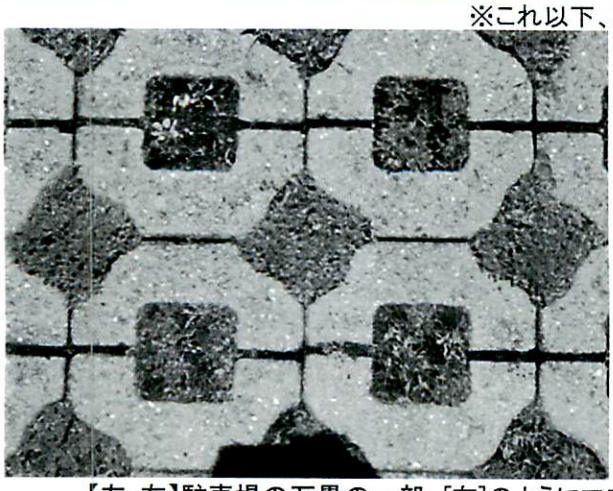
※この画像はネット上からのコピー…↑





【左】鹿狩池西側駐車場。幾何学模様は下図のブロックのため。四角いマスは土で雑草が生える場所
【右】まだ未成熟なメリケントキンソウの種子&トゲ。掌紋間隔からして1ヶの大きさは3.5mm前後

※これ以下、写真クリック→ビッグサイズ





【左・右】駐車場の石畳の一部。[右]のようにマスが全部メリケントキンソウというモノがままある
ここの場所では上図の種子は探せなかった。種子が取れるようになるのは、まだ、少し先




【左】隣の公園内の雑草の中でのメリケントキンソウ。白い部分が〝花→種子〟の部分
【右】このような場所で、茶色部分から、冒頭の種子をゲットした。成熟は、まだ、先



【上】背の高い雑草内で生えていたメリケントキンソウは12～3cmに育っていた

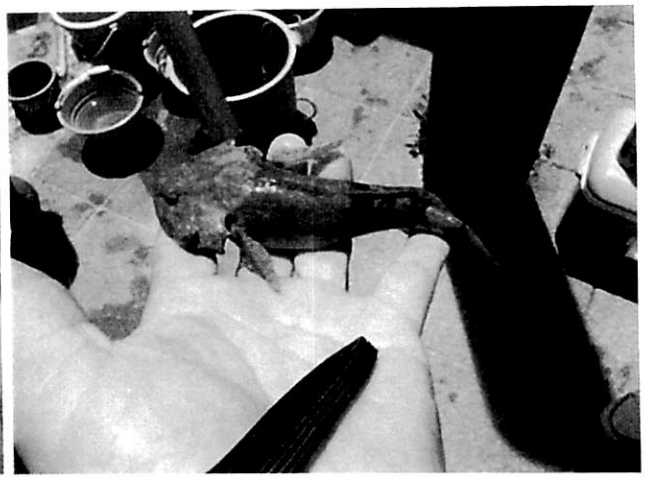
アユカケ

2022.6.28 アップ

会員の皆さま　こんにちは　(^o^)/

本日(2022.6.28)昼前、15cm ぐらいの "**アユカケ**" を半田市内の川でをつかまえました。
これは、大変、珍しいとのことですので、皆さんに紹介します。
なお、
　捕獲者：安達典孝　同定者：田中　央
　現認者：加藤美幸　榊原正躬　　※以上すべて会員
また、
以下に写真掲載はありませんが、5cm 前後のアユカケも1匹つかまえました。

以下は、全て同一のアユカケを撮ったモノ。写真クリック → ビッグサイズ



【左】水槽の中で泳ぐアユカケ　【右】水槽の中のアユカケ。ほぼ、正面から撮る

シロマダラ（蛇）

2022.7.30 アップ（榊原正躬）

本日(2022.7.30)、常滑・蒲池海岸での観察会の折、観察会参加に常連の保護者が **シロマダラ** を飼育ケースに入れて持ってきてくれました。その場にいた会員の降幡氏は以前一度見たことがあると言ってましたが、私にとっては、初めてで、こんなヘビ知多半島にいたのかとビックリしましたので、皆さんにも、いつものように紹介します。

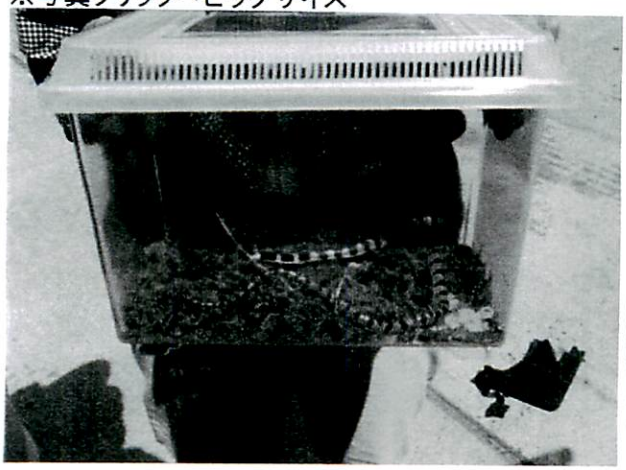
なお、確かに、知多自然観察会の過去の観察会記録にシロマダラが1件ありました。

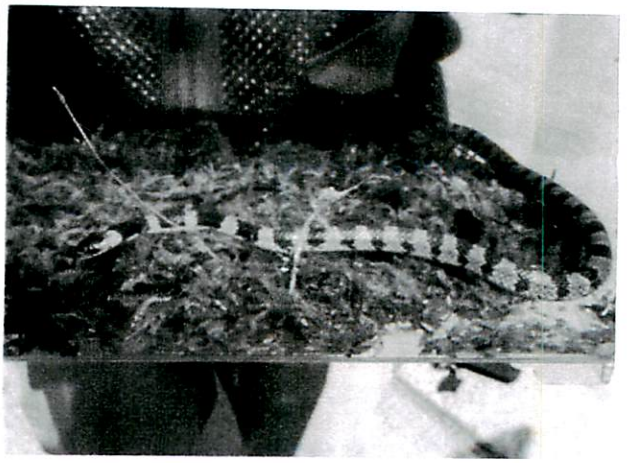
＜追伸＞

当の保護者は「先日、常滑市内の山で、夜、見つけたので、タモで採りました…。」と言うことでした。

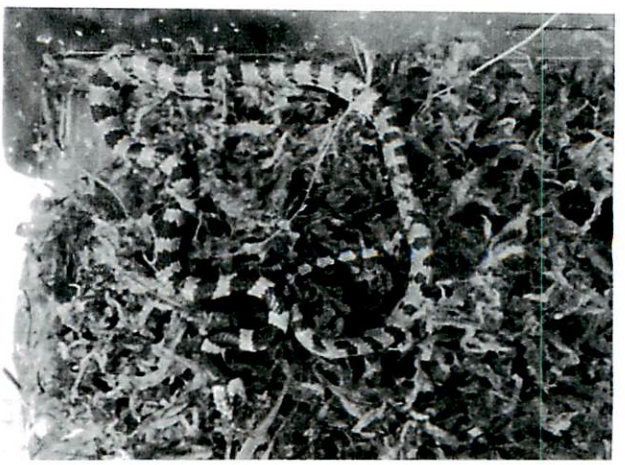
この発見は、正に、快挙と言えるようなお話です。

※写真クリック→ビッグサイズ









綺麗に撮れた **タマムシの写真**（ヤマトタマムシ）

2022.8.8 アップ

会員の皆さまなら、下段の写真は〝タマムシ〟と誰でも判るぐらい普通の写真です。
撮影者は会員の平松氏。2022.8.7 の日中に撮影したモノ。
で、何で、何の変哲もない写真を紹介するのかという理由は二つです。

【その1】
・きれいに撮れていることも重要な条件の一つでありますが、
・この写真は「知多自然観察会」のライン(LINE) からの情報でした。
・このタマムシはヤギ牧場付近(?)で作業中、足元に降りて止まったモノでした。
・このような自然状態の写真は貴重と思ったので紹介に至りました。
（※ネット上では〝自然状態の写真〟は、まま、アップされてますが…）

【その2】
・ここからが、本日の目的みたいなものです。即ち、
・上記のLINEは会員の森田氏が創設したものですが、メンバーは現在10名です。
・そして、このLINEへの加入を特段には勧誘していませんでしたので、昨今の加入は一切無しです。
・この機会に、皆さんの中で、このLINEに加わってもよいかなという方を募集します。
・と言うことで、加入希望者は、森田氏へメールでご連絡ください。

※森田氏へのメール→ tacmory1@tg.commufa.jp ←クリック

※なお、私(榊原正)とLINEでつながってる方は私への連絡で簡単に(?) 加入できるハズです。

以上、よろしくお願いします。

（会員：平松裕規氏 2022.8.7 撮影）… ↓

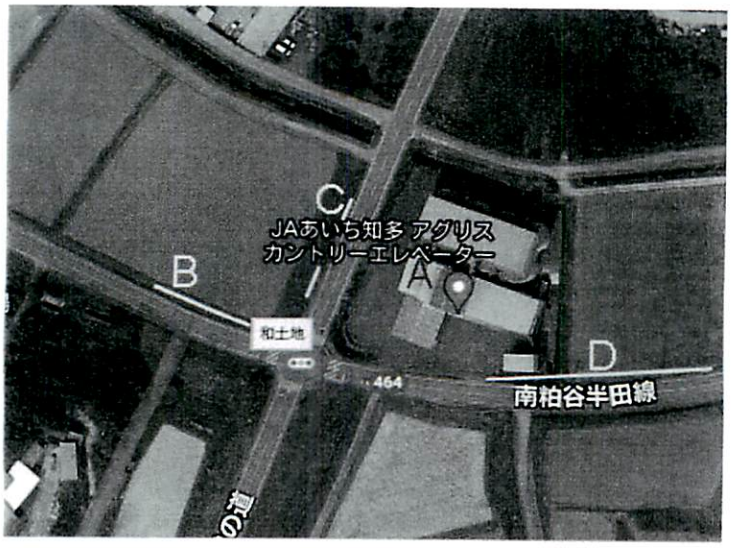





ツバメの日常(一部)
子育てを終えた親ツバメや巣立った後の子ツバメの遊び(?)

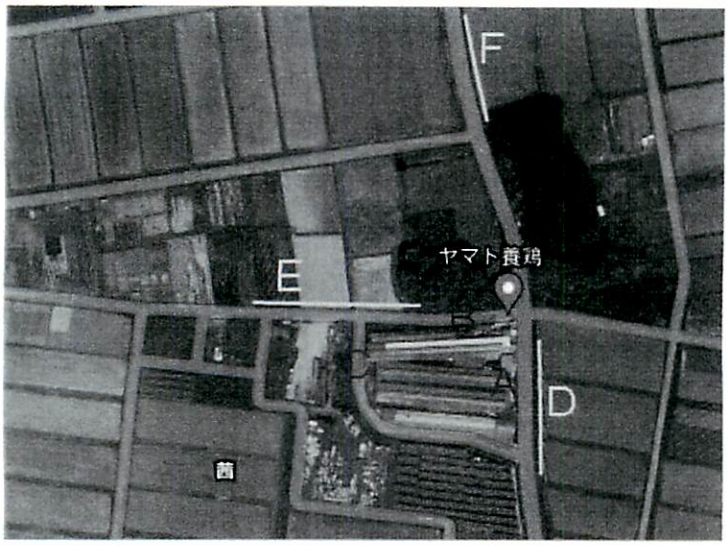
2022.8.14 アップ

・以下は、2022.8/10 ～ 8/13 までの4日間の調査(?)結果です。
・以下写真の共通事項
　黄線 & 黄アルファベット:**電線**　　赤アルファベット:**親子の遊び場**



【左図1:JAあいち知多アグリス カントリーエレベーター】
・8/10 13:10頃、ゆずりは池へ立ち寄る
　※池の南東岸にわずかにヨシが生える
　　ねぐらにするには規模が小さすぎ
・8/10 13:30頃、この場所を観察
　※結果→[B]に 10羽 程度

・8/11 7:10～8:20 観察
　※結果→[D]に 30～40羽 程度
・8/12 5:50～6:05 観察
　※結果→[A]で 10～20羽 遊ぶ　[C]に 20～30羽 程度
・8/13 10:20 観察
　※結果→[C]で 60～70羽



【左図2:ヤマト養鶏】

・8/12 6:35～6:50 観察(曇天)
　※結果→[A]で 20羽程度, [B][C]で100羽程度(?)遊ぶ
　　[E]に 30羽 程度　[D]に 20羽 程度

・8/12 11:10～11:30 観察(曇天)
　※結果→[A]で 20羽程度, [B][C]で100羽程度(?) 遊ぶ
　　[E]に 40羽 程度　[D]に 30～40羽 程度
・8/13 10:25～10:35 観察(台風の影響の曇天)
　※結果→[B][C]で100羽程度(?) 遊ぶ
　　[E]に 120羽 程度　[F]に 320羽 程度
　※[A][D]は特にはチェックしなかった



【左図3:東午ヶ池】

　※東岸[B]に幅1m程度のヨシの群生あり
・8/12 11:50～12:05 観察
　※結果→[A]で 4～5羽程度がスイスイ飛んでいた
・8/12 18:20～18:55 "ねぐら入り"の有無チェック観察
　※[A]で 2羽程度が飛んでいたが、しばらくして、いなくなった
　※結果→"ねぐら入り"の状況は確認できなかった

拙宅からの距離(ドライブの片道距離):
　JA…10Km　ヤマト養鶏…6km　東午ヶ池…4.5km

<コメント(追伸)>
・JAあいち知多アグリス カントリーエレベーター付近の電線が有名かもしれないが、私の４日間観察では、感動するような場面はなかった。
　ただし、市街地はもちろん車で普通に通っている道端の電線ではこの時期ツバメを見たことが無いのに、ここ(JA)に行けば必ず見られたことに関しては、正直言って、ビックリした。
・付近の池や川を見に行ったが、縦横ともに幅広なヨシ原は無かった。また、あの近辺には休耕田も無かった。
・「河村工機製作所から北側に行くとまたすごい数のツバメさん達が電線に留まっています」とあったが、同製作所の北方向の道沿いの電線にツバメが止まっていたことは一度もなかった。
・「ヤマト養鶏」の[B][C]の道路上の "ツバメの乱舞?" には感動した。特に、8/12の赤字部分の動画が、それなりに上手く撮れていたので、併せて、大満足している。

<追伸2>
・野鳥の習性等については全くの素人の私でしたが、お陰で、ツバメの乱舞？を、ホント、身近な場所で見させていただいて感謝してます。
・ただし、ヨシ原探し目的のドライブは、今後、しません。ましてや、"ねぐら入り"のチェックは、することないでしょう。と言うのは、感覚的に私には無理だと感じるからです。それと、私は "ねぐら" は鶏舎等の建物の一部やその近辺の草や木を利用しているのだろう勝手に結論付けたからです。スズメが竹林を "ねぐら" としているかどうかも知りませんが、案外、ツバメも竹林を利用しているのでは…？
・いずれにしましても、今まで、気付かなかったツバメの生態を見ることができました。有難うです。

<追記3> ※ヤマト養鶏での乱舞？

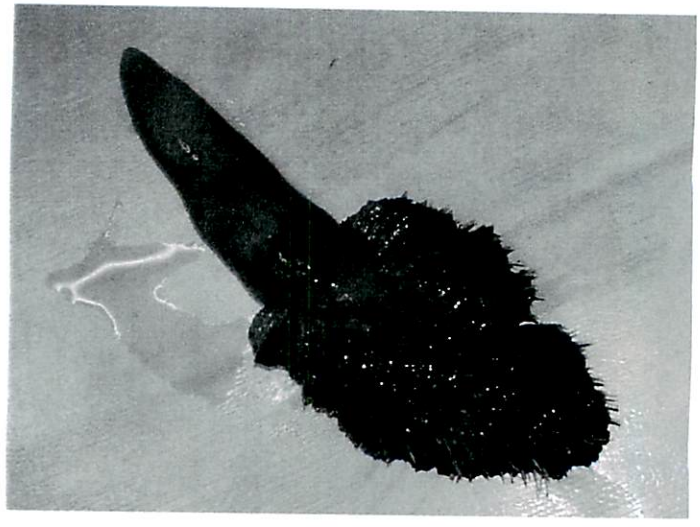


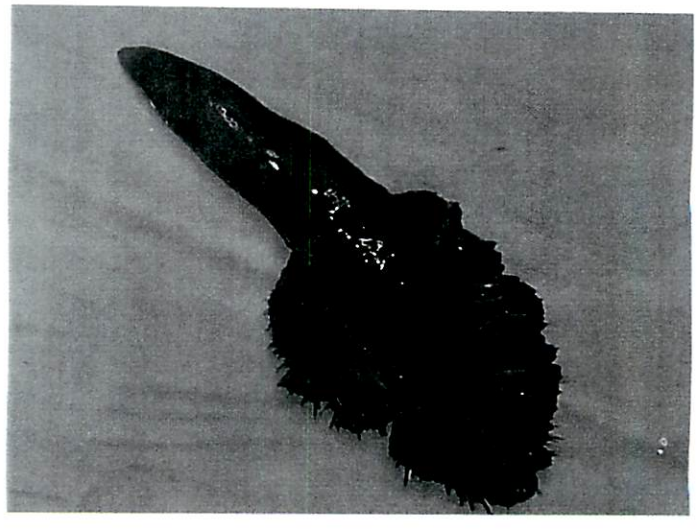


へんてこりんな生きもの

（2022.8.19 アップ）

会員の皆さま
前略
以下は、会員の中井三従美さんからのメールです。
－－－－－－－－－－－－－－
夕方(8/19)、漁師さんからシャコを頂きその中にこんな物が1ツ入っていました。
初めて見ましたた。？？です。(下記の写真をご覧ください)
1.長さ7.5センチ
2.いかのみみのようなところは先にとげがあります。
3.いかより身は硬い。写真は表と裏です。
－－－－－－－－－－－－－－
※何か情報がありましたら、直接、本人(中井さん)へご連絡ください。





以上、宜しくお願いします。
草々

【回答】
会員の大矢さんから 2022.8.20 に回答がありました。
回答は大矢さんが知り合いの県外の専門家の先生に問い合わせた結果です。
＜回答＞
「大矢さま
トゲウミエラの仲間ですね。
たまに、この中にウミエラカニダマシというヤドカリに近い仲間が居候していることがあります。
柏尾　」

さくら猫

2022.11.10 アップ

2022.11.7 に会員の牧野さんから「さくら猫」の写真をいただきました。
と言うのは、過日、牧野さんから『地域猫は避妊手術をした猫。術後にカットされた〝耳〟が **桜の花の形** に見えるので〝さくら猫〟と呼ぶ』っと聞いて、足元の猫の耳を見るとまさしくその通りだったので、その場で、後日いつでもいいのでその写真を添付で送って…と頼んでいたものが届いたということです。
半田に住み何度も任坊山公園に行っているのに、そのことに全く気付かず恥ずかしい次第ですが、この機会に皆さんに紹介します。
実物は公園に居ますので行かれた折に、是非、ご確認ください。

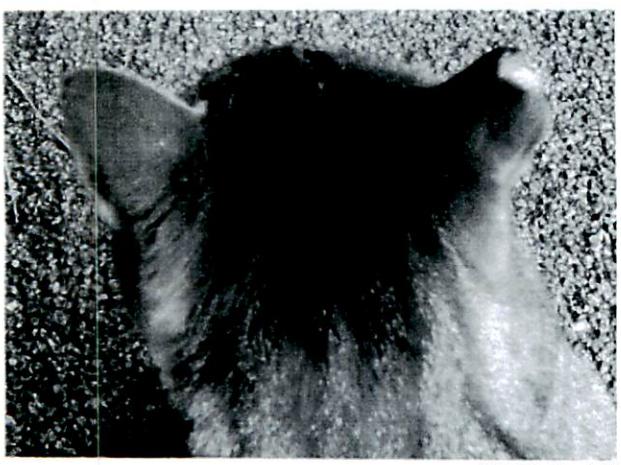
さくら猫…↓　　※さくら猫とは…上記文章の記載通り

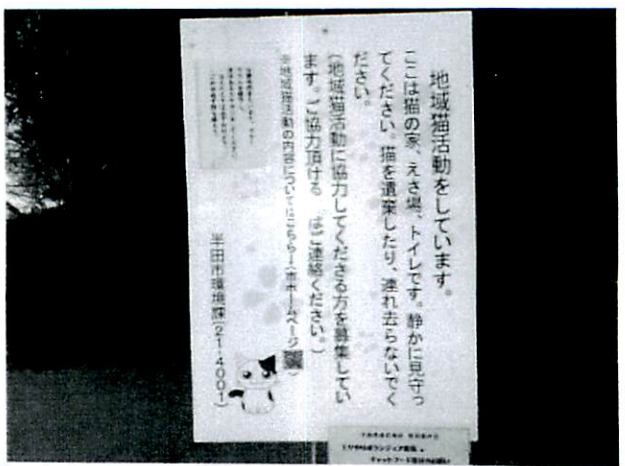












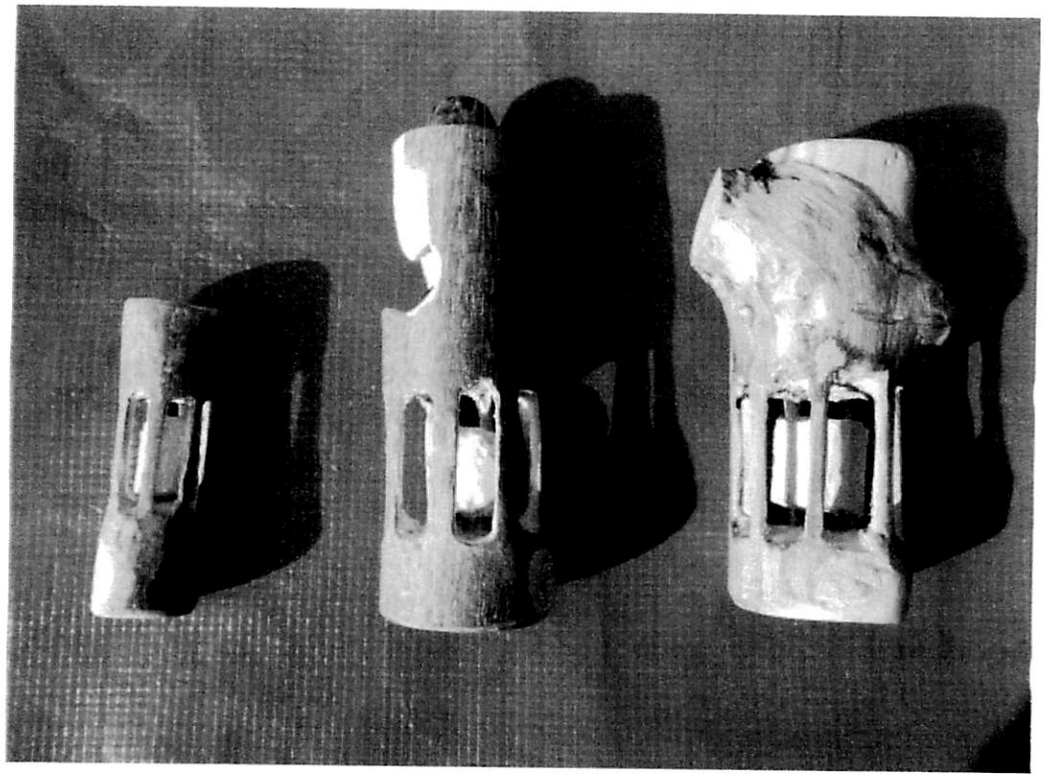
[右の立て札]…クリック→ビッグサイズ

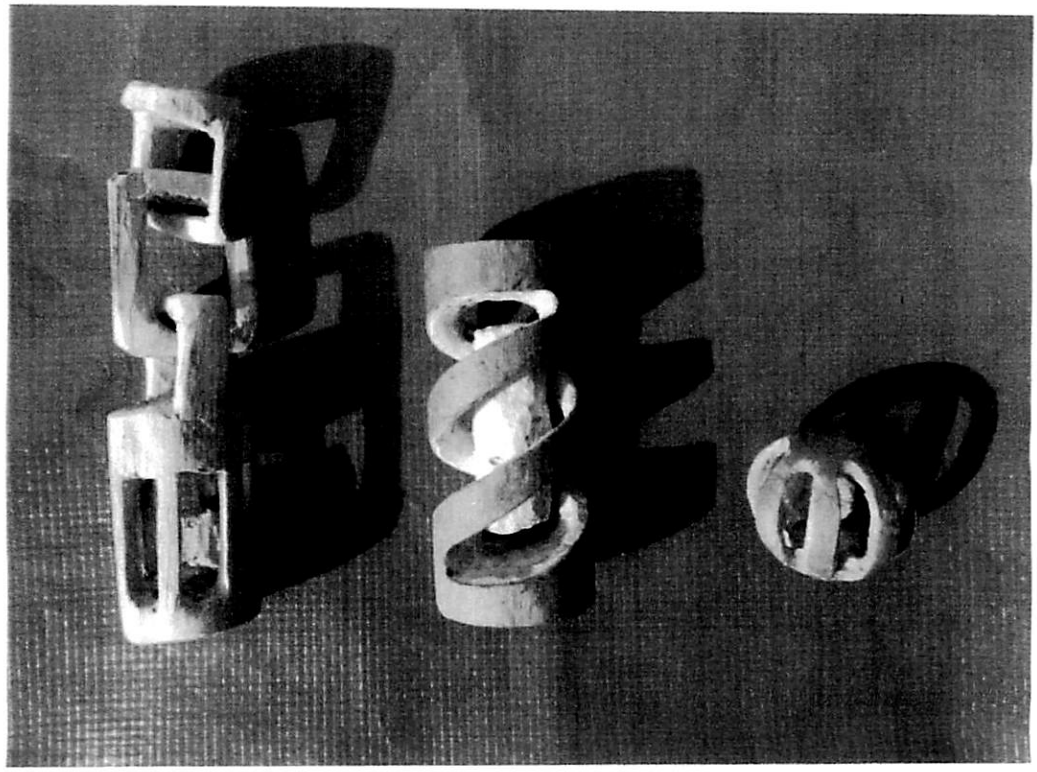
＜参照＞
〝地域猫〟とは？ ← 半田市の「地域猫活動について」のページ

手作り 透かし彫り 入れ子彫刻

22.11.22 アップ

本会(知多自然観察会)の発足40周年のあたる本年、11月19日(土)に記念行事が開催されました。
主な内容は記念講演と会員による作品展でした。作品展会場には、当然ながら、色々な作品が展示されました(研究物も含む)。
その中に会員の桑原誠氏の〝透かし彫り〟が有りましたのでそれら作品を借りてきました。
このようなモノをよくぞ作ったものだと、只々、私はビックリしましたのでそれを以下に写真で紹介します。
もちろん、当日、会場にみえた方はご覧になったモノです。
入れ子彫刻(作:桑原 誠)… ↓





西表島に漂着した"軽石"

2022.12.12 アップ　採集者：田中　央（本会々員）

田中　央　氏から半田市内の観察会(2022.12.10)でテレビや新聞等で多いに話題になっていた"軽石"を頂戴した。

あちことで被害(?)をもたらした話題の軽石と言うことで会員の皆さまに紹介します。

＜田中央氏から頂いたもの＞　※メモ書き(説明)も田中氏本人の作成のモノ

メモ書き…↓

小笠原諸島の福徳岡ノ場の海底火山の軽石

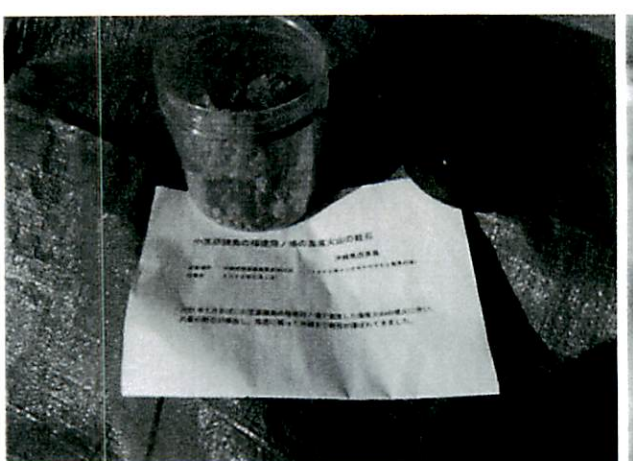
沖縄県西表島

採集場所　沖縄県西表島南風見田の浜　（１９６５年イリオモテヤマネコ発見

採集日　２０２２年８月１日

2021年8月半ばに小笠原諸島の福徳岡ノ場で発生した海底火山の噴火

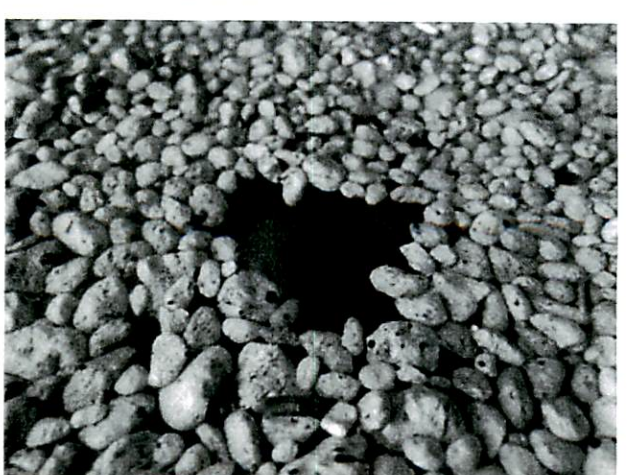
大量の軽石が噴出し、海流に乗って沖縄まで軽石が運ばれてきました





【左】容器入り。メモ書き付きで頂戴した　　【右】全部出してみた





【左】水に入れてみた。中央部の"穴"は敢えて指で作った　【右】中央の穴の拡大

＜参照＞

※ https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/38648 **からのコピー（部分的掲載）**

福徳岡ノ場の軽石【学芸員自然と歴史のたより】

軽石とは、火山から放出された火山砕屑物のうち、スカスカで白っぽいものを言います。2021年8月13日、小笠原諸島の海底火山である福徳岡ノ場が噴火し、大量の軽石が放出されました。軽石は黒潮反流に流されて10月中旬に沖縄県に漂着して大きなニュースとなりました。その後、軽石はさらに黒潮に流されて本州太平洋岸にも漂着すると予想されていました（図1）。

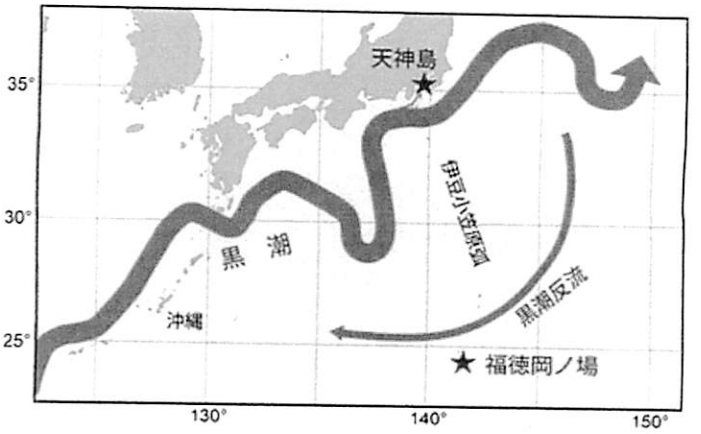
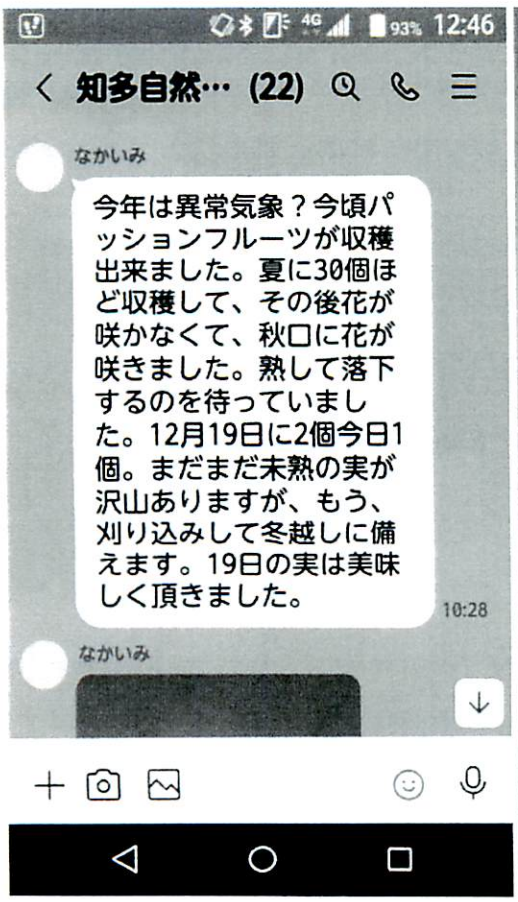


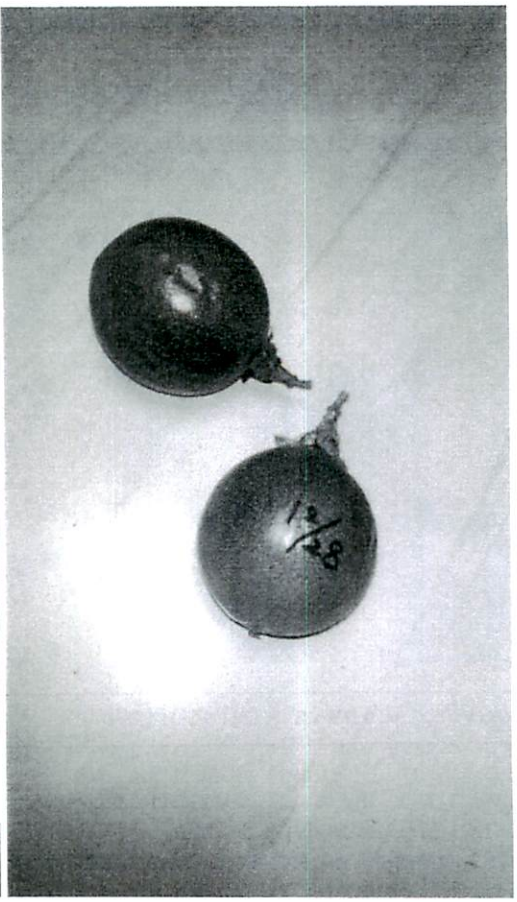
図１　福徳岡ノ場の位置と黒潮．黒潮の流路は2021年12月9日の海況で，海洋速報第２３１号に基づく．

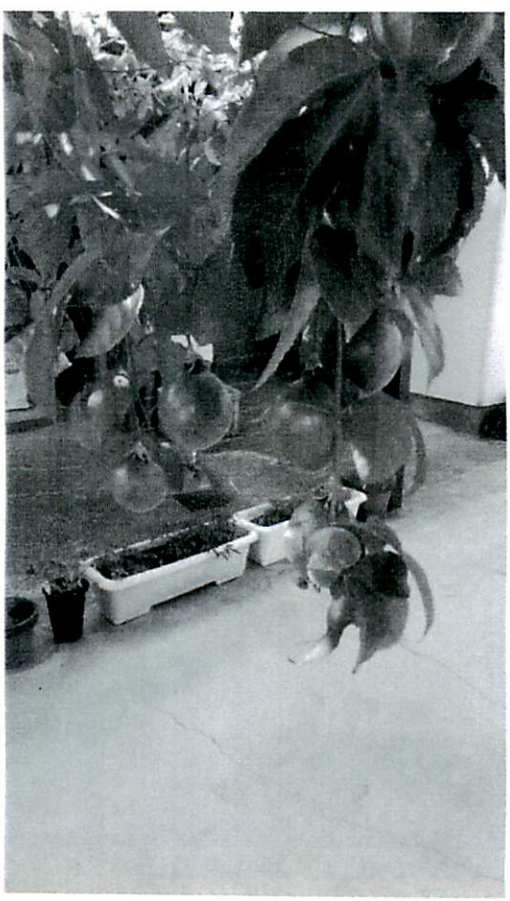
冬に パッションフルーツ の収穫

2022.12.29 アップ

毎年夏に、自宅の庭先で沢山のパッションフルーツを収穫している会員の中井三従美さんから、本日(2022.12.29)、今年はこの時期に〝パッションフルーツ〟の実が収穫できたというLINE連絡がありましたので、皆さまにも紹介します。(写真はLINEからコピーしたモノです)







これは何の実でしょう？

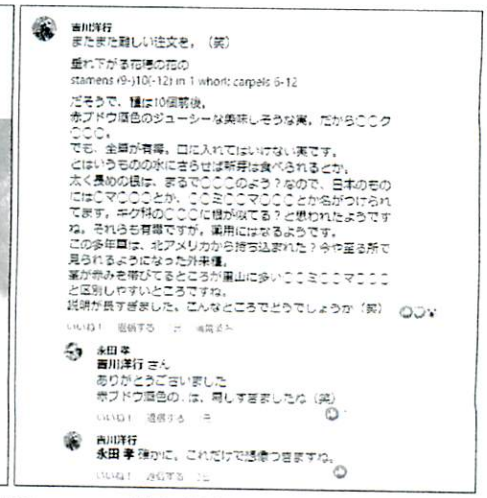
2023.1.5 アップ

会員の永田 孝　氏が **2023.1.2** 朝にフェースブックに投稿した記事を、私にとっては多いに良かったので、皆さんに紹介します。

次の２枚の画像は当日のフェースブックからのコピーです。永田氏がアップした際に、同じく会員の吉川洋行氏に "ヒント" をお願いし、それに応えて吉川氏がヒントを投稿したという画像です。(もとより、本会の会員以外の方が沢山コメントを寄せてますがそれは省略です)

皆さん、この実はお判りでしょうか。判らないがどうしても気になる方は直接、永田氏 or 吉川氏、または、私にでもお問い合わせ下さい。





[上の２枚]クリック→ビッグサイズ　【左】これ何の実？　　【右】吉川洋行氏のヒント

吉川氏のヒントは、正直言って、高級者向けの高レベルなヒントで、これで判れば、たいしたモノです。私は『判った、キッとアレだな…』っと自画自賛(?) しながら、

2023.1.5 夕刻前に写真の実を付ける植物の群落地に行った。公園内の散策路の脇なので綺麗に刈られているかも…っと思って出かけたが、そのまま残っていた。運がよかったというべきか？… (^o^)/

以下がそのとき撮ったモノです。





【左・右】パッと見は実は見えない。よく見るとアチコチに付いている。
これは誰も気付かないし、気付いても見ようとしないが普通。





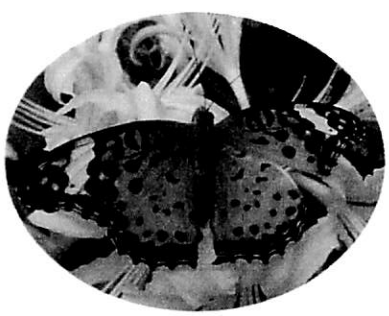
【左・右】上２枚の写真の実が付いていた枯れた株。茎が見事に黒くなっていた。

令和４（2022）年度　知多自然観察会役員一覧表

役　名	氏　名	住 所
顧　　問	降幡　光宏	常滑市
代　　表	榊原　　靖	半田市
副 代 表	南川　陸夫	知多市
〃	榊原　正躬	半田市
庶　　務	吉川　　勉	知多市
会　　計	森田　琢磨	常滑市
会計監査	森下　栄子	半田市
〃	牧野　靖子	半田市
阿久比ブロック世話役	平松　裕規	阿久比町
大府　〃	村瀬　由理	大府市
武豊　〃	畠　　烈	武豊町
知多　〃	南川　陸夫	知多市
東海　〃	浅井　一光	名古屋市
常滑　〃	森田　琢磨	常滑市
半田　〃	山田　和男	半田市
東浦　〃	竹内　秀代	東浦町
美南※１　〃	中村　秀樹	美浜町

※１…美浜・南知多ブロック

以上　2022年2月20日
（総会開催日）現在



会員専用ページの内容 … ↓

※トップページからリンクあり

http://chitakan.com/kaiin/493731.html　※パスワードあり

または、 http://prosv7.tok2.com/~chitakan/kaiin/493731.html

1．知多自然観察会　会則

2．知多自然観察会　役員一覧

3．「会員用事業計画」及び「年報」
※ 年報は 60MB 程度ありダウンロードに時間がかかります。

4．「総会報告」（総会議事録）

5．「役員会報告」（役員会議事録）

6．観察会の運営について

7．観察会の保険と安全について…2015 年 2 月総会で配付
※観察会（ブロック主催）中に病院へ行くような
ケガが発生した場合（2015 年 10 月 5 日の具体例）

8．保険対象（県協議会へ保険料を納入）行事とは
…年間予定表で[協]と記入のある観察会

9．観察会カレンダー
・エクセル, カラー, A4 判)　・pdf, カラー, A4 判

10. **観察会の報告(記録)様式**

11. 観察用品購入補助金の請求の仕方 **※2023 年**はこの補助金制度は**中止**（当分の間、中止）

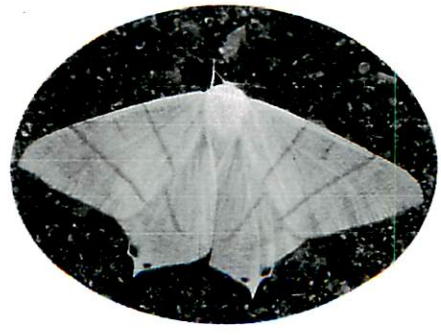
12. **年度途中に入会される方の会費の支払い方**

13. 県民センター観察会の実施案の例（2013 年度の実施案）
・川……130914 県民セ観察会-明徳寺川-実施案-最終版
・海……130921 県民セ観察会-野間海岸-実施案-最終版
・公園…131005 県民セ観察会-任坊山公園-実施案-最終版

14. みどりの少年団交歓会-実施案
・2013 年 10 月 19 日実施の「みどりの少年団交歓会」-実施案-最終版
・上記[10.][11.]の最終版が出来るまでの過程（日程）

15. 年報の改定案…新しいページ割り当て
※2008. 2. 17 提案
※過去の話（掲載しなくても構わない話）

16. 環境省　水性生物調査結果-集計用紙
エクセル(xls)ファイル　PDF ファイル



＜挿絵のの説明＞
この蛾をはじめこの年報の「蝶や蛾の挿絵」は、会員の

持ち寄りギャラリー（1）



「ツバメシジミ」阿久比町 2022.7.9 岩本妙子



「コシダのソーラス」美浜町 2021.9.4 永田 孝



「ハマヒルガオ」蒲池海岸 2019.5.16 森田琢磨



「40年ぶりのトビハゼ」半田市 2014.6.21 山田和男



「クロコソデウミウシ」聖崎 2017.6.11 大矢美紀



「シロウミウシ」佐久島 2020.7.22 大矢美紀

持ち寄りギャラリー（1）



「ツチアケビ」白馬村青鬼神社 2014.10.3 鈴木 汎



「イワザクラ」岐阜県舟伏山 2021.4.8 鈴木 汎



「ハランの花」半田市 2014.4.2 榊原正躬



「日本ミツバチ解放巣」阿久比町 2021.8.9 榊原正躬



「タヌキ」自宅農場 2022.2.5 平松裕規



「イボタガ」自宅農場 2022.5.12 平松裕規

持ち寄りギャラリー（3）



「ハラグロオオテントウ」知多市 2022.6.10 藤井辰子



「イチジクヒトリモドキ」知多市 2022.9.6 藤井辰子



「コマユバチたちの繭紡ぎ」常滑市 2022.4.2 降幡光宏



「ハエトリグモがヒラタアブ捕獲」常滑市2022.4.28 降幡光宏



「ナンカイヌリトラノオ」知多市 2022.2.3 吉川洋行



「クマガイソウ群落」新城市 2022.4.22 吉川洋行

編　集　後　記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度以降の年報に反映させて頂きます。

さて、編集面では「持ち寄りギャラリー」を３ページ新設しましたが、それ以外は、ほぼ、例年通りです。ただし、私が勝手気ままに編集してきました年報は今回が最後ということもあり、各ブロックはじめ実施されアップされた観察会は、全体のページ数のことは考えずに出来るだけここに掲載することにしました。



また、私が担当となって以来、年報作成にあたって会員へ年報に掲載するための記事やイラストなどを募集していませんので年報の内容は「編集にあたって…」に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。その代わりホームページ上の「発表の場」のページはできるだけ投稿通りに掲載します。

いずれにしても、今回も業者の制作ですので見栄えはＯＫです。内容及び構成は、とうとう、改善されず今百歩でした。次期担当にご期待下さい。

＜追記＞

今回もコロナ禍での編集の３回目でありましたのでそれに関しての一言。コロナ関連の行動規制はなかったものの、昨年同様で年末年始以降はもとよりその前後もどなた様からのお誘いも無く、その点では、今回も、編集に打ち込めたと言ったところでしょうか … (^_^;)

（年報担当：榊原正躬）

知多自然観察会
代表　榊　原　　靖
bugweed6493@gmail.com

オオヒョウタンゴミムシ



蒲池海岸にて